

| 基本政策 | 政策 | 施策 | 事務事業（○は計画本体に掲載している主な事務事業） ※○以外については、「施策を推進する経常的な事務事業一覧」に取組等を掲載 |
|---|----|----|---|
| 基本政策 5 誰もが生きがいを持てる市民自治の地域づくり | | | |
| 政策 5-1 参加と協働により市民自治を推進する | | | |
| 施策 5-1-1 市民参加の促進と多様な主体との協働・連携のしくみづくり | | | |
| ○ 地方分権改革推進事業 | | | |
| ○ 多様な主体による協働・連携推進事業 | | | |
| ○ 自治推進事業 | | | |
| ○ 地域振興事業 | | | |
| ○ 市民活動支援事業 | | | |
| ○ NPO法人活動促進事業 | | | |
| 都市政策研究事業 | | | |
| ○ SDGs未来都市推進事業 | | | |
| 施策 5-1-2 迅速で的確な広報・広聴と市民に開かれた情報共有の推進 | | | |
| ○ 広聴等事務 | | | |
| ○ コンタクトセンター運営事業 | | | |
| ○ 区相談事業 | | | |
| ○ 広報事業 | | | |
| ○ 放送事業 | | | |
| 報道事務 | | | |
| ○ 情報公開推進事務 | | | |
| 公文書館運営事業 | | | |
| 施策 5-1-3 共に支え合う地域づくりに向けた区役所機能の強化 | | | |
| ○ 区役所改革推進事業 | | | |
| ○ 区役所サービス向上事業 | | | |
| ○ 戸籍住民サービス事業 | | | |
| ○ 地域課題対応事業（川崎区） | | | |
| ○ 地域課題対応事業（幸区） | | | |
| ○ 地域課題対応事業（中原区） | | | |
| ○ 地域課題対応事業（高津区） | | | |
| ○ 地域課題対応事業（宮前区） | | | |
| ○ 地域課題対応事業（多摩区） | | | |
| ○ 地域課題対応事業（麻生区） | | | |
| ○ 区役所等庁舎整備推進事業 | | | |

令和6年度 事務事業評価シート

事業の概要

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|---|------------------------|---|---------------------------------|-----------|------------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|
| 事務事業 | 事務事業コード | 事務事業名 | | | | 政策体系別計画の記載 | | | | | | |
| | 50101010 | 多様な主体による協働・連携推進事業 | | | | 有 | | | | | | |
| 担当 | 組織コード | 所属名 | | | | | | | | | | |
| | 254510 | 市民文化局コミュニティ推進部協働・連携推進課 | | | | | | | | | | |
| 実施期間 | 事業開始年度 | 事業終了年度 | 事務・サービスの分類 | 分類1(市民サービス等) | 分類2(内部事務) | | | | | | | |
| | 平成26年度 | — | | 参加・協働の場 | — | | | | | | | |
| 実施形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他 | | | | | | | | | | | |
| 実施根拠 | <input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度 (法令・要綱等) | | | | | | | | | | | |
| 総合計画と連携する計画等 | かわさき強靱化計画,地域福祉計画,住宅基本計画,デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進プラン,シティプロモーション戦略プラン | | | | | | | | | | | |
| SDGsのゴール・ターゲットを意識した取組の方向性 | 17 | 17.17 | 多様な主体が主体的に地域課題解決に向けて取り組めるよう必要な環境を整備するとともに、多様な主体との協働・連携推進の取り組みを推進することで、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップの構築を推進します。 | | | | | | | | | |
| 行財政改革第3期プログラムに関連する課題名 | 改革項目 | | | 課題名 | | | | | | | | |
| | 取組3(1)多様な主体との協働・連携によるまちづくりの推進 | | | 1・これからのコミュニティ施策の基本的考え方に基づく取組の推進 | | | | | | | | |
| | 取組3(1)多様な主体との協働・連携によるまちづくりの推進 | | | 23・多様な主体の参加と協働によるコミュニティ施策の推進 | | | | | | | | |
| 予決算 (単位:千円) | 年度 | R4年度 | | R5年度 | | R6年度 | | R7年度 | | | | |
| | | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | | | |
| | 事業費 A | 16,908 | 11,152 | 16,908 | 19,074 | 15,935 | 16,908 | 18,497 | 18,170 | 16,908 | 13,283 | |
| | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | 市債 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | その他特財 | 105 | — | 105 | 103 | — | 105 | 104 | — | 105 | 104 |
| | | 一般財源 | 16,803 | — | 16,803 | 18,971 | — | 16,803 | 18,393 | — | 16,803 | 13,179 |
| | 人件費** B | 103,531 | 103,531 | 103,664 | 103,664 | 103,664 | 96,597 | 96,597 | 96,597 | 0 | 0 | |
| | 総コスト(A+B) | 120,439 | 114,683 | 120,572 | 122,738 | 119,599 | 113,505 | 115,094 | 114,767 | 16,908 | 13,283 | |
| | 人工(単位:人) | 12.29 | | 12.16 | | 11.24 | | | | | | |

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

計画(Plan)

| | | |
|---|--|-----------------------------|
| 政策体系 | 政策 | 参加と協働により市民自治を推進する |
| | 施策 | 市民参加の促進と多様な主体との協働・連携のしくみづくり |
| | 直接目標 | 多様な主体が協働・連携して地域課題の解決を進める |
| 事業の対象 (事業の対象となる人、物) | 地域や社会の課題解決に取り組む市民活動団体、町内会・自治会、企業、大学などの様々な主体 地域で活動している、または活動に関心がある市民 | |
| 事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか) | 多様な主体が協働・連携できる環境整備に取り組むことで、地域課題の解決を図ります。 | |
| 事業の内容 (どういった業務内容で、どのような手段で実施しているか) | 「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づき、「まちのひろば」の創出に向けた環境整備や、「ソーシャルデザインセンター」の運営支援及び創出に向けた取組を進めるとともに、地域の様々な主体が協働・連携して地域課題の解決に取り組めるよう、マッチング事業の実施やポータルサイトの運用等必要な環境整備に取り組みます。併せて、地域に関する関心が高まるよう情報の発信や普及啓発を行います。 | |
| 第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容 | ①「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づく取組の検証を踏まえた取組の推進 ②地域人材の担い手拡充に向けたプロボノワーカーと市民活動団体等とのマッチング事業の実施 ③協働・連携ポータルサイト「つなぐっどKAWASAKI」を活用した支援の実施(サイトアクセス件数:30,000件以上) ④企業、大学、他自治体など多様な主体との協働・連携の取組 | |
| 当初計画からの変更箇所 (第3期実施計画に記載されている取組内容から変更となる取組) | ③「つなぐっどKAWASAKI」を活用した支援の実施【変更(令和6年度)】 | |

実施結果 (Do)

上記「第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容」に対する達成度

3

1. 目標を大きく上回って達成
2. 目標を上回って達成
3. ほぼ目標どおり
4. 目標を下回った
5. 目標を大きく下回った

取組内容の実績等
(上記に掲げた取組内容に対し、「数値等」でより具体的に実績を示すことができる取組、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載)

目標どおりに達成できました。

①については、「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づく取組の検証を踏まえた取組として、まちのひろばWAプロジェクト(賛同88件)を中心に、YouTube川崎市コミュニティチャンネルやInstagramを活用した「まちのひろば」の見える化及び、「まちのひろば」相談窓口の実施や「公共施設の地域化」の推進に向けた庁内ワーキングの実施等による「まちのひろば」を生み出す仕組みづくりを進めました。また、令和6年4月に全区でSDC(ソーシャルデザインセンター)が稼働し、各区において安定的・継続的運営に向けて支援を進めました。かわさき市民活動センターと連携し、「ごえん楽市」での特設ブースによる情報発信や、令和6年12月に開催した「まちのひろばフェス」において7区それぞれの取組を知り学ぶ機会として7区SDC交流会を実施しました。

なお、各区SDCに関する主な取組については次のとおりです。

- ・川崎…事務局、コメンター、サポートメンバーの3者のネットワークにより、「まちのひろば」の創出や新たな参加・交流のきっかけづくり、まちを良くするための相談への対応などに取組みました。また、地域活動助成金の受付を開始し、地域活動活性化に資するイベント等の実施への支援を行いました。参考実績:助成金交付件数13件、登録者21者(団体・個人)、令和7年2月川崎区SDC交流会
- ・幸…さいわいソーシャルデザインセンター「まちのおと」により、地域住民同士の交流を図る「地域交流会」(年3回実施)や団体間の交流・活動促進を目的とした「まちづくり応援フォーラム」(年1回実施)、市民参画でSDC事業について話し合う「意見交換会」(年2回実施)等を行いました。
- ・中原…月1回のYORIAI(定例会)の開催とともに、運営に関する検討会(3回)、区民向け説明会(中原区民祭等2回)等を実施しました。また、SDCのつながりから、企業と連携したイベント(8月Beans武蔵中原「わくわく夏休み縁日」)や、市・区主催イベントなどへの出展・パネル展示等を行い、中原区SDCが目指す地域課題へのチャレンジ、地域の魅力発見、交流を通じたつながりづくりの実践、活動のPR(なからっば祭り等5回)を行いました。
- ・高津…令和5年4月に開設した相談窓口において区民からまちづくり活動に関する相談(55件)を受け、相談者の属性に応じて適宜イベントや事業者とのコーディネートにより新たな活動機会やつながりの創出に寄与するとともに、相談事例や地域のイベントをSNSや広報紙(年2回)を通じて情報発信しました。また、「まちづくりカフェかつ」の開催(年3回)や「まちの企画室」との連携により団体や個人の地域活動を支援しました。
- ・宮前…参加する人が「ゆるさ」や「気軽さ」を大事にしながら、つながりや居場所の発見、地域課題の共有・解決などができることを目指し、区内の様々な人や団体がつながることができる場として、年に3回「みやまえBASE」を開催しました。
- ・多摩…これまでの取組に対する評価・検証の結果を踏まえ、多摩区ソーシャルデザインセンターによる「登戸・たまがわマルシェ」等の地域交流促進イベントの開催や「まちのひろば」創出等に向けた子ども食堂の実施(24回)及び開設支援(69回)などを行うとともに、多世代交流のための「カラフルカフェ」(月1回)を新たに実施しました。また、地域活動団体への支援として、活動に関する相談受付(214件)や助成金交付(10団体)等を実施しました。
- ・麻生…4月に「麻生区ソーシャルデザインセンター(あさおSDC)」を設立し、12月にNPO法人化しました。まちのひろば祭り(4月・2月開催、来場者数合計約7,000人)や100人カイギ(計12回、来場者数合計約500人※関係者及び登壇者含などの事業を通して、地域の人がつながり、地域について学ぶ場を創出するとともに、町内会・自治会等のイベントを協働して行うなど地域活動の支援を行いました。他にも、地域をコーディネートする能力や協働のマインドを持つ職員を育成を図ることを目的として、「地域コーディネーター研修」を健康福祉局と連携して実施し、本研修の実践の場として「まちのひろば職員プロジェクト」を実施しました(参加職員9人)。

②については、56人のプロボノワーカー(運営委員を含む)が参加し、9団体を支援しました。また、町内会・自治会に特化したデジタル化支援の取組として、「デジタルツール紹介講座」などを開催し、71町内会のデジタル化に向けた支援を実施しました。

③については、令和5年12月から「つながりKAWASAKI」をFacebookに一本化し、noteと連携しながら運用しており、様々な地域資源や地域情報発信、オンライン交流の場の提供等、地域活動への参加と継続を支援する取組を進めました。なお、フォローは598人、14,484リーチを獲得しました。

④については、協定締結数が企業等と548件、大学等と100件となりました。(令和5年度…企業等525件、大学等102件)

また、市制100周年記念事業として、市民のほっこりエピソードを添えた100人100通りの「ほっこりポスター」を制作し、市内各所でのポスター展開やWEB・SNS上での発信を積極的に進めました。

| 指標分類 | 数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
|------|-------------------------------|-------|--------|--------|--------|--------|----|
| 1 | 成果指標 「つながりKAWASAKI」のアクセス件数 | 目標 | 30,000 | 30,000 | 30,000 | 30,000 | 件 |
| | | 実績 | 40,462 | 32,975 | - | - | |
| 2 | 成果指標 「まちのひろばWAプロジェクト」の賛同件数 | 目標 | 64 | 69 | 74 | 79 | 件 |
| | | 実績 | 64 | 76 | 88 | - | |

評価 (Check)

| | |
|---|--|
| 事業を取り巻く社会環境の変化 (国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など) | 地域課題や社会的課題が複雑化、多様化する一方、市民活動団体、企業、大学などの多様な主体が社会貢献活動を行っている状況や市民の活動への参加意識の向上があります。そこで、地域課題や社会的課題の効果的、効率的な解決に向けて、多様な主体による協働・連携の推進に取り組む必要があります。 |
| 事業の見直し・改善内容 | <input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) R 6 年度 <input type="checkbox"/> 未実施 |
| 具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載 できる場合は記載 | <p>令和6年度:プロボノにおいて町内会・自治会に特化したデジタル化支援プログラムを本格実施しました。</p> <p>令和5年度:つながりKAWASAKIは、Facebookへの一本化や運用ルール等を見直し、noteの活用・連携を開始しました。</p> <p>令和5年度:プロボノにおいて町内会・自治会に特化したデジタル化支援プログラムを試行実施しました。</p> <p>令和4年度:「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づく取組の検証を実施しました。</p> <p>令和3年度:各区役所において「地域デザイン会議」を試行実施しました。</p> <p>平成30年度:「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」を策定しました。</p> <p>平成29年度:「(仮称)今後のコミュニティ施策の基本的考え方」検討方針を策定しました。</p> <p>平成27年度:多様な主体による協働・連携を推進するため、協働型事業の推進、CSR推進事業、大学連携推進事業、いきいきニアライブ推進事業の主体ごとの取組を多様な主体による協働・連携推進事業に統合しました。</p> |

| 評価項目 | | 評価 | |
|---------|--|---|--|
| 必要性 | 【市民のニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか？ | a. 薄れていない b. 薄れている | a |
| | 【市が実施する必要性】 他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか？ | a. 事例はない b. 事例がある | b |
| | 評価の理由 | 今後、少子高齢化や人口構造の変化、価値観の多様化等を背景に、地域における高齢者の孤立や空き家の増加といった地域課題に加え、子どもの貧困や環境問題への対応等の社会課題が一層複雑化・多様化することが見込まれます。こうした課題に的確に対応していくためには、多様な主体が相互に連携・協働できる環境の整備が必要です。 | |
| 有効性 | 【成果】 活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか？ | a. 上がっている b. 徐々に上がっている c. 上がっていない | b |
| | 評価の理由 | つなぐっとKAWASAKIについては令和5年12月26日からFacebookに一本化しましたが、フォロワー数、リーチともに順調に増加しています。また、「まちのひろばWAプロジェクト」の賛同件数が増えており、成果は徐々に上がっています。 | |
| 効率性 | 【民間の活用】 委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか？ | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | b |
| | 【事業手法等の見直し】 事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか？ | a. 可能性はない b. 可能性はある | b |
| | 【質の向上】 事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか？ | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | b |
| | 評価の理由 | 当該事業は市民の参加と協働により市民自治のまちづくりを推進するものであるため、実施方法においては、市民との丁寧な熟議とバランスを大事にしながら効率性を高めています。 | |
| 施策への貢献度 | 貢献度区分 | 上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由 | |
| | A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い | A | 「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づき、各区SDC(ソーシャルデザインセンター)や「まちのひろばWAプロジェクト」等を通じて、市民一人ひとりのつながりや参加のきっかけを生み出す取組を推進しました。 全区で稼働したSDCにおいては、区民の相談対応や地域資源の仲介、地域課題の可視化・共有などを通じて、地域内で自然に役割や関係性が生まれはじめ、暮らしに根ざした協働・連携の基盤づくりが進展しています。 また、こうした取組を支える補完的施策として、プロボノによる団体支援や、町内会のデジタル化支援、「つなぐっとKAWASAKI」等のSNSを活用した情報発信など、市民や地域団体の活動参加と継続を後押しする環境整備にも取り組みました。これらにより、団体間の連携や支え合いの実践が広がりがつつあり、地域主体による協働・連携のしくみづくりに着実に寄与しています。 |



| 改善(Action) | | | | | |
|--|--|----------------------------|-------------------------------|--|--|
| 今後の事業の方向性 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>方向性区分</th> <th>実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了</td> <td>II</td> </tr> </tbody> </table> <p>「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づき、これまでの取組により得られた成果や課題を踏まえつつ、「まちのひろば」や各区ソーシャルデザインセンターの運営支援を継続的に進め、地域におけるつながりの創出や課題解決に向けた取組を推進していきます。令和7年度には、令和4年度以来の検証を実施し、得られた知見を活かしながら、より効果的・持続的な施策展開に向けた改善を図ってまいります。また、プロボノを活用した人材マッチング事業や、民間SNSを活用した情報発信など、多様な主体の協働・連携による効率的な仕組みづくりにも引き続き取り組みます。</p> | 方向性区分 | 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 | I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了 | II |
| 方向性区分 | 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 | | | | |
| I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了 | II | | | | |
| 第3期実施計画に記載されている次年度の取組内容 | <p>①「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づく取組の検証を踏まえた取組の推進 ②地域人材の担い手拡充に向けたプロボノワーカーと市民活動団体等とのマッチング事業の実施 ③協働・連携ポータルサイト「つなぐっとKAWASAKI」を活用した支援の実施(サイトアクセス件数:30,000件以上) ④企業、大学、他自治体など多様な主体との協働・連携の取組</p> | | | | |
| 今後の事業の方向性を踏まえた次年度の取組内容の変更箇所 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>変更箇所 (上記計画上の記載に対する変更箇所)</th> <th>変更の理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づく取組の推進及び検証【変更(令和7年度)】 ③Facebook「つなぐっとKAWASAKI」を活用した支援の実施【変更(令和6年度)】</td> <td>①「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づく取組は3年を目的に検証・見直しとしており、令和7年度に検証を行うこととしたため ③独自のポータルサイトとしては令和5年12月末で運用を終了し、民間SNS(Facebook)への運用に一本化したため</td> </tr> </tbody> </table> | 変更箇所 (上記計画上の記載に対する変更箇所) | 変更の理由 | ①「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づく取組の推進及び検証【変更(令和7年度)】 ③Facebook「つなぐっとKAWASAKI」を活用した支援の実施【変更(令和6年度)】 | ①「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づく取組は3年を目的に検証・見直しとしており、令和7年度に検証を行うこととしたため ③独自のポータルサイトとしては令和5年12月末で運用を終了し、民間SNS(Facebook)への運用に一本化したため |
| 変更箇所 (上記計画上の記載に対する変更箇所) | 変更の理由 | | | | |
| ①「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づく取組の推進及び検証【変更(令和7年度)】 ③Facebook「つなぐっとKAWASAKI」を活用した支援の実施【変更(令和6年度)】 | ①「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づく取組は3年を目的に検証・見直しとしており、令和7年度に検証を行うこととしたため ③独自のポータルサイトとしては令和5年12月末で運用を終了し、民間SNS(Facebook)への運用に一本化したため | | | | |

令和6年度 事務事業評価シート

事業の概要

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|--|------------------------|---|--------------|-----------|------------|--------|--------|---------|-------|-------|-------|
| 事務事業 | 事務事業コード | 事務事業名 | | | | 政策体系別計画の記載 | | | | | | |
| | 50101020 | 自治推進事業 | | | | 有 | | | | | | |
| 担当 | 組織コード | 所属名 | | | | | | | | | | |
| | 254510 | 市民文化局コミュニティ推進部協働・連携推進課 | | | | | | | | | | |
| 実施期間 | 事業開始年度 | 事業終了年度 | 事務・サービス等の分類 | 分類1(市民サービス等) | 分類2(内部事務) | | | | | | | |
| | — | — | | その他 | — | | | | | | | |
| 実施形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他 | | | | | | | | | | | |
| 実施根拠 | <input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度＋市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度 (法令・要綱等) 川崎市自治基本条例、川崎市パブリックコメント手続条例、川崎市住民投票条例 | | | | | | | | | | | |
| 総合計画と連携する計画等 | 国際施策推進プラン、子ども・若者の未来応援プラン、デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進プラン、子どもの権利に関する行動計画 | | | | | | | | | | | |
| SDGsのゴール・ターゲットを意識した取組の方向性 | 16 | 16.7 | 市民それぞれが市政に主体的に参加し、市民参加の下で市政が行われるよう、市民自治の確立に向けた取組を推進します。 | | | | | | | | | |
| 行財政改革第3期プログラムに関連する課題名 | 改革項目 | | 課題名 | | | | | | | | | |
| 予決算 (単位：千円) | 年度 | R4年度 | | R5年度 | | R6年度 | | R7年度 | | | | |
| | | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額(見込) | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 |
| | 事業費 A | 3,181 | 2,854 | 3,181 | 3,331 | 3,058 | 3,181 | 5,356 | 5,060 | 3,181 | 5,345 | |
| | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | 市債 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | その他特財 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | 一般財源 | 3,181 | — | 3,181 | 3,331 | — | 3,181 | 5,356 | — | 3,181 | 5,345 |
| | 人件費* B | 20,639 | 20,639 | 27,365 | 27,365 | 27,365 | 28,446 | 28,446 | 28,446 | 0 | 0 | 0 |
| | 総コスト(A+B) | 23,820 | 23,493 | 30,546 | 30,696 | 30,423 | 31,627 | 33,802 | 33,506 | 3,181 | 5,345 | 0 |
| | 人工(単位：人) | 2.45 | | 3.21 | | 3.31 | | | | | | |

* 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

計画 (Plan)

| | | |
|---|---|-----------------------------|
| 政策体系 | 政策 | 参加と協働により市民自治を推進する |
| | 施策 | 市民参加の促進と多様な主体との協働・連携のしくみづくり |
| | 直接目標 | 多様な主体が協働・連携して地域課題の解決を進める |
| 事業の対象 (事業の対象となる人、物) | 市民(市内在住・在勤の人や法人等を含む。) | |
| 事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか) | 市民自治の取組を推進することで、市民の市政への主体的な関わりの促進を図ります。 | |
| 事業の内容 (どういった業務内容で、どのような手段で実施しているか) | 自治基本条例の理念の浸透を図るため、区役所や関係施設のモニター等を活用した周知・広報を行っています。また、パブリックコメント手続及び住民投票制度を適切に運用するとともに、制度の浸透に向けて、同様に周知・広報を行っています。さらに、市民参加の促進を図るための具体的な手法について、継続的な検討を行っています。 | |
| 第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容 | ①区役所や関係施設のモニター等を活用した自治基本条例の理念等の周知・広報 ②主に若者を対象とした市民参加型ワークショップの開催 ③パブリックコメント手続及び住民投票制度の適切な運用 | |
| 当初計画からの変更箇所 (第3期実施計画に記載されている取組内容から変更となる取組) | | |

実施結果 (Do)

| | | | | | | | |
|--|--|--|------|------|------|------|----|
| 上記「第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容」に対する達成度 | 3 | 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った | | | | | |
| 取組内容の実績等 (上記に掲げた取組内容に対し、「数値等」でより具体的に実績を示すことができる取組)、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載) | 目標どおりに達成できました。 ①各区役所のモニターや川崎駅周辺のデジタルサイネージを活用した広報を8回、二十歳を祝うついででのスクリーンを活用した広報を行いました。 ②市内在住、在学等の高校生が、地域課題を解決するアイデアを出す参加型イベント「川崎ワカモ未来PROJECT」を実施し、30人(前年度23人参加)が参加し、アンケートにおいて川崎市への関心が「とても高まった」、「高まった」と回答した人の割合が100%となりました。 ③令和6年度、全庁でパブリックコメント手続きが28件実施され、遅滞なく事務処理を行いました。 | | | | | | |
| 指標分類 | 数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| 1 活動指標 | パブリックコメント手続の実施件数 | 目標 | — | — | — | — | 件 |
| | 説明 市民生活に重要な政策等を定めるに当たり、パブリックコメント手続を実施した件数 ※この指標は実績を管理するためのものです。 | 実績 | 33 | 36 | 28 | | |
| 2 成果指標 | 川崎ワカモ未来PROJECTを通じた川崎市への関心向上度 | 目標 | 80 | 80 | 80 | 80 | % |
| | 説明 事業に参加した高校生等に対するアンケートにおいて川崎市への関心が「とても高まった」、「高まった」と回答した人の割合 | 実績 | 80 | 100 | 100 | | |

評価 (Check)

| | |
|--|--|
| 事業を取り巻く社会環境の変化 (国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など) | 平成16年に制定した川崎市自治基本条例に基づき、参加と協働による市民自治のまちづくりを推進してきましたが、近年において少子高齢化、人口減少、人とのつながりの希薄化などを背景に地域課題がますます複雑化、多様化しています。このような状況の中、地域人材の発掘や育成とともに市政運営や地域づくりへの市民参加を促進することが求められています。 |
| 事業の見直し・改善内容 | <input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) H 28 年度 <input type="checkbox"/> 未実施 |
| 具体的見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載 | H28年度: 高校生向けワークショップイベント「川崎ワカモノ未来PROJECT」の実施 H27年度: 若者の参加促進に向けた若者からの意見聴取の実施 H23年度～: 区役所や関連施設のモニターを活用した広報の実施 |

| 評価項目 | | 評価 | |
|---------|---|--|--|
| 必要性 | 【市民のニーズ】 事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか？ | a. 薄れていない b. 薄れている | a |
| | 【市が実施する必要性】 他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか？ | a. 事例はない b. 事例がある | a |
| | 評価の理由 | 市民自治のまちづくりの推進のためには、自治基本条例の理念を浸透させ、市民による市政への主体的な関わりを促進することが必要であり、事業の性質上、行政が実施していく必要があります。 | |
| 有効性 | 【成果】 活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか？ | a. 上がっている b. 徐々に上がっている c. 上がっていない | b |
| | 評価の理由 | 「川崎ワカモノ未来PROJECT」に参加の高校生も増加傾向にあるだけでなく、地域活動への参加を通じて川崎市への関心も高まっていることから、成果は徐々に上がっています。 | |
| 効率性 | 【民間の活用】 委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか？ | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | c |
| | 【事業手法等の見直し】 事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか？ | a. 可能性はない b. 可能性はある | b |
| | 【質の向上】 事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか？ | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | b |
| | 評価の理由 | 当該事業は市民の参加と協働により市民自治のまちづくりを推進するものであるため、実施方法においては、市民との丁寧な熟議とバランスを大事にしながら効率性を高めていきます。 | |
| 施策への貢献度 | 貢献度区分 | 上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由 | |
| | A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い | A | 若者向けイベントの実施等を通じた取組の推進により、若者の市政への参加に貢献するとともに、パブリックコメント手続等の市民参加制度による市民意見の聴取等を行うことで、市民参加の促進に貢献しました。 |



改善 (Action)

| 方向性区分 | | 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 | |
|-----------------------------|--|-------------------------------|--|
| 今後の事業の方向性 | I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了 | II | 区役所のモニター活用や市政だよりを活用した普及啓発等を通じて、自治基本条例の理念やパブリックコメント手続等の参加制度の周知を図ります。若者向けイベントについてはSNSを積極的に活用した広報やアーカイブ動画の作成を行うとともに、今年度よりも一層、企画運営や高校生の伴走支援に大学生や地域の大人たちにメンターとして携わってもらうことで、市民の主体的な活動を促し、地域の持続的な発展に向けて、当該事業に取り組んでいきます。 |
| | 第3期実施計画に記載されている次年度の取組内容 | | ①区役所や関係施設のモニター等を活用した自治基本条例の理念等の周知・広報 ②主に若者を対象とした市民参加型ワークショップの開催 ③パブリックコメント手続及び住民投票制度の適切な運用 |
| 今後の事業の方向性を踏まえた次年度の取組内容の変更箇所 | 変更箇所 (上記計画上の記載に対する変更箇所) | | |
| | 変更の理由 | | |

令和6年度 事務事業評価シート

事業の概要

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|---|-----------------------|--|--------------|-----------|------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 事務事業 | 事務事業コード | 事務事業名 | | | | 政策体系別計画の記載 | | | | | | |
| | 50101030 | 地域振興事業 | | | | 有 | | | | | | |
| 担当 | 組織コード | 所属名 | | | | | | | | | | |
| | 254520 | 市民文化局コミュニティ推進部市民活動推進課 | | | | | | | | | | |
| 実施期間 | 事業開始年度 | 事業終了年度 | 事務・サービス等の分類 | 分類1(市民サービス等) | 分類2(内部事務) | | | | | | | |
| | — | — | | 補助・助成金 | — | | | | | | | |
| 実施形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他 | | | | | | | | | | | |
| 実施根拠 | <input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度 (法令・要綱等) 川崎市町内会・自治会の活動の活性化に関する条例 | | | | | | | | | | | |
| 総合計画と連携する計画等 | かわさき強靱化計画, 地域福祉計画 | | | | | | | | | | | |
| SDGsのゴール・ターゲットを意識した取組の方向性 | 17 | 17.17 | 補助金の交付や表彰等を通じて町内会・自治会の自主的な活動を側面支援するとともに、地域住民の町内会・自治会への自発的な加入や活動への参加促進、町内会・自治会の自主的な設立につながる取組を行うことにより、地域コミュニティの中核を担う重要な組織であり、行政との協働のパートナーである町内会・自治会の活動を支援し、市民が相互に協力しながら暮らしやすい地域社会づくりを進めます。 | | | | | | | | | |
| 行財政改革第3期プログラムに関連する課題名 | 改革項目 | | 課題名 | | | | | | | | | |
| | 取組3(1)多様な主体との協働・連携によるまちづくりの推進 | | 1・これからのコミュニティ施策の基本的考え方に基づく取組の推進 | | | | | | | | | |
| | 取組3(1)多様な主体との協働・連携によるまちづくりの推進 | | 2・町内会・自治会による地域課題の解決や地域活性化に向けた取組の推進 | | | | | | | | | |
| 予決算 (単位:千円) | 年度 | R4年度 | | R5年度 | | R6年度 | | R7年度 | | | | |
| | | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | | | |
| | 事業費 A | 460,329 | 248,836 | 460,073 | 337,651 | 301,248 | 459,901 | 347,547 | 320,716 | 459,760 | 354,766 | |
| | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | 市債 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | その他特財 | 5 | — | 5 | 7 | — | 5 | 7 | — | 5 | 8 |
| | | 一般財源 | 460,324 | — | 460,068 | 337,644 | — | 459,896 | 347,540 | — | 459,755 | 354,758 |
| | 人件費** B | 274,370 | 274,370 | 271,862 | 271,862 | 271,862 | 260,914 | 260,914 | 260,914 | 0 | 0 | |
| | 総コスト(A+B) | 734,699 | 523,206 | 731,935 | 609,513 | 573,110 | 720,815 | 608,461 | 581,630 | 459,760 | 354,766 | |
| | 人工(単位:人) | 32.57 | | 31.89 | | 30.36 | | | | | | |

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

計画 (Plan)

| | | |
|---|--|-----------------------------|
| 政策体系 | 政策 | 参加と協働により市民自治を推進する |
| | 施策 | 市民参加の促進と多様な主体との協働・連携のしくみづくり |
| | 直接目標 | 多様な主体が協働・連携して地域課題の解決を進める |
| 事業の対象 (事業の対象となる人、物) | 町内会・自治会(約650団体) | |
| 事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか) | 町内会・自治会の活動を支援することで、町内会・自治会の活動を活性化し、暮らしやすい地域社会の構築を図ります。 | |
| 事業の内容 (どういった業務内容で、どのような手段で実施しているか) | 町内会・自治会の活動が活性化できるよう、補助金の交付や表彰等を通じて町内会・自治会の自主的な活動を市として側面支援するとともに、(公財)川崎市市民自治財団や川崎市全町内会連合会等と連携して、地域住民の町内会・自治会への自発的な加入や活動への参加促進、町内会・自治会の自主的な設立につながる取組を行います。 | |
| 第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容 | ①「町内会・自治会の活動の活性化に関する条例」に基づく区と連携した取組の推進 ②「町内会・自治会への依頼ガイドライン」に基づく、町内会・自治会の負担軽減に向けた取組の推進 ③町内会・自治会活動及び町内会・自治会会館の整備に関する補助制度の実施 ④自治功労賞・永年勤続功労者表彰の実施 ⑤町内会・自治会活動の活性化を支援する(公財)川崎市市民自治財団の機能強化の推進 ⑥町内会・自治会や企業等と連携した多摩川美化活動・市内統一美化活動の実施(参加者数:59,900人以上(合計)) | |
| 当初計画からの変更箇所 (第3期実施計画に記載されている取組内容から変更となる取組) | | |

実施結果 (Do)

上記「第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容」に対する達成度

4

1. 目標を大きく上回って達成
2. 目標を上回って達成
3. ほぼ目標どおり
4. 目標を下回った
5. 目標を大きく下回った

取組内容の実績等
(上記に掲げた取組内容に対し、「数値等でより具体的に実績を示すことができる取組」、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載)

目標を下回りました。
① 区民課窓口における転入者へのチラシ・ガイドブック等の配布や、SNSを活用した町内会・自治会活動の発信等各区独自の広報活動に加え、啓発絵本「こども町会長」を使った小学校への出前授業や、地域情報紙を活用した身近な町内会・自治会活動の継続的な広報等、区と連携して多面的な広報・啓発活動を実施しました。また、区と連携して補助金活用事例集を発行するなど、「町内会・自治会活動応援補助金」の利用促進に取り組み、市内の483団体に補助金を交付することで、町内会・自治会活動の活性化を支援しました。
② 川崎市全町内会連合会に依頼する審議会等への委員推薦依頼の集約や、市広報物(回覧・掲示物)の一括配送及び電子媒体のホームページへの掲載など、町内会・自治会の負担軽減に向けた取組を実施しました。
③ 地域活動や災害時の拠点となる町内会・自治会館の建替や修繕等に当たり、「町内会・自治会館整備補助金」を19件交付しました。
④ 通算10年以上勤続した8名の町内会・自治会長に自治功労賞を贈呈し、31名の町内会・自治会長に永年勤続功労者表彰を贈呈しました。
⑤ 総合自治会館ホールにて、(公財)川崎市市民自治財団との共催により、町内会・自治会活動事例発表会(令和7年2月18日)を開催しました。また、同財団による相談支援事業として「町内会・自治会アドバイザー派遣事業」を継続し、本市と連携しながら、申し込みのあった5団体の課題(防災、デジタル化など)の解決に向けた取組を支援しました。
⑥ 市内統一美化活動の参加者数は30,657人であり、昨年とほぼ同数の参加があったものの、多摩川美化活動については雨天のため中止となり、目標を下回りました。また、コロナ禍以前の水準には戻っていないことから、各区担当者の意見を集約し、実施時期の見直しを検討したものの、町内会・自治会の他の行事日程等を考慮し見直しには至りませんでした。引き続き各区と意見交換を行いながら、より多くの市民が参加しやすい活動となるよう、改善に向けて取り組みます。
町内会・自治会加入率の漸減は全国的な傾向であるとともに、本市においては、総世帯数が増える一方で、町内会・自治会加入世帯数が増えない状況が続いており、町内会・自治会加入率は55.9%と目標を下回りました。要因として、ライフスタイルや価値観の多様化、単身世帯の増加や核家族化の影響による世帯規模の減少、本市域での人口の増加等が挙げられます。今後も、町内会・自治会の重要性や魅力を発信するとともに、町内会・自治会活動応援補助金の活用等により、町内会・自治会活動の活性化に努めていきます。

| 指標分類 | 数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
|------|---|-------|--------|--------|--------|--------|----|
| 1 | 成果指標 町内会・自治会加入率 説明 総世帯数に占める町内会・自治会に加入している世帯の割合 | 目標 | 64 | 64 | 64 | 64 | % |
| | | 実績 | 57.7 | 56.9 | 55.9 | | |
| 2 | 成果指標 多摩川美化活動・市内統一美化活動参加者数 説明 町内会・自治会等と連携した多摩川美化活動・市内統一美化活動参加者数 | 目標 | 59,700 | 59,800 | 59,900 | 60,000 | 人 |
| | | 実績 | 37,474 | 40,799 | 30,657 | | |

評価 (Check)

| | |
|--|---|
| 事業を取り巻く社会環境の変化 (国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など) | 町内会・自治会の加入率は漸減傾向にあり、担い手の高齢化などの課題が生じている一方で、地域課題が複雑化するなか地域コミュニティの中核を担い、かつ行政との協働のパートナーである町内会・自治会の重要性が高まっています。 |
| 事業の見直し・改善内容 | <input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) R 3 年度 <input type="checkbox"/> 未実施 |
| 具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載 | R3年度: 新型コロナウイルス感染症の影響による、町内会・自治会活動の維持・拡大に対する支援の必要性の高まりを受け、「町内会・自治会活動応援補助金」を創設しました。また、地方自治法第260条の2(認可地縁団体制度)の改正に伴い、「町内会・自治会の法人化の手引き」の見直しを行いました。 R1年度: 町内会・自治会に対する市職員の意識向上と町内会・自治会の活性化や支援策を検討するため、「町内会・自治会の支援を考える職員ワークショップ」を実施しました。 H29年度: 町内会・自治会の実態に合わせ、町内会・自治会会館整備費補助制度をより使いやすいように申請時期を改めるなど、運用の見直しを行いました。 H28年度: 自治功労賞選考委員会で各区1名としてきた受賞者人数の見直しについて検討し、H28年度及びH29年度は9名、R2年度は10名が受賞しました。 |

| 評価項目 | | 評価 | |
|-------|--|--|---|
| 必要性 | 【市民のニーズ】 事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか? | a. 薄れていない b. 薄れている | a |
| | 【市が実施する必要性】 他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか? | a. 事例はない b. 事例がある | a |
| 評価の理由 | 町内会・自治会は地域コミュニティの中核を担う重要な組織であり、市民が相互に協力しながら暮らしやすい地域社会づくりを進めるためには、市として協働のパートナーである町内会・自治会の活動を継続的に支援していくことが必要です。 | | |
| 有効性 | 【成果】 活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか? | a. 上がっている b. 徐々に上がっている c. 上がっていない | c |
| | 評価の理由 | 町内会・自治会加入率は漸減が続いており、目標を下回りました。ライフスタイルや価値観の多様化、単身世帯の増加や核家族化の影響による世帯規模の減少、本市域での人口の増加等が要因と考えられますが、補助金等の活用により地域のつながりを生み出す様々な取組が確認できていることから、引き続き活動の活性化への取組や支援を行ってまいります。 | |
| 効率性 | 【民間の活用】 委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか? | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | c |
| | 【事業手法等の見直し】 事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか? | a. 可能性はない b. 可能性はある | b |
| | 【質の向上】 事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか? | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | b |
| 評価の理由 | 町内会・自治会への支援は、既に(公財)川崎市市民自治財団や川崎市全町内会連合会と市が連携して行っていますが、行政等からの依頼が町内会・自治会の負担となっており、全庁的に「町内会・自治会への依頼ガイドライン」を周知・徹底し、職員の意識向上に努めることで、依頼を減らし負担を軽減することが間接的に活力の醸成につながることから、引き続き負担軽減への取組や支援を行ってまいります。 | | |

| 施策への 貢献度 | 貢献度区分 | | 上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由 |
|-------------|--|---|---|
| | A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い | B | |
| | | | <p>地縁組織として極めて重要な存在である町内会・自治会への支援は、多様な主体が協働・連携して地域課題の解決を進めるうえで欠かせないものです。成果指標は達成できなかったものの、市の補助を受けて会館整備を行った地域では、多様な主体が会館を活用し、地域活動が活性化していることが確認でき、また、町内会・自治会活動応援補助金を受けた地域では、地域のつながりを生み出す様々な取組が確認できました。さらに、役員の高齢化・固定化などの課題がある中、(公財)川崎市市民自治財団による相談支援事業として「町内会・自治会アドバイザー派遣事業」を継続し、本市と連携しながら課題解決に向けた取組を支援するとともに、自治功労賞等の表彰により、今後の活動に向けたモチベーションにつなげることができたことから、市民が相互に協力しながら暮らしやすい地域づくりに一定程度貢献しています。</p> |



| 改善 (Action) | | | |
|-------------------------------------|--|----|---|
| 今後の事業の 方向性 | 方向性区分 | | 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 |
| | I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了 | II | |
| | | | <p>「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づき、引き続き、町内会・自治会の活動が活性化するように、補助金の交付や表彰等により市として側面支援するとともに、地域住民の町内会・自治会への自発的な加入や活動への参加促進、町内会・自治会の自主的な設立につながるよう、(公財)川崎市市民自治財団や川崎市全町内会連合会等と連携した取組を行い、また、未加入者に町内会・自治会の重要性、魅力が伝わるよう広報手法の見直しに取り組みます。</p> <p>美化活動については、参加者数がコロナ前の水準に戻っていないことから、引き続き各区と意見交換を行うとともに、広報を工夫し参加者の増加に繋げていきます。</p> <p>行政等からの依頼の負担軽減については、様々な分野の行政施策の円滑な実施に町内会・自治会の協力が欠かせないものとなっており、一律の軽減は難しい状況にありますが、回覧物の一括配送業務を実施するなど、負担軽減に向けた取組を進めるとともに、「町内会・自治会活動応援補助金」の効果的な活用により町内会・自治会における新たな事業展開や、好事例の横展開の促進に取り組みます。</p> |
| 第3期実施計画に記載されている 次年度の取組内容 | | | <p>①町内会・自治会の活動の活性化に関する条例に基づく区と連携した取組の推進 ②町内会・自治会への依頼ガイドラインに基づく、町内会・自治会の負担軽減に向けた取組の推進 ③町内会・自治会活動及び町内会・自治会会館の整備に関する補助制度の実施 ④自治功労賞・永年勤続功労者表彰の実施 ⑤町内会・自治会活動の活性化を支援する(公財)川崎市市民自治財団の機能強化の推進 ⑥町内会・自治会や企業等と連携した多摩川美化活動・市内統一美化活動の実施(参加者数:60,000人以上(合計))</p> |
| 今後の事業の方向性を 踏まえた次年度の取組内容 の変更箇所 | 変更箇所 (上記計画上の記載に 対する変更箇所) | | |
| | 変更の理由 | | |

令和6年度 事務事業評価シート

事業の概要

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|---|-----------------------|---|---------------------------------|-----------|------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 事務事業 | 事務事業コード | 事務事業名 | | | | 政策体系別計画の記載 | | | | | | |
| | 50101040 | 市民活動支援事業 | | | | 有 | | | | | | |
| 担当 | 組織コード | 所属名 | | | | | | | | | | |
| | 254520 | 市民文化局コミュニティ推進部市民活動推進課 | | | | | | | | | | |
| 実施期間 | 事業開始年度 | 事業終了年度 | 事務・サービスの分類 | 分類1(市民サービス等) | 分類2(内部事務) | | | | | | | |
| | — | — | | 補助・助成金 | — | | | | | | | |
| 実施形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他 | | | | | | | | | | | |
| 実施根拠 | <input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度 (法令・要綱等) | | | | | | | | | | | |
| 総合計画と連携する計画等 | 地域福祉計画 | | | | | | | | | | | |
| SDGsのゴール・ターゲットを意識した取組の方向性 | 17 | 17.17 | 「かわさき市民活動センター」の機能強化、「かわさき市民活動センター」を通じた市民活動支援の促進により、市民活動の活性化を目指すとともに多様な主体によるパートナーシップの構築を推進します。 | | | | | | | | | |
| 行財政改革第3期プログラムに関連する課題名 | 改革項目 | | | 課題名 | | | | | | | | |
| | 取組3(1)多様な主体との協働・連携によるまちづくりの推進 | | | 1・これからのコミュニティ施策の基本的考え方に基づく取組の推進 | | | | | | | | |
| 予決算 (単位:千円) | 年度 | | R4年度 | | R5年度 | | R6年度 | | R7年度 | | | |
| | | | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | | |
| | 事業費 A | | 123,303 | 122,854 | 123,303 | 125,895 | 123,504 | 123,303 | 126,681 | 123,160 | 123,303 | 128,847 |
| | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | 市債 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | その他特財 | 26,573 | — | 26,573 | 26,573 | — | 26,573 | 26,814 | — | 26,573 | 26,814 |
| | | 一般財源 | 96,730 | — | 96,730 | 99,322 | — | 96,730 | 99,867 | — | 96,730 | 102,033 |
| | 人件費* B | | 31,927 | 31,927 | 27,792 | 27,792 | 27,792 | 39,876 | 39,876 | 39,876 | 0 | 0 |
| | 総コスト(A+B) | | 155,230 | 154,781 | 151,095 | 153,687 | 151,296 | 163,179 | 166,557 | 163,036 | 123,303 | 128,847 |
| | 人工(単位:人) | | 3.79 | | 3.26 | | 4.64 | | | | | |

* 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

計画 (Plan)

| | | |
|---|---|-----------------------------|
| 政策体系 | 政策 | 参加と協働により市民自治を推進する |
| | 施策 | 市民参加の促進と多様な主体との協働・連携のしくみづくり |
| | 直接目標 | 多様な主体が協働・連携して地域課題の解決を進める |
| 事業の対象 (事業の対象となる人、物) | 市民活動団体、市民活動を支える中間支援組織の関係者、市民活動支援施策に関わる行政関係者 | |
| 事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか) | 市民が行う自由な社会貢献活動としての市民活動を促進・支援する取組を充実させ、市民による相互支援の浸透を図ります。 | |
| 事業の内容 (どのような業務内容で、どのような手段で実施しているか) | 市内の様々な市民活動の中間支援組織同士の連携を強化するとともに、(公財)かわさき市民活動センターの機能強化に取り組めます。 | |
| 第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容 | ①「かわさき市民活動センター」を通じた市民活動支援の促進(施設等利用団体数:5,500団体以上) ②「かわさき市民活動センター」の機能強化の推進 ③市民活動中の事故に対する「市民活動(ボランティア活動)補償制度」の実施 | |
| 当初計画からの変更箇所 (第3期実施計画に記載されている取組内容から変更となる取組) | | |

実施結果 (Do)

| | | |
|---|--|--|
| 上記「第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容」に対する達成度 | 4 | 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った |
| 取組内容の実績等 (上記に掲げた取組内容に対し、「数値等により具体的に実績を示すことができる取組」、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載) | <p>目標を下回りました。</p> <p>① フリースペースにおいて登録団体以外も使用できるよう利用条件の緩和や、より利用しやすいようテーブル配置の変更を実施し、また、会議室に大型モニターを設置して資料を投影しやすくする等、利用促進に向けた取組を行いました。市民活動ポータルサイト「応援ナビかわさき」について、より利用しやすいサイトとするため、情報の整理及びリニューアルを実施しました。かわさき市民公益活動助成金事業について、市民ニーズを把握するため利用者アンケートを実施し、アンケート結果を元に、より市民活動団体が使いやすい制度とするため、申請書様式及び添付書類の見直し、審査結果の通知時期の前倒し等の運用改善を行いました。しかしながら、施設等利用団体数は4,518団体であり、目標値に届きませんでした。これは、コロナ禍をきっかけに、団体の解散や、オンラインでの打合せに移行するなど、センターを利用する機会が減ったことによるためと考えられます。目標達成に向けて、市民から募った意見を踏まえたフリースペースの利用方法の見直しや、市民活動支援に積極的な企業との連携を進める等、より一層の利便性向上に向けた運用改善を進めていきます。</p> <p>② かわさき市民活動センターによる市内の中間支援組織(市社会福祉協議会、生涯学習財団、公園緑地協会、国際交流協会、男女共同参画センター、文化財団)との中間支援ネットワーク会議を2回開催し各団体の強みや困りごとなどの情報共有及び意見交換を行い、また、中間支援組織の主催イベントへの出展や夏休みボランティア体験募集などにおいて事業連携が行われました。市とかわさき市民活動センターによる打合せを5回開催し、かわさき市民活動センターの機能強化や事業実施及び運営にかかる協議検討及び「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」を踏まえた各区ソーシャルデザインセンター(SDC)との有機的連携の推進に向けた今後の取組の方向性に関する意見交換を行い、また、市民活動センターの事業とSDCの事業を合同で実施するなど事業連携が行われました。「市民活動団体と企業の連携・協働」をテーマとしたパワーアップセミナーを1回開催することで、多様な主体の協働・連携の促進に向けた支援を実施しました。</p> <p>③ ボランティア保険については、20件の申請があり、適切に実施しました。</p> | |

| 指標分類 | 数値で事業の実績・効果等を把握できる指標（指標の説明） | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
|--------|------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|----|
| 1 成果指標 | かわさき市民活動センター 施設等利用団体数 | 目標 | 4,300 | 4,700 | 5,500 | 6,400 | 団体 |
| | 説明 (公財)かわさき市民活動センターの施設等利用団体数 | 実績 | 3,936 | 4,070 | 4,518 | | |

評価 (Check)

| | |
|---|---|
| 事業を取り巻く社会環境の変化 (国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など) | <p>川崎市市民活動支援指針に定める「人材」「資金」「活動の場」「情報」の活動資源について、中間支援組織を通じた支援を行っております。</p> <p>平成29年3月に「川崎市共に支え合う地域づくり検討委員会」報告書において、今後の「参加と協働による地域課題の解決の新たなしくみ」の検討が提言され、平成31年3月に「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」が策定されました。その中で、かわさき市民活動センターとソーシャルデザインセンターとの有機的連携や、中間支援にかかる関係機関とのネットワーク強化等の方針が示されました。</p> <p>コロナ禍をきっかけに、団体の解散や、オンラインでの打合せに移行するなど、センターを利用する機会が減ったことから、社会状況に即した市民活動センターの新たな利用方法の検討、市民活動団体への支援に向けたニーズの把握及びかわさき市民活動センターと本市事業との更なる連携や協力に向けた検討が必要となっています。</p> |
| 事業の見直し・改善内容 | <input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) R 6 年度 <input type="checkbox"/> 未実施 |
| 具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載 | <p>R6年度:市民公益活動助成金における申請書様式及び添付書類の見直し、審査結果の通知時期の前倒し等の運用改善、フリースペースにおける利用条件の緩和やテーブル配置の変更、会議室へのモニター設置等の取組を実施しました。</p> <p>R5年度:市民公益活動助成金のメニューをスタートアップ、ステップアップ30・100・200に整理し、また、追加募集を実施しました。</p> <p>R4年度:交付団体に対して中間ヒアリング、(ミニ)交流会、報告書作成個別相談などのきめ細やかな伴走支援を行いました。</p> <p>R3年度:市民公益活動助成金の新たな支援メニューとして「U-25チャレンジ応援助成」をスタートさせました。</p> |

| 評価項目 | | 評価 | |
|-------|--|--|---|
| 必要性 | 【市民のニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか? | a. 薄れていない b. 薄れている | a |
| | 【市が実施する必要性】 他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか? | a. 事例はない b. 事例がある | b |
| 評価の理由 | 「川崎市市民活動支援指針」及び「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」を踏まえて、かわさき市民活動センターが中核となって、区域レベルで設置されるソーシャルデザインセンターとの情報共有や積極的な交流を進め、テーマに応じて柔軟に連携し合えるような関係性を作り出し、これまでの実績や経験を生かした市民活動支援を引き続き実施することが必要です。 | | |
| 有効性 | 【成果】 活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか? | a. 上がっている b. 徐々に上がっている c. 上がっていない | b |
| | 評価の理由 | かわさき市民活動センター施設等利用団体数について目標値に到達しませんが、前年度より1割以上の増加があり、また、「ごえん楽市」の開催により、ボランティア・市民活動について多くの市民に周知するとともに、60を超える団体間の交流促進と活動の活性化が図られたこと等により、成果は徐々に上がっています。 | |
| 効率性 | 【民間の活用】 委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか? | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | b |
| | 【事業手法等の見直し】 事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか? | a. 可能性はない b. 可能性はある | b |
| | 【質の向上】 事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか? | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | b |
| 評価の理由 | 「川崎市市民活動支援指針(H13年9月)」に基づき、全市全領域の中間支援組織として民間の組織である(公財)かわさき市民活動センターが市民活動団体等の中間支援を担うことが必要であり、また、「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」を踏まえ、これまでの実績や専門性を発揮しながら、区域レベルの「ソーシャルデザインセンター」との有機的な連携を進めることで、相乗効果により市民活動のさらなる活性化に寄与することが出来ます。事務手法等の見直しや質の向上については、コミュニティ施策に基づく取組の推移を見極めながら判断する必要があります。 | | |

| 施策への貢献度 | 貢献度区分 | | 上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由 |
|---------|--|---|--|
| | A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い | B | |
| | | B | かわさき市民公益活動助成金事業や相談事業の実施による市民活動が自立的、継続的に発展していくための支援、「ごえん楽市」の開催等による様々な団体の交流促進、パワーアップセミナーの開催による運営スタッフの資質向上等、(公財)かわさき市民活動センターを通じた多方面からの支援により、市民活動の活性化につなげることができたことから、市民参加の促進と協働・連携のしくみづくりに一定の貢献をしています。 |



| 改善 (Action) | | |
|-----------------------------|---|---|
| | 方向性区分 | 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 |
| 今後の事業の方向性 | I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了 II | 川崎市民活動支援指針が定める中間支援(人材育成、資金確保、活動の場・情報の提供)に加えて、「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づき、「市民創発」を意識したコーディネートや多様な主体間のつながりづくりを進めていく必要があるため、各区における「ソーシャルデザインセンター」の活動内容に応じた有機的連携と市内の分野別中間支援組織のコーディネート、連携強化等に取り組んでいきます。 また、目標未達ではあるものの利用団体数は前年比11%増であったことから、目標達成に向けては、市民から募った意見を踏まえたフリースペースの利用方法の見直しや、市民活動支援に積極的な企業との連携を進める等、より一層の利便性向上に向けた運用改善を進めています。 |
| 第3期実施計画に記載されている次年度の取組内容 | | ①「かわさき市民活動センター」を通じた市民活動支援の促進(施設等利用団体数:6,400団体以上) ②「かわさき市民活動センター」の機能強化の推進 ③市民活動中の事故に対する「市民活動(ボランティア活動)補償制度」の実施 |
| 今後の事業の方向性を踏まえた次年度の取組内容の変更箇所 | 変更箇所 (上記計画上の記載に対する変更箇所) | |
| | 変更の理由 | |

令和6年度 事務事業評価シート

| 事業の概要 | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|--|-----------------------|------------|--------------|--------|--------|-----------|--------|---------|------------|-------|-------|-------|---|
| 事務事業 | 事務事業コード | 事務事業名 | | | | | | | | 政策体系別計画の記載 | | | | |
| | 50101050 | NPO法人活動促進事業 | | | | | | | | 有 | | | | |
| 担当 | 組織コード | 所属名 | | | | | | | | | | | | |
| | 254520 | 市民文化局コミュニティ推進部市民活動推進課 | | | | | | | | | | | | |
| 実施期間 | 事業開始年度 | 事業終了年度 | 事務・サービスの分類 | 分類1(市民サービス等) | | | 分類2(内部事務) | | | | | | | |
| | 平成22年度 | — | | 許認可等 | | | その他 | | | | | | | |
| 実施形態 | <input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他 | | | | | | | | | | | | | |
| 実施根拠 | <input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度 (法令・要綱等) 特定非営利活動促進法、川崎市個人市民税の控除対象となる寄附金を受け入れる特定非営利活動法人の基準等に関する条例 | | | | | | | | | | | | | |
| 総合計画と連携する計画等 | 地域福祉計画 | | | | | | | | | | | | | |
| SDGsのゴール・ターゲットを意識した取組の方向性 |  17.17 地域の課題解決の主体であるNPOの健全な発展とともに、NPOへの寄附の気運を醸成し、市民による相互支援の浸透を図ることで、市民社会のパートナーシップの構築につなげます。 | | | | | | | | | | | | | |
| 行財政改革第3期プログラムに関連する課題名 | 改革項目 | | | | | 課題名 | | | | | | | | |
| 予決算 (単位: 千円) | 年度 | R4年度 | | R5年度 | | R6年度 | | R7年度 | | | | | | |
| | | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額(見込) | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | | |
| | 財源内訳 | 事業費 A | | 2,628 | 2,009 | 2,628 | 2,628 | 1,286 | 2,628 | 2,628 | 1,870 | 2,628 | 2,628 | |
| | | 国庫支出金 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | |
| | | | 市債 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — |
| | | | その他特財 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — |
| | | | 一般財源 | 2,628 | — | 2,628 | 2,628 | — | 2,628 | 2,628 | — | 2,628 | 2,628 | — |
| | 人件費* B | | 37,066 | 37,066 | 33,759 | 33,759 | 33,759 | 34,032 | 34,032 | 34,032 | 0 | 0 | 0 | |
| | 総コスト(A+B) | | 39,694 | 39,075 | 36,387 | 36,387 | 35,045 | 36,660 | 36,660 | 35,902 | 2,628 | 2,628 | 0 | |
| | 人工(単位: 人) | | 4.4 | | 3.96 | | 3.96 | | | | | | | |

* 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

| 計画 (Plan) | | |
|---|---|-----------------------------|
| 政策体系 | 政策 | 参加と協働により市民自治を推進する |
| | 施策 | 市民参加の促進と多様な主体との協働・連携のしくみづくり |
| | 直接目標 | 多様な主体が協働・連携して地域課題の解決を進める |
| 事業の対象 (事業の対象となる人、物) | NPO法人、市民 | |
| 事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか) | 市民が行う自由な社会貢献活動としてのNPO活動の健全な発展とともに、NPOへの寄附の気運を醸成し、市民による相互支援の浸透を図ります。 | |
| 事業の内容 (どのような業務内容で、どのような手段で実施しているか) | NPO法人の設立に際しての認証や、税制上の優遇が受けられる認定及び条例指定制度を適正に運用するとともに、法人運営の基盤強化や寄附の気運の醸成に向けた広報等に取り組むことでNPO活動の健全な発展を促します。 | |
| 第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容 | ①NPO法人の設立認証、情報公開、監督等の実施 ②NPO法人の認定及び条例指定制度の適正な運用 ③NPO法人運営の基盤整備・強化に向けた支援等の実施 ④市民による相互支援や寄附文化の醸成に向けた取組の推進 | |
| 当初計画からの変更箇所 (第3期実施計画に記載されている取組内容から変更となる取組) | | |

| 実施結果 (Do) | | | | | | | | | |
|---|--|--|-----------------|---------------|------|------|------|------|----|
| 上記「第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容」に対する達成度 | 4 | | 1. 目標を大きく上回って達成 | 4. 目標を下回った | | | | | |
| | | | 2. 目標を上回って達成 | 5. 目標を大きく下回った | | | | | |
| | | | 3. ほぼ目標どおり | | | | | | |
| 取組内容の実績等 (上記に掲げた取組内容に対し、「数値等により具体的に実績を示すことができる取組」、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載) | <p>目標を下回りました。</p> <p>①設立事務説明会(2回)を市内各所で実施し、設立等の申請について審査し、提出された事業報告書を確認し、情報公開をしました。事業報告書等作成事務説明会の開催に代え、ホームページに作成の留意点等をまとめたものを新たに掲載しました。</p> <p>②税理士及び社会保険労務士と連携し会計・労務に関する個別の課題に対するアドバイザー派遣事業を実施し、派遣しました(会計2回、労務1回)。</p> <p>③NPO法人実務に則した実践講座(1回)、かわさき市民活動センター共催による会計(2回)・労務(1回)事務講座及びファンドレイジング講座(1回)を開催しました。</p> <p>④企業とNPOとの関係づくりをテーマに「地域・社会貢献フォーラム」を開催(1回)し、グループワークによる交流推進を図ったほか、「NPOを応援しよう!」の動画を各区役所の番号表示案内等で放映するとともにアゼリア広報コーナーでの展示(1週間)を行いました。</p> <p>上記取組の結果、新たに認定NPO法人となる法人が1法人ありましたが、業態の変化などに伴い更新しない法人等があり、実績は16法人となり、目標には達しませんでした。これは、適正な会計処理や寄附要件など認定・条例指定取得の高い基準を満たすためには、組織整備や支持の獲得、さらに運営を担う人材育成など十分な準備期間が必要になることに起因しています。NPO法人数の全国的な減少傾向(R4:50,351法人/R6:49,488法人)も踏まえ、法人設立段階からの地道な制度周知や法人運営の適正化に向けた効果的な支援に取り組みます。</p> | | | | | | | | |
| 指標分類 | 数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明) | | | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| 1 成果指標 | 認定・条例指定NPO法人数 | | | 目標 | 24 | 26 | 28 | 30 | 団体 |
| | 説明 寄附者の人数等により地域から支援されているかどうかを測る基準と適正運営等の要件を満たし、寄附者が税制上の優遇を受けられる認定・条例指定NPO法人の数 | | | 実績 | 17 | 18 | 16 | | |

評価 (Check)

| | |
|---|--|
| 事業を取り巻く社会環境の変化 (国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など) | 県内では、平成24年2月に神奈川県、同年7月に本市及び相模原市、同年8月に横浜市が条例指定制度を導入済みです。国においては、特定非営利活動促進法の一部改正(平成28年6月公布、平成29年4月施行)が行われ、一部未施行だった貸借対照表の公告に係る規定についても、平成30年10月から施行されました。 |
| 事業の見直し・改善内容 | <input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) R 6 年度 <input type="checkbox"/> 未実施 |
| 具体的に見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載 | R6年度:市外認定法人の提出書類について、手続きの簡素化を図る規則改正をしました(施行)。かわさき市民活動センター共催による会計・労務事務講座に加え、ファンドレイジング講座を実施しました。 R4年度:かわさき市民活動センター共催による会計事務連続講座について労務事務講座も併せて実施しました。 R3年度:かわさき市民活動センターでの展示を周年化し、定期的に展示内容の見直しを行い、寄附促進及び認定・条例指定制度の周知を行いました。 R2年度:寄付月間に併せた動画放映の媒体を増やしました。認定・条例指定取得後の手引きを作成しました。講座の一部をオンライン開催しました。 R1年度:NPO法人実務に係る実践的な講座を中間支援NPO法人と協力して開催しました。出張相談業務を士業団体と連携して実施しました。制度の手引きや応援ガイド等リーフレット類のリニューアルを行いました。 H30年度:条例指定申出に係る提出書類や調書等の見直しについて審査会において検討を行いました。 H29年度:法人運営の適正化に向け、税理士・社会保険労務士と連携し、アドバイザー派遣事業等を開始しました。 H28年度:手続きの簡素化を図るため、法人によって一部重複する提出書類を省略できる条例の一部改正を行いました。 |

| 評価項目 | | 評価 | |
|-------------|--|---|---|
| 必要性 | 【市民のニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか? | a. 薄れていない b. 薄れている | a |
| | 【市が実施する必要性】 他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか? | a. 事例はない b. 事例がある | a |
| | 評価の理由 | 「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」において、コミュニティを構成する多様な主体の1つとしてNPOが位置付けられていること、法人設立の迅速化や法人の事務負担の軽減を目的とした法改正(令和3年6月施行)がなされたことなど、地域の課題解決の主体としてのNPO法人の重要性は変わりません。そのため、所轄庁として認証、認定及び条例指定制度を適正に運用するとともに、NPO活動の健全な発展を促す必要があります。 | |
| 有効性 | 【成果】 活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか? | a. 上がっている b. 徐々に上がっている c. 上がっていない | c |
| | 評価の理由 | NPO法人数が全国的に減少傾向(R4:50,351法人/R6:49,488法人)にある中で、認定・条例指定法人数も昨年度から2法人減となり、成果が上がらない状況ではありましたが、更新の法人もあり、新規の相談も複数ありました。引き続き、法人の課題に応じた支援や寄附促進に向けた連携・意識の醸成など、きめ細やかで地道な支援の取組を着実に実施することが必要です。 | |
| 効率性 | 【民間の活用】 委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか? | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | b |
| | 【事業手法等の見直し】 事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか? | a. 可能性はない b. 可能性はある | b |
| | 【質の向上】 事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか? | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | b |
| 評価の理由 | NPO法人の活動分野は多岐に渡り、抱える課題も多様であることから、その支援については法人の実情に応じて柔軟にきめ細やかに行われることが望ましいため、中間支援組織や各種専門家による支援の更なる活用、講座・イベントの内容や開催手法の見直しなどの余地があります。 | | |
| 施策への 貢献度 | 貢献度区分 | 上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由 | |
| | A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い | B | 各種制度説明会やフォーラムの開催、寄付月間におけるキャンペーンの実施などを通じて、制度の周知や、運営基盤の強化、連携の促進等を図り、NPO法人活動や寄附を通じた社会貢献活動などの広報・啓発に取り組むことで、NPO活動の健全な発展を促しており、新たな認定NPO法人も生まれました。NPOも含めた多様な主体が協働・連携して地域課題の解決を進め、相互に支えあう誰もが住みよいまちづくりの実現に一定の貢献をしています。 |

改善 (Action)

| 今後の事業の方向性 | 方向性区分 | 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 |
|-------------------------------------|--|---|
| | I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了 | II |
| 第3期実施計画に記載されている 次年度の取組内容 | | ①NPO法人の設立認証、情報公開、監督等の実施 ②NPO法人の認定及び条例指定制度の適正な運用 ③NPO法人運営の基盤整備・強化に向けた支援等の実施 ④市民による相互支援や寄附文化の醸成に向けた取組の推進 |
| 今後の事業の方向性を 踏まえた次年度の取組内容 の変更箇所 | 変更箇所 (上記計画上の記載に 対する変更箇所) | |
| | 変更の理由 | |

令和6年度 事務事業評価シート

事業の概要

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|---|---|----------------|--------------|------------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|---|
| 事務事業 | 事務事業コード | 事務事業名 | | | 政策体系別計画の記載 | | | | | | | | | |
| | 50101060 | 地方分権改革推進事業 | | | 有 | | | | | | | | | |
| 担当 | 組織コード | 所属名 | | | | | | | | | | | | |
| | 170900 | 総務企画局都市政策部地方分権・特別市推進担当 | | | | | | | | | | | | |
| 実施期間 | 事業開始年度 | 事業終了年度 | 事務・サービスの分類 | 分類1(市民サービス等) | 分類2(内部事務) | | | | | | | | | |
| | — | — | その他 | — | — | | | | | | | | | |
| 実施形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他 | | | | | | | | | | | | | |
| 実施根拠 | <input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度＋市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度 (法令・要綱等) 地方自治法、地方分権一括法、新たな地方分権改革の推進に関する方針(改訂)等 | | | | | | | | | | | | | |
| 総合計画と連携する計画等 | | | | | | | | | | | | | | |
| SDGsのゴール・ターゲットを意識した取組の方向性 |  17.14 | 持続可能で自主的・自立的な行政運営に向けて、国や県、他都市と連携・協議を行い、市民の関心と理解も高めながら、特別市制度の実現を含めた地方分権改革に向けた取組を進める。 | | | | | | | | | | | | |
| 行財政改革第3期プログラムに関連する課題名 | 改革項目 | | 課題名 | | | | | | | | | | | |
| | 取組1(1) 将来を見据えた市民サービスの再構築 | | 1・地方分権改革の更なる推進 | | | | | | | | | | | |
| 予決算 (単位:千円) | 年度 | R4年度 | | R5年度 | | R6年度 | | R7年度 | | | | | | |
| | | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額(見込) | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | | |
| | 財源内訳 | 事業費 A | | 27,157 | 24,872 | 27,157 | 27,157 | 15,028 | 27,157 | 24,650 | 21,784 | 27,157 | 24,471 | |
| | | 国庫支出金 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | |
| | | | 市債 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — |
| | | | その他特財 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — |
| | | | 一般財源 | 27,157 | — | 27,157 | 27,157 | — | 27,157 | 24,650 | — | 27,157 | 24,471 | — |
| | 人件費* B | | 20,807 | 20,807 | 29,752 | 29,752 | 29,752 | 33,173 | 33,173 | 33,173 | 0 | 0 | 0 | |
| | 総コスト(A+B) | | 47,964 | 45,679 | 56,909 | 56,909 | 44,780 | 60,330 | 57,823 | 54,957 | 27,157 | 24,471 | 0 | |
| | 人工(単位:人) | | 2.47 | | 3.49 | | 3.86 | | | | | | | |

* 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

計画(Plan)

| | | |
|---|---|-----------------------------|
| 政策体系 | 政策 | 参加と協働により市民自治を推進する |
| | 施策 | 市民参加の促進と多様な主体との協働・連携のしくみづくり |
| | 直接目標 | 多様な主体が協働・連携して地域課題の解決を進める |
| 事業の対象 (事業の対象となる人、物) | 市民 | |
| 事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか) | 権限及び税源の移譲や特別市をはじめとした新たな大都市制度の創設に向けた取組等を進めることで、より自主的・自立的な行政運営を可能にします。 | |
| 事業の内容 (どういった業務内容で、どのような手段で実施しているか) | 自主的・自立的な行政運営に向けた取組を推進するため、国の地方分権改革に関する地方分権一括法等の状況に応じて、義務付け・枠付けの見直し、権限移譲等への具体的な対応を図るとともに、国に対して事務・権限の見直し等に関する提案を行います。また、特別市の法制化など、多様な大都市制度実現に向けて取組を行います。さらに、県・市間の事務・権限の見直し等に関する協議を行います。 | |
| 第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容 | ①権限移譲や義務付け・枠付けの見直しに向けた「提案募集方式」の活用 ②特別市制度の実現に向けた取組の推進 ③県市間の適切な役割分担に向けた検討・調整 ④「新たな地方分権改革の推進に関する方針」に基づく取組の推進 | |
| 当初計画からの変更箇所 (第3期実施計画に記載されている取組内容から変更となる取組) | | |

実施結果(Do)

| | | |
|--|--|--|
| 上記「第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容」に対する達成度 | 3 | 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った |
| 取組内容の実績等 (上記に掲げた取組内容に対し、「数値等」でより具体的に実績を示すことができる取組」、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載) | 目標どおり達成できました。 ①の「提案募集方式」の活用については、国に対して提案の説得力を増し、実現性を高めるため、他の指定都市等と共同提案を行うなど、地方自治体が協調した取組を進めました。「提案募集方式」における本市の提案について、平成26(2014)年の制度開始から令和6(2024)年までの累計数は、60件となりました。 ②の特別市制度の実現に向けた取組については、6月に特別市制度の創設について国への要請を実施しました。9月には県内指定都市の横浜市、相模原市とともに「県内三政令市市長・正副議長懇談会」を開催し、「共同メッセージ」を取りまとめました。11月には指定都市市長会として「人口減少時代を見据えた多様な大都市制度の早期実現に関する提言(素案)」を策定し、国へ説明を行うとともに、国に対して「次期地方制度調査会における調査審議に関する指定都市市長会要請」を実施しました。12月には総務省が「大都市における行政課題への対応に関するワーキンググループ」を設置し、1月に開催された第2回において、指定都市市長会を代表してヒアリングを受け、これまでの本市や指定都市市長会での検討状況等を踏まえ、大都市が果たすべき役割や特別市制度の必要性・効果等について、意見を表明しました。2月には「指定都市市長会シンポジウムin川崎」を開催しました。市民への広報としては、解説動画を新たに制作し、パンフレットなどの広報媒体も活用しながら、PTA連絡協議会を中心に出席説明会を計34回実施しました。また、区民祭や緑化フェアなどのイベントにも出展し、パネル展示やパンフレット、グッズ等の配布などにより広く来場者へのPRを実施するとともに、各区図書館における企画展を実施しました。さらに、昨年度に引き続き、若年層向けに分かりやすく伝えるためショート漫画「教えて！特別市」vol.2,3を発行しました。 ③の県・市間の適切な役割分担に向けた検討・調整については、コンビナート地域における高圧ガス保安法の事務・権限の移譲について、横浜市とも連携を図りながら県と協議を行い、令和6(2024)年12月に県の「事務処理の特例に関する条例」が改正・公布され、令和7(2025)年4月から、県から市へ事務・権限が移譲されることが決定されました。 ④の「新たな地方分権改革の推進に関する方針」に基づく取組については、川崎市地方分権推進会議を2回開催し、庁内での情報共有を図りながら、地方分権の推進や特別市の実現に向けて取組を進めました。 | |

| 指標分類 | 数値で事業の実績・効果等を把握できる指標（指標の説明） | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
|------|--|-------|-------|-------|-------|------|----|
| 1 | 活動指標 「提案募集方式」における本市提案の累計数 説明 地方分権に関する「提案募集方式」を活用し、本市が提案(共同提案を含む。)した項目の制度開始から当該年度12月末時点での累計数※ ※「提案募集方式」については、毎年2月に募集を開始し、その年の12月に国が方針を出す制度設計となっているため、12月末時点での累計数を記載することとしています。 | 目標 | - | 43 | 48 | 53 | 件 |
| | | 実績 | 38 | 48 | 60 | | |
| 2 | 活動指標 出前説明会の参加者数 説明 特別市制度の出前説明会を実施し、参加した人の人数 ※出前説明会については、主として開催希望があった都度実施するものであり、実施手法や対象者が様々であるため、補足的な指標として設定 | 目標 | - | - | - | - | 人 |
| | | 実績 | 1,367 | 1,512 | 1,536 | | |
| 3 | 成果指標 出前説明会の参加者における特別市制度への理解度 説明 特別市制度の出前説明会後のアンケートにおいて、特別市制度について「理解できた」又は「ある程度理解できた」と回答した参加者の割合 ※特別市の法制化をはじめ今後の特別市制度の検討状況や進捗によっては、今後、目標値の見直しを行います。 | 目標 | - | 70 | 70 | 70 | % |
| | | 実績 | 70 | 76.5 | 82.8 | | |
| 4 | 成果指標 かわさき市民アンケートにおける特別市制度の認知度 説明 かわさき市民アンケートにおいて、特別市について、「制度の内容を知っていた」又は「制度の内容は分からないが、名称を知っていた」を選んだ人の割合 ※特別市の法制化をはじめ今後の特別市制度の検討状況や進捗によっては、今後、目標値の見直しを行います。 | 目標 | - | - | - | 35.5 | % |
| | | 実績 | - | 27.5 | - | | |

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化
(国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など)
地方分権改革に関する提案募集方式の導入や地方分権一括法の制定等に伴い、地方の自主的・自立的な行政運営に向けた取組がますます求められています。

事業の見直し・改善内容
 実施 (直近) R 3 年度 未実施

具体的な見直し・改善内容
※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載

R3年度: 特別市制度の実現をはじめ、地方分権改革の取組を一層推進するため、「新たな地方分権改革の推進に関する方針」を改訂しました。
H29年度: 庁内における分権意識の醸成等のためeラーニングを立ち上げ、啓発及びアンケート機能を活用した分権提案を募集する取組を開始しました。また、市民向け広報のためのパンフレットの作成を行いました。
H28年度: 社会環境の変化等に対応するため、「新たな地方分権改革の推進に関する方針」を策定しました。
H26年度: 地方分権改革に関する提案募集方式の導入に伴い、各所管から分権に関する提案を受け付ける取組を始めました。

| 評価項目 | | 評価 | |
|------|---|---|---|
| 必要性 | 【市民のニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか? | a. 薄れていない b. 薄れている | a |
| | 【市が実施する必要性】 他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか? | a. 事例はない b. 事例がある | a |
| | 評価の理由 社会環境の変化等に適切に対応し、自治体として必要な事務・権限等について常に検討する必要があります。 | | |
| 有効性 | 【成果】 活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか? | a. 上がっている b. 徐々に上がっている c. 上がっていない | b |
| | 評価の理由 地方分権改革の取組や特別市制度創設に向けた取組を進めることにより、国や県から事務・権限が移譲されるなど、本市の自主性・自立性に一定の進展があります。 | | |
| 効率性 | 【民間の活用】 委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか? | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | a |
| | 【事業手法等の見直し】 事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか? | a. 可能性はない b. 可能性はある | b |
| | 【質の向上】 事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか? | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | c |
| | 評価の理由 事務・権限移譲に向けた取組や特別市制度の実現に向けた取組は、自治体間や庁内での調整・検討を要することから、民間委託による経費削減等が見込まれる性質のものではありません。また、これまで組織体制の見直しや、eラーニングの導入・活用等の事業手法の見直しを行い、業務の効率化及び質の向上を図っていますが、引き続き事務改善の可能性を検討していきます。 | | |

| 施策への貢献度 | 貢献度区分 | 上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由 |
|---------|--|---------------------------|
| | A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い | A |



改善 (Action)

| 方向性区分 | | 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 |
|--|-----------------------------------|--|
| 今後の事業の方向性 I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了 | II | 事業を取り巻く社会環境の変化に的確に対応しながら、「新たな地方分権改革の推進に関する方針」に基づき、地方分権改革に係る取組を一層推進するとともに、特別市制度の実現に向けた取組を進めていきます。 |
| 第3期実施計画に記載されている次年度の取組内容 | | ①権限移譲や義務付け・枠付けの見直しに向けた「提案募集方式」の活用 ②特別市制度の実現に向けた取組の推進 ③県市間の適切な役割分担に向けた検討・調整 ④「新たな地方分権改革の推進に関する方針」に基づく取組の推進 |
| 今後の事業の方向性を踏まえた次年度の取組内容の変更箇所 | 変更箇所 (上記計画上の記載に対する変更箇所) | |
| | 変更の理由 | |

令和6年度 事務事業評価シート

事業の概要

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|--|------------------------|------------|--------------|-----------|------------|-------|---------|-------|-------|-------|-------|
| 事務事業 | 事務事業コード | 事務事業名 | | | | 政策体系別計画の記載 | | | | | | |
| | 50101070 | 都市政策研究事業 | | | | 無 | | | | | | |
| 担当 | 組織コード | 所属名 | | | | | | | | | | |
| | 170900 | 総務企画局都市政策部地方分権・特別市推進担当 | | | | | | | | | | |
| 実施期間 | 事業開始年度 | 事業終了年度 | 事務・サービスの分類 | 分類1(市民サービス等) | 分類2(内部事務) | | | | | | | |
| | — | — | | その他 | — | | | | | | | |
| 実施形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他 | | | | | | | | | | | |
| 実施根拠 | <input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度 (法令・要綱等) | | | | | | | | | | | |
| 総合計画と連携する計画等 | 国際施策推進プラン | | | | | | | | | | | |
| SDGsのゴール・ターゲットを意識した取組の方向性 | — — 中長期的に持続可能な暮らしやすいまちづくりを実現するため、本事業の実施により地方自治体としての政策形成能力の向上や新たな知見の獲得、施策への反映等を目指します。 | | | | | | | | | | | |
| 行財政改革第3期プログラムに関連する課題名 | 改革項目 | | | 課題名 | | | | | | | | |
| 予決算 (単位:千円) | 年度 | R4年度 | | R5年度 | | R6年度 | | R7年度 | | | | |
| | | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額(見込) | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | |
| | 事業費 A | 3,344 | 850 | 3,344 | 3,311 | 2,193 | 3,344 | 2,339 | 700 | 3,344 | 2,329 | |
| | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | 市債 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | その他特財 | 48 | — | 48 | 40 | — | 48 | 34 | — | 48 | 19 |
| | | 一般財源 | 3,296 | — | 3,296 | 3,271 | — | 3,296 | 2,305 | — | 3,296 | 2,310 |
| | 人件費* B | 4,633 | 4,633 | 5,541 | 5,541 | 5,541 | 3,953 | 3,953 | 3,953 | 0 | 0 | 0 |
| | 総コスト(A+B) | 7,977 | 5,483 | 8,885 | 8,852 | 7,734 | 7,297 | 6,292 | 4,653 | 3,344 | 2,329 | 0 |
| | 人工(単位:人) | 0.55 | | 0.65 | | 0.46 | | | | | | |

* 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

計画 (Plan)

| | | |
|---|---|-----------------------------|
| 政策体系 | 政策 | 参加と協働により市民自治を推進する |
| | 施策 | 市民参加の促進と多様な主体との協働・連携のしくみづくり |
| | 直接目標 | 多様な主体が協働・連携して地域課題の解決を進める |
| 事業の対象 (事業の対象となる人、物) | 本市職員 | |
| 事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか) | 研究会の開催や政策情報誌の発行を通じて、都市の政策課題への機動的かつ柔軟な対応や、職員の政策形成能力の向上と施策への反映等を目指します。 | |
| 事業の内容 (どのような業務内容で、どのような手段で実施しているか) | 研究会の開催等を通じて、都市政策に関する情報収集及び調査研究等の取組を進めます。 | |
| 第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容 | ①学識経験者等による研究会の開催および学会への参加 ②職員の研究チームによる政策課題の研究 ③本市の政策課題に関連した政策情報誌の発行 | |
| 当初計画からの変更箇所 (第3期実施計画に記載されている取組内容から変更となる取組) | ②職員および企業参加者による政策課題の研究 | |

実施結果 (Do)

| | | | | | | | |
|---|---|--|------|------|------|------|----|
| 上記「第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容」に対する達成度 | 3 | 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った | | | | | |
| 取組内容の実績等 (上記に掲げた取組内容に対し、「数値等により具体的に実績を示すことができる取組」、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載) | 目標どおり達成できました。 ①の研究会の開催については、有識者を招いて令和6年10月、12月に「カスタマーハラスメント対策の最前線」「川崎市の都市分析と今後の方向性」をテーマに都市政策研究会を2回開催しました。 ②の政策課題研究については、昨年度の実施内容を踏まえ、令和6年11月に「基本編」として、庁内職員を対象に民間企業と連携した政策基礎研修を実施し、また令和7年3月に「実践編」として、指標づくりのポイントと方法をテーマに政策課題研究を実施しました。 ③の政策情報誌については、「川崎市役所本庁舎建替事業 大解剖」をテーマにした「政策情報かわさき第43号」を令和7年3月に発行しました。 | | | | | | |
| 指標分類 | 数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| 1 | 活動指標 政策情報かわさきの年間発行回数 | 目標 | 1 | 1 | 1 | 1 | 冊 |
| | | 実績 | 1 | 1 | 1 | | |
| 2 | 説明 | 目標 | | | | | |
| | | 実績 | | | | | |
| 3 | 説明 | 目標 | | | | | |
| | | 実績 | | | | | |

評価 (Check)

| | |
|--|--|
| 事業を取り巻く社会環境の変化 (国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など) | 少子高齢化の進展や人口減少等様々な課題の発生に伴い、自治体政策における創意工夫がますます重要になっているとともに、継続的な調査研究が求められています。 |
| 事業の見直し・改善内容 | <input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) R 6 年度 <input type="checkbox"/> 未実施 |
| 具体的に見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載 | R6年度:政策課題研究事業について、職員の政策形成能力の向上を企図して基本編と実践編をそれぞれ開催しました。 R5年度:政策課題研究事業について、従前は庁内公募等により数名の若手職員を研究員として委嘱し、国内外の視察等も含めた調査・研究を実施してきましたが、コロナ禍での事業中止などを経て事業内容を見直し、試行的に企業社員・市職員が共に学ぶ2日間のプログラムとして実施しました。 R4年度:政策情報かわさきのページ分量および発行部数を減らし、よりコンパクトで読みやすくなるよう見直しました。 H28年度:政策情報かわさき及び政策課題研究報告書を広く活用していただくため、過去約20年分の全ての政策情報かわさきと政策課題研究報告書をホームページに掲載しました。 |

| 評価項目 | | 評価 | |
|----------------|--|--|--|
| 必要性 | 【市民のニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか? | a. 薄れていない b. 薄れている | a |
| | 【市が実施する必要性】 他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか? | a. 事例はない b. 事例がある | a |
| 評価の理由 | 地方分権改革の進展により、自治体政策による創意工夫がますます重要になっているとともに、少子・高齢化の進展や今後の人口減少、デジタル化の進展など様々な課題(中長期的、潜在的、新規性のある、分野横断的な課題を含む)に的確に対応していくため、継続的な調査研究が求められています。 | | |
| 有効性 | 【成果】 活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか? | a. 上がっている b. 徐々に上がっている c. 上がっていない | b |
| | 評価の理由 | 時宜にかなった政策情報誌の発行や都市政策研究会の開催等により、都市の政策課題への機動的かつ柔軟な対応や、職員の政策形成能力の向上等に寄与していると考えます。 | |
| 効率性 | 【民間の活用】 委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか? | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | c |
| | 【事業手法等の見直し】 事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか? | a. 可能性はない b. 可能性はある | b |
| | 【質の向上】 事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか? | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | b |
| 評価の理由 | 政策課題研究事業や政策情報かわさきについて、経費削減とともに効率的・効果的な実施内容・実施方法となるよう既に大幅な見直しを行ってきました。市の中長期的な課題・可能性に対する調査機能については全庁的な議論が必要と考えます。 | | |
| 施策への貢献度 | 貢献度区分 | 上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由 | |
| | A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い | B | 時宜にかなった政策情報誌の発行や都市政策研究会の開催等、政策課題を共有する機会の創出を実施し、都市の政策課題への機動的かつ柔軟な対応や、職員の政策形成能力の向上等を図れたことから、施策への貢献はあったと考えられます。 |

改善 (Action)

| 方向性区分 | | 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 | |
|------------------------------------|--|---|--|
| 今後の事業の方向性 | I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了 | II | 今後も時宜にかなった都市政策研究会の開催、政策情報誌の発行を行います。また、政策課題研究事業については事業内容の見直し後に実施したプログラムに対する講師や参加者からのフィードバックを踏まえ、令和7年度は事業手法のさらなる改善を図り、職員の政策形成能力の向上等に資する時宜にかなったより効果的なプログラムを実施します。 |
| 第3期実施計画に記載されている次年度の取組内容 | | ①学識経験者等による研究会の開催および学会への参加 ②職員の研究チームによる政策課題の研究 ③本市の政策課題に関連した政策情報誌の発行 | |
| 今後の事業の方向性を踏まえた次年度の取組内容の変更箇所 | 変更箇所 (上記計画上の記載に対する変更箇所) | ②職員の政策形成能力の向上等に資する多様な事業手法による政策課題の研究 | |
| | 変更の理由 | 令和5年度に事業内容の見直しを行い、時宜にかなった多様な事業手法により事業を実施しているため。 | |

令和6年度 事務事業評価シート

事業の概要

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|--|-------------------------|---|--------------|-----------|------------|---------|-----------|--------|-------|-------|-------|
| 事務事業 | 事務事業コード | 事務事業名 | | | | 政策体系別計画の記載 | | | | | | |
| | 50101080 | SDGs未来都市推進事業 | | | | 有 | | | | | | |
| 担当 | 組織コード | 所属名 | | | | | | | | | | |
| | 170900 | 総務企画局都市政策部SDGs・国際連携推進担当 | | | | | | | | | | |
| 実施期間 | 事業開始年度 | 事業終了年度 | 事務・サービスの分類 | 分類1(市民サービス等) | 分類2(内部事務) | | | | | | | |
| | — | — | その他 | — | — | | | | | | | |
| 実施形態 | <input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他 | | | | | | | | | | | |
| 実施根拠 | <input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度 (法令・要綱等) 川崎市SDGs登録・認証制度「かわさきSDGsパートナー」実施要綱、川崎市SDGsプラットフォーム設置要綱、SDGs達成に向けたモデル事業創出支援補助金交付要綱 | | | | | | | | | | | |
| 総合計画と連携する計画等 | 地球温暖化対策推進基本計画、男女平等推進行動計画 | | | | | | | | | | | |
| SDGsのゴール・ターゲットを意識した取組の方向性 | 17 | 17.17 | 川崎市SDGs登録・認証制度「かわさきSDGsパートナー」と「川崎市SDGsプラットフォーム」の効果的な運用により、多様なステークホルダーとの連携強化を図り、SDGsの達成に向けた取組を支援します。 | | | | | | | | | |
| 行財政改革第3期プログラムに関連する課題名 | 改革項目 | | 課題名 | | | | | | | | | |
| 予決算 (単位:千円) | 年度 | R4年度 | | R5年度 | | R6年度 | | R7年度 | | | | |
| | | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 予算額 | 決算額 | 計画事業費 予算額 | 決算額(見込) | 計画事業費 予算額 | 決算額 | | | |
| | 事業費 A | 14,917 | 13,076 | 8,053 | 11,155 | 8,433 | 8,053 | 10,006 | 6,162 | 8,053 | 7,962 | |
| | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | 市債 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | その他特財 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | 一般財源 | 14,917 | — | 8,053 | 11,155 | — | 8,053 | 10,006 | — | 8,053 | 7,962 |
| | 人件費※ B | 21,987 | 21,987 | 26,769 | 26,769 | 26,769 | 20,368 | 20,368 | 20,368 | 0 | 0 | |
| | 総コスト(A+B) | 36,904 | 35,063 | 34,822 | 37,924 | 35,202 | 28,421 | 30,374 | 26,530 | 8,053 | 7,962 | |
| | 人工(単位:人) | 2.61 | | 3.14 | | 2.37 | | | | | | |

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

計画 (Plan)

| | | |
|---|--|-----------------------------|
| 政策体系 | 政策 | 参加と協働により市民自治を推進する |
| | 施策 | 市民参加の促進と多様な主体との協働・連携のしくみづくり |
| | 直接目標 | 多様な主体が協働・連携して地域課題の解決を進める |
| 事業の対象 (事業の対象となる人、物) | 川崎市内で事業活動をしている企業や川崎市内で活動をしている組織等の多様なステークホルダー | |
| 事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか) | 川崎市SDGs登録・認証制度「かわさきSDGsパートナー」と「川崎市SDGsプラットフォーム」の効果的な運用により、SDGsの達成に向けた取組の支援を行うことで、市域におけるSDGsの推進を目指します。 | |
| 事業の内容 (どのような業務内容で、どのような手段で実施しているか) | 国の取組との連動、川崎市SDGs登録・認証制度「かわさきSDGsパートナー」や「川崎市SDGsプラットフォーム」を基盤とした多様な主体との連携強化、職員や市民、企業団体等への理解の浸透を図り、SDGsの推進に効果的に取り組めます。 | |
| 第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容 | ①川崎市SDGs登録・認証制度の申請様式の改善など手続の利便性向上に向けた検討と取組の推進 ②情報提供やセミナー開催などによるSDGsに取り組む事業者の支援 ③事業者のネットワーク化の支援に向けた取組事例の共有やマッチング支援などの実施 ④ポータルサイトや分科会の立ち上げなど事業者間連携の促進 | |
| 当初計画からの変更箇所 (第3期実施計画に記載されている取組内容から変更となる取組) | ⑤「庁内SDGs取組の進め方」の運用などによる庁内SDGsの推進【新規(令和6年度)】 | |

実施結果 (Do)

| | | | | | | | | |
|---|--|--|------|-------|-------|-------|-------|---|
| 上記「第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容」に対する達成度 | 4 | 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った | | | | | | |
| 取組内容の実績等 (上記に掲げた取組内容に対し、「数値等でより具体的に実績を示すことができる取組」、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載) | 目標を下回りました。 ①川崎市SDGs登録・認証制度について、有効期間や申請フォームを見直し、継続・申請しやすい体制を整備しました。 ②かわさきSDGsパートナー向けに随時情報発信を行うとともに、SDGsフォーラムを1回開催し、さらに関係局が実施するSDGs・ESGセミナーとの連携も行いました。 ③SDGs大賞を開催し8つの事業者・団体を表彰するとともに、事業者のマッチングを促進するSDGs達成に向けたモデル事業創出支援補助金を実施し、3件交付しました。 ④かわさきSDGsポータルサイトを活用した情報発信を行うとともに、分科会が新たに3つ立ち上がりました(延べ13分科会)。 ⑤SDGs取組を全庁的に加速化させるため、「庁内SDGs取組の進め方」の掲載内容を更新し、最新事例を活用した職員研修を行うとともに、「職員脱炭素・SDGs自主行動宣言」を実施しました。 ・成果指標について、「かわさきSDGsパートナー」登録・認証事業者数は3,446となり目標に届いていませんが、SDGsに関心がある事業者の多くが、すでに登録・認証を行ったことが要因と考えられます。なお、パートナー数は前回実績値と比較すると137者増えているほか、本市の調べでは、本市の登録・認証事業者数は政令指定都市で最大となっており、引き続き、様々な機会を通じて登録・認証者の増加を促すとともに、登録・認証者へのSDGs取組の支援等も進めていきます。 | | | | | | | |
| 指標分類 | 数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 | |
| 1 | 成果指標 | 「かわさきSDGsパートナー」登録・認証事業者数 | 目標 | 2,437 | 3,139 | 3,630 | 3,973 | 者 |
| | | 説明 「かわさきSDGsパートナー」に登録・認証された事業者等の累計件数 | 実績 | 3,145 | 3,309 | 3,446 | | |
| 2 | 成果指標 | SDGsにつながる行動に取り組んでいる人の割合 | 目標 | — | 34 | — | 50 | % |
| | | 説明 市民アンケートにおいてSDGsにつながる行動に取り組んでいると回答した人の割合 ※アンケートは隔年に実施 | 実績 | — | 25.8 | — | | |

| | | | | | | | | |
|---|------|--|----|---|----|---|----|---|
| 3 | 成果指標 | SDGsを知っている人の割合 | 目標 | - | 80 | - | 90 | % |
| | | 説明 市民アンケートにおいてSDGsを知っていると回答した人の割合 ※アンケートは隔年に実施 | 実績 | - | 82 | - | | |

| 評価 (Check) | |
|---|--|
| 事業を取り巻く社会環境の変化 (国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など) | 内閣府では、持続可能なまちづくりや地域活性化に向けた取組の推進に当たり、SDGsの理念を取り込むことで、政策の全体最適化、地域課題解決の加速化という相乗効果が期待できるため、SDGsを原動力とした地方創生(地方創生SDGs)を推進しています。 |
| 事業の見直し・改善内容 | <input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) R 6 年度 <input type="checkbox"/> 未実施 |
| 具体的に見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載 | R6年度: 市内SDGs取組の進め方ver3.0の策定、職員脱炭素・SDGs自主行動宣言の実施 R5年度: 市内SDGs取組の進め方ver1.0、ver2.0の策定 R4年度: SDGs大賞の初開催、かわさきSDGsポータルサイトの開設 |

| 評価項目 | | 評価 | |
|------|--|--|---|
| 必要性 | 【市民のニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか？ | a. 薄れていない b. 薄れている | a |
| | 【市が実施する必要性】 他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか？ | a. 事例はない b. 事例がある | a |
| | 評価の理由 | 川崎市内で事業活動をしている企業や川崎市内で活動をしている組織など、多様なステークホルダーに対してSDGsの達成に向けた取組の支援を行うことの重要性は増しており、市が主体となって取組の支援を実施することにより市域におけるSDGsの推進を図ることが求められています。 | |
| 有効性 | 【成果】 活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか？ | a. 上がっている b. 徐々に上がっている c. 上がっていない | b |
| | 評価の理由 | 「川崎市SDGsプラットフォーム」を基盤とした多様な主体との連携により、「かわさきSDGsパートナー」登録・認証事業者数は3,446となり、前回実績値と比較すると137者増えているほか、本市の調べでは、本市の登録・認証事業者数は政令指定都市で最大となっており、引き続き、様々な機会を通じて登録・認証者の増加を促すとともに、登録・認証者へのSDGs取組の支援等も進めていきます。 | |
| 効率性 | 【民間の活用】 委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか？ | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | c |
| | 【事業手法等の見直し】 事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか？ | a. 可能性はない b. 可能性はある | b |
| | 【質の向上】 事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか？ | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | c |
| | 評価の理由 | 令和4年度にポータルサイトの活用による川崎市SDGs登録・認証制度事務の効率化を実現するとともに、事業を適正な人員体制・費用で行いながら市民サービスの向上を図るための組織体制の見直しを実施済みですが、より効率的かつ効果的な事業実施をめざして、仕様の見直し等の事務改善を適切に進めていきます。 | |

| 施策への貢献度 | 貢献度区分 | 上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由 |
|---------|--|---|
| | A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い | B 川崎市SDGs登録・認証制度「かわさきSDGsパートナー」と「川崎市SDGsプラットフォーム」の効果的な運用により、市内の多様なステークホルダーに対し、SDGsの達成に向けた取組の支援を行ったことにより、市域におけるSDGsの推進が図られたことから、一定程度施策への貢献がありました。 |

| 改善 (Action) | | |
|-----------------------------|--|--|
| 今後の事業の方向性 | 方向性区分 | 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 |
| | I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了 | II |
| 第3期実施計画に記載されている次年度の取組内容 | | ①川崎市SDGs登録・認証制度の申請様式の改善など手続の利便性向上に向けた検討と取組の推進 ②情報提供やセミナー開催などによるSDGsに取り組む事業者の支援 ③事業者のネットワーク化の支援に向けた取組事例の共有やマッチング支援などの実施 ④ポータルサイトや分科会の立ち上げなど事業者間連携の促進 |
| 今後の事業の方向性を踏まえた次年度の取組内容の変更箇所 | 変更箇所 (上記計画上の記載に対する変更箇所) | ⑤「市内SDGs取組の進め方」の運用などによる市内SDGsの促進【令和6年度より追加した取組】 ⑥「(仮称)SDGsパートナー優良取組事例集」等の策定及び運用による市外SDGsの促進【令和7年度より追加する取組】 |
| | 変更の理由 | ⑤SDGs達成に向けた取組の必要性が増しており、市内でのSDGs取組をさらに加速するため。 ⑥SDGsに関心がある事業者の多くが、既に登録・認証を行ったものと推定されることから、今後は登録・認証事業者の優良事例を共有するなどの取組により、市外でのSDGs取組をさらに活性化するため。 |

令和6年度 事務事業評価シート

事業の概要

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|---|-----------------|---|--------------------|------------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|
| 事務事業 | 事務事業コード | 事務事業名 | | | 政策体系別計画の記載 | | | | | | | |
| | 50102010 | 広聴等事務 | | | 有 | | | | | | | |
| 担当 | 組織コード | 所属名 | | | | | | | | | | |
| | 170910 | 総務企画局都市政策部企画調整課 | | | | | | | | | | |
| 実施期間 | 事業開始年度 | 事業終了年度 | 事務・サービス等の分類 | 分類1(市民サービス等) | 分類2(内部事務) | | | | | | | |
| | — | — | | 公聴及び相談・苦情申し立ての聴取等 | — | | | | | | | |
| 実施形態 | <input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他 | | | | | | | | | | | |
| 実施根拠 | <input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度 (法令・要綱等) 川崎市市長への手紙実施要綱、かわさき市民アンケート実施要綱 | | | | | | | | | | | |
| 総合計画と連携する計画等 | シティプロモーション戦略プラン | | | | | | | | | | | |
| SDGsのゴール・ターゲットを意識した取組の方向性 | 16 | 16.7 | さまざまな手法で適切に市民意見を収集し、市政に反映させる取組を進めることで、市民の市政に対する理解を高め、参加・協働の意識を醸成し、市民自治の推進を図ります。 | | | | | | | | | |
| 行財政改革第3期プログラムに関連する課題名 | 改革項目 | | | 課題名 | | | | | | | | |
| | 取組3(4)積極的な情報共有の推進 | | | 3・広聴機能の強化に向けた取組の推進 | | | | | | | | |
| 予決算 (単位:千円) | 年度 | R4年度 | | R5年度 | | R6年度 | | R7年度 | | | | |
| | | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額(見込) | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 |
| | 事業費 A | 7,793 | 6,925 | 8,067 | 10,172 | 11,831 | 7,793 | 10,667 | 11,198 | 8,067 | 10,199 | |
| | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | 市債 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | その他特財 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | 一般財源 | 7,793 | — | 8,067 | 10,172 | — | 7,793 | 10,667 | — | 8,067 | 10,199 |
| 人件費* B | 32,095 | 32,095 | 38,192 | 38,192 | 38,192 | 39,876 | 39,876 | 39,876 | 0 | 0 | | |
| 総コスト(A+B) | 39,888 | 39,202 | 46,259 | 48,364 | 50,023 | 47,669 | 50,543 | 51,074 | 8,067 | 10,199 | | |
| 人工(単位:人) | 3.81 | | 4.48 | | 4.64 | | | | | | | |

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

計画 (Plan)

| | | |
|---|---|---------------------------------|
| 政策体系 | 政策 | 参加と協働により市民自治を推進する |
| | 施策 | 迅速で的確な広報・広聴と市民に開かれた情報共有の推進 |
| | 直接目標 | 市民の意見を幅広く聴取するとともに、分かりやすい情報発信を行う |
| 事業の対象 (事業の対象となる人、物) | 市民 | |
| 事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか) | 適切に市民意見を収集し、市政に反映させる取組を進めることで、市民の市政に対する理解を高め、参加・協働の意識を醸成し、市民自治の推進を図ります。 | |
| 事業の内容 (どのような業務内容で、どのような手段で実施しているか) | 市長と市民が直接対話する「車座集会」や、「市長への手紙」など、さまざまな手法により効果的に市民の声を収集し、情報の共有・活用を図り、市の施策に反映させる取組を進めます。 | |
| 第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容 | ①市長と市民等との直接対話を通して、その声を市政運営に反映するための「車座集会」の実施(月1回程度) ②市民から寄せられた声を貴重な情報として市政運営に反映させるための「市長への手紙」の適切な運用 ③市政に対する市民のさまざまな声を把握するための「かわさき市民アンケート」による幅広い市民意見の聴取 ④市民ニーズの的確な把握に向けた職員の意識や能力の向上のための職員研修の実施(研修達成度90%以上目標) | |
| 当初計画からの変更箇所 (第3期実施計画に記載されている取組内容から変更となる取組) | | |

実施結果 (Do)

| | | | | | | | | |
|--|--|--|------|-------|-------|-------|-------|---|
| 上記「第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容」に対する達成度 | 3 | 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った | | | | | | |
| 取組内容の実績等 (上記に掲げた取組内容に対し、「数値等」でより具体的に実績を示すことができ「より達成できた部分」を記載) | ほぼ目標どおり達成できました。 ①「車座集会」を年9回(うち1回は区と局の共同開催)開催し、通算75回目となりました。地域の特色や市政の課題を踏まえたテーマを設定し、テーマに関連した活動を行っている市民の声を丁寧に受け止めながら参加者の選定を行い、最適なタイミングで市民と市長が公開の場で深い議論を行うことで、施策に活かすことができている意見の聴取、市民間での課題認識や解決に向けた情報の共有を行うことができました。 ②市長への手紙については、「テニスコートのキャンセル規定について、熱中症アラート発令時は無料でキャンセル出来るように変更してほしい」という意見について、関係所管局における検討のもと、「熱中症警戒アラート」又は「熱中症特別警戒アラート」が施設利用日に神奈川県で発表されている場合などの条件を満たし、利用日前日から利用時間までにキャンセルの申し出があった場合は施設利用料をいただかないという運用に見直しを図るなど、市政に活用・反映させました。 ③市民アンケートについては、目標どおり2回実施しました。また、市民アンケートの戦略的手法の検証及び取組の推進については、専門家の支援等により、市政の参考となる情報を収集することができました。 ④広聴に関する研修の実施については、市民意見の市政への反映・活用を行う事業所管部署職員の意識や能力の向上を図るため、広聴制度の基礎知識を学ぶための研修(年1回)を例年より1か月前倒して、4月に実施しました。また、アンケート調査に関する研修として、政策形成に資するアンケート調査の基礎知識を学ぶための研修(オンデマンド研修と対面研修(グループワーク研修)の2部構成、年1回)を5月に実施しました。 | | | | | | | |
| 指標分類 | 数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 | |
| 1 | 活動指標 | さまざまな手法による車座集会の実施回数 | 目標 | 8 | 8 | 8 | 8 | 回 |
| | 説明 | 車座集会の実施回数 | 実績 | 5 | 10 | 9 | | |
| 2 | 活動指標 | 市長への手紙の受理件数 | 目標 | 1,200 | 1,200 | 1,200 | 1,200 | 件 |
| | 説明 | 市長への手紙として、手紙・FAX・メールなど身近な手段により寄せられた市民の声の件数 | 実績 | 3,507 | 4,149 | 3,783 | | |

| | | | | | | | | | |
|---|------|-------------------|--|----|----|------|------|------|---|
| 3 | 活動指標 | 市民へのアンケートの実施回数 | | 目標 | 2 | 2 | 2 | 2 | 回 |
| | | 説明 | 市民アンケートの実施回数 | | 実績 | 2 | 2 | 2 | |
| 4 | 成果指標 | 研修達成度(研修参加者アンケート) | | 目標 | 90 | 90 | 90 | 90 | % |
| | | 説明 | アンケートに係る研修や「市長への手紙」制度研修参加者へのアンケートにおいて「意識が深まった」又は「スキルアップに役立った」と答えた職員の割合 | | 実績 | 96.6 | 98.6 | 94.9 | |

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化
(国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など)
ITなど意思伝達の手段が多様化するとともに、公職選挙法等の一部改正により、満18歳以上満20歳未満の者に選挙権が付与され若年層が社会の意思決定に加わることができるようになる中、より幅広い範囲に利便性の高い広聴を行う手法が求められています。

事業の見直し・改善内容

実施 (直近) R **6** 年度 未実施

具体的な見直し・改善内容
※過去に見直した履歴も記載
できる場合は記載

R6年度:「市長への手紙」の回答迅速化に向けて、市民意見反映システムの所管課の処理期限の自動入力設定機能の追加等の改修等を行い、回答率が大幅に上昇し、業務改善につながりました。また、「市長への手紙研修」では、新たに市民の声を施策等に活用した事例紹介を行い、更なる職員の意識改革を推進しました。
R5年度:「市長への手紙」のシステム改修等を行い、効率的に経過管理を行えるよう改善しました。また、アンケート調査に関する研修について、オンデマンド研修と対面(グループワーク)研修の2部構成とすることで、職員のスキル向上に資する研修となるよう内容を拡充して実施しました。
R4年度:「市民アンケート」について令和4年度の調査からローデータ(統計処理をする前のデータ)を公表することとし、調査結果の更なる有効活用を図りました。
R3年度:「市民アンケート」の概要版の内容を、分析後の情報を掲載するなど分かりやすいものに見直しました。
R1年度:アンケートに関する研修を、内容等を拡充して実施しました。
「市民アンケート」の概要版を、設問文と集計結果をセットで掲載するなど分かりやすいものに見直しました。
H30年度:「アンケートデータバンク」を庁内研修等で周知するとともに、内容の更新・充実を行いました。
H29年度:「市民アンケート」の契約方法や回収率の向上手法の見直しを行いました。
市民意見反映システムを庁内共通システム基盤に移行しました。
全庁的なアンケート情報の共有と活用に向け、庁内向け「アンケートデータバンク」の供用を開始しました。

評価項目

評価

| | | | |
|-------------|--|---|---|
| 必要性 | 【市民のニーズ】 事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか? | a. 薄れていない b. 薄れている | a |
| | 【市が実施する必要性】 他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか? | a. 事例はない b. 事例がある | a |
| 評価の理由 | 市民の声が行政にしっかりと伝わる身近な市政を進めていくことが求められており、市民の声を政策に反映する要請や重要性は増えています。 | | |
| 有効性 | 【成果】 活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか? | a. 上がっている b. 徐々に上がっている c. 上がっていない | a |
| | 評価の理由 | 専門的知見を活用し、市民の声を取組に活かす意識醸成や調査方法等の職員のスキルアップを図り、市民の声の効果的な聴取と市政への反映につながっています。 | |
| 効率性 | 【民間の活用】 委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか? | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | c |
| | 【事業手法等の見直し】 事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか? | a. 可能性はない b. 可能性はある | b |
| | 【質の向上】 事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか? | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | b |
| 評価の理由 | 市民意見の施策等への反映に向けて広聴の質を向上させるためには、市が直接市民の声を聴取していくことが必要です。そのためには、より一層の職員のスキルアップ等に向けた研修やサポート支援の実施が必要です。 | | |
| 施策への 貢献度 | 貢献度区分 | | 上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由 |
| | A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い | A | 市民意見を施策に反映・活用することは必要不可欠であり、広聴事業を継続していくことが求められています。広聴事業の重要性はさらに高まっており、「車座集會」、「市長への手紙」、「かわさき市民アンケート」等を実施することで、幅広い市民の声を聴取することができたので、施策への貢献はあったものと考えます。 |

改善 (Action)

| 方向性区分 | | 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 |
|-------------------------------------|--|--|
| 今後の事業の方向性 | I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了 | II ・市民意見を施策に反映・活用していくために、広聴の仕組みによって市民意見を収集し、分析を行うとともに、所管局に対して、必要な情報提供や施策等への反映に係る勧奨を行う取組を、引き続き実施します。 ・「市長への手紙」業務のさらなる効率化を図るため、市民意見反映システムの改善を実施していきます。 ・広聴に携わる職員のスキルアップや人材育成に向けて、引き続き研修等を通じた職員のサポート体制を整えていきます。 ・車座集会については、市民等と市長の直接対話を通して市民ニーズを効果的に把握するため、参加団体やテーマに応じて適切な開催時期や場所を選定しながら実施していきます。 |
| | 第3期実施計画に記載されている 次年度の取組内容 | |
| 今後の事業の方向性を 踏まえた次年度の取組内容 の変更箇所 | 変更箇所 (上記計画上の記載に対する変更箇所) | ①市長と市民等との直接対話を通して、その声を市政運営に反映するための「車座集会」の実施(月1回程度) ②市民から寄せられた声を貴重な情報として市政運営に反映させるための「市長への手紙」の適切な運用 ③市政に対する市民のさまざまな声を把握するための「かわさき市民アンケート」による幅広い市民意見の聴取 ④市民ニーズの的確な把握に向けた職員の意識や能力の向上のための職員研修の実施(研修達成度90%以上目標) |
| | 変更の理由 | |

令和6年度 事務事業評価シート

事業の概要

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|---|-----------------|---|-------------------|-----------|------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 事務事業 | 事務事業コード | 事務事業名 | | | | 政策体系別計画の記載 | | | | | | | |
| | 50102020 | コンタクトセンター運営事業 | | | | 有 | | | | | | | |
| 担当 | 組織コード | 所属名 | | | | | | | | | | | |
| | 170910 | 総務企画局都市政策部企画調整課 | | | | | | | | | | | |
| 実施期間 | 事業開始年度 | 事業終了年度 | 事務・サービス等の分類 | 分類1(市民サービス等) | 分類2(内部事務) | | | | | | | | |
| | 平成17 | — | | 公聴及び相談・苦情申し立ての聴取等 | — | | | | | | | | |
| 実施形態 | <input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他 | | | | | | | | | | | | |
| 実施根拠 | <input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度 (法令・要綱等) 川崎市コンタクトセンター設置運営要綱 | | | | | | | | | | | | |
| 総合計画と連携する計画等 | 国際施策推進プラン、デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進プラン、シティプロモーション戦略プラン | | | | | | | | | | | | |
| SDGsのゴール・ターゲットを意識した取組の方向性 | 16 | 16.7 | 市政に関する問合せ、意見等を一元的に受け付け、市民の市政情報に関する利便性及び満足度の向上を図ることで、市民の市政に対する理解を高め、参加・協働の意識を醸成し、市民自治の推進を図ります。 | | | | | | | | | | |
| 行財政改革第3期プログラムに関連する課題名 | 改革項目 | | | 課題名 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 予決算 (単位:千円) | 年度 | R4年度 | | R5年度 | | R6年度 | | R7年度 | | | | | |
| | | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額(見込) | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | |
| | 財源内訳 | 事業費 A | | 152,274 | 152,274 | 152,274 | 152,274 | 152,274 | 152,274 | 152,274 | 173,880 | | |
| | | 国庫支出金 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | |
| | | | 市債 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 |
| | | | その他特財 | 144 | - | 144 | 144 | - | 144 | 0 | - | 144 | 0 |
| | | | 一般財源 | 152,130 | - | 152,130 | 152,130 | - | 152,130 | 152,274 | - | 152,130 | 173,880 |
| | 人件費* B | | 9,266 | 9,266 | 8,099 | 8,099 | 8,099 | 8,594 | 8,594 | 8,594 | 0 | 0 | |
| | 総コスト(A+B) | | 161,540 | 161,540 | 160,373 | 160,373 | 160,373 | 160,868 | 160,868 | 160,868 | 152,274 | 173,880 | |
| | 人工(単位:人) | | 1.1 | | 0.95 | | 1 | | | | | | |

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

計画 (Plan)

| | | |
|---|---|---------------------------------|
| 政策体系 | 政策 | 参加と協働により市民自治を推進する |
| | 施策 | 迅速で的確な広報・広聴と市民に開かれた情報共有の推進 |
| | 直接目標 | 市民の意見を幅広く聴取するとともに、分かりやすい情報発信を行う |
| 事業の対象 (事業の対象となる人、物) | 市民 | |
| 事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか) | 市政に関する問合せ、意見等を一元的に受け付けることで、市民の市政情報に関する利便性及び満足度の向上を図ります。 | |
| 事業の内容 (どういった業務内容で、どのような手段で実施しているか) | 市政に関する問合せ、意見等を午前8時から午後9時まで年中無休で一元的に受け付けるサンキューコールかわさき及び開庁時間に合わせて本庁舎や各区役所等の代表電話交換業務等を運営します。 | |
| 第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容 | ①コンタクトセンターを適切に運用し、利用者の更なる利便性及び満足度の向上を図るための取組の推進 ・市政に関する問合せ、意見、相談等に 대응する「サンキューコールかわさき」の運用 ・本庁舎代表電話交換業務 ・各区役所・支所総合案内電話交換業務 | |
| 当初計画からの変更箇所 (第3期実施計画に記載されている取組内容から変更となる取組) | | |

実施結果 (Do)

| | | | | | | | | |
|---|--|--|--------------------------------------|------|------|------|-----|---|
| 上記「第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容」に対する達成度 | 3 | 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った | | | | | | |
| 取組内容の実績等 (上記に掲げた取組内容に対し、「数値等により具体的に実績を示すことができる取組」、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載) | 目標どおり達成できました。 ①・マイナンバー関連のお問合せを数多くいただきましたが、迅速かつ適切に対応し、高い応対満足度を確保できました。 ・本庁舎代表電話交換業務については、迅速かつ的確にお客様へ案内をすることができました。 ・各区役所・支所総合案内電話交換業務については、迅速かつ的確にお客様へ案内をすることができました。 (年間受付件数 サンキューコールかわさき 35,566件、本庁舎代表電話交換 47,804件、各区役所・支所総合案内電話交換 229,263件) | | | | | | | |
| 指標分類 | 数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 | |
| 1 | 成果指標 | コンタクトセンター内サンキューコールかわさきの応対満足度 | 目標 | 4.9 | 4.9 | 4.9 | 4.9 | 点 |
| | | 説明 | サンキューコールかわさき利用者の応対満足度(5点満点のアンケートを実施) | 実績 | 4.9 | 4.9 | 4.9 | |
| 2 | | | 目標 | | | | | |
| | | 説明 | | 実績 | | | | |

評価 (Check)

| | |
|---|--|
| 事業を取り巻く社会環境の変化 (国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など) | 市民の生活様式が多様化する中、市政に関する問合せ、意見等を閉庁時以外でも一元的に受け付ける体制は現在も求められています。 |
| 事業の見直し・改善内容 | <input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) R 3 年度 <input type="checkbox"/> 未実施 |
| 具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載 | R3年度: コールセンター縮退運用時のアナウンス及び電話のプッシュボタンによる自動応答機能追加を行いました。 R2年度: 運営時間外の音声ガイダンス、メールフォーム等の改善による事務の効率化及び市民サービスの向上を図りました。 H27年度: 川崎区役所、大師支所、田島支所代表電話の交換業務を統合しました。 H24年度: 中原区役所代表電話の交換業務を統合しました。 H22年度: 高津、宮前、多摩区役所代表電話の交換業務を統合しました。 H20年度: 幸、麻生区役所代表電話の交換業務を統合しました。 H18年度: サンキューコールかわさきの本格運用開始及び本庁舎代表電話の交換業務を統合しました。 |

| 評価項目 | | 評価 | |
|---------|--|---|--|
| 必要性 | 【市民のニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか? | a. 薄れていない b. 薄れている | a |
| | 【市が実施する必要性】 他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか? | a. 事例はない b. 事例がある | a |
| | 評価の理由 | 市政に関する問合せや意見等を閉庁時にも一元的に受け付ける利便性の高いサンキューコールかわさきの必要性は薄れておらず、多岐にわたる問合せに対応しています。また、電話交換業務については、お客様との会話を通じて担当課を特定し取次ぎをすることで、市民の利便性の向上に貢献しています。 | |
| 有効性 | 【成果】 活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか? | a. 上がっている b. 徐々に上がっている c. 上がっていない | C |
| | 評価の理由 | 成果指標については、非常に高い目標を達成し、高水準で推移しており、市民の利便性及び業務効率の向上に貢献しています。 | |
| 効率性 | 【民間の活用】 委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか? | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | C |
| | 【事業手法等の見直し】 事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか? | a. 可能性はない b. 可能性はある | b |
| | 【質の向上】 事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか? | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | b |
| | 評価の理由 | サンキューコールかわさきでは可能な限りオペレーターが回答することにより、職員の業務効率の向上を図っています。また、より迅速かつ適切な回答ができるよう、オペレーターの応対資料及び市ホームページFAQ等の充実を図っています。 | |
| 施策への貢献度 | 貢献度区分 | 上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由 | |
| | A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い | A | サンキューコールかわさきでは、一元的に受付可能な窓口を提供することに加え、閉庁時にも問合せ等を受け付ける事により、市民に対する高い利便性の向上に貢献しています。 |

改善 (Action)

| 今後の事業の方向性 | 方向性区分 | 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 |
|-----------------------------|--|--|
| | I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了 | II |
| 第3期実施計画に記載されている 次年度の取組内容 | | ①コンタクトセンターを適切に運用し、利用者の更なる利便性及び満足度の向上を図るための取組の推進 ・市政に関する問合せ、意見、相談等に対応する「サンキューコールかわさき」の運用 ・本庁舎代表電話交換業務 ・各区役所・支所総合案内電話交換業務 |
| 今後の事業の方向性を踏まえた次年度の取組内容の変更箇所 | 変更箇所 (上記計画上の記載に対する変更箇所) | |
| | 変更の理由 | |

令和6年度 事務事業評価シート

事業の概要

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|--|-----------------------|---|--------------------------------|-----------|------------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|
| 事務事業 | 事務事業コード | 事務事業名 | | | | 政策体系別計画の記載 | | | | | | |
| | 50102030 | 区相談事業 | | | | 有 | | | | | | |
| 担当 | 組織コード | 所属名 | | | | | | | | | | |
| | 254520 | 市民文化局コミュニティ推進部市民活動推進課 | | | | | | | | | | |
| 実施期間 | 事業開始年度 | 事業終了年度 | 事務・サービス等の分類 | 分類1(市民サービス等) | 分類2(内部事務) | | | | | | | |
| | — | — | | 公聴及び相談・苦情申し立ての聴取等 | — | | | | | | | |
| 実施形態 | <input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他 | | | | | | | | | | | |
| 実施根拠 | <input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度 (法令・要綱等) 市民相談事務処理要綱 | | | | | | | | | | | |
| 総合計画と連携する計画等 | 自殺対策総合推進計画, 人権施策推進基本計画 | | | | | | | | | | | |
| SDGsのゴール・ターゲットを意識した取組の方向性 | 16 | 16.6 | 弁護士や司法書士等による特別相談の実施及び、区民からの日常的な悩みごとに関する相談の実施により、説明責任及び透明性の高い仕組みの構築を目指します。 | | | | | | | | | |
| 行財政改革第3期プログラムに関連する課題名 | 改革項目 | | | 課題名 | | | | | | | | |
| | 取組1(2)市民サービスのデジタル化の推進 | | | 4・ICTを活用した各種相談業務の効率的・効果的な実施の検討 | | | | | | | | |
| 予決算 (単位: 千円) | 年度 | | R4年度 | | R5年度 | | R6年度 | | R7年度 | | | |
| | | | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | | |
| | 事業費 A | | 51,994 | 51,227 | 51,994 | 51,788 | 51,467 | 51,994 | 52,549 | 50,647 | 51,994 | 51,032 |
| | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | 市債 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | その他特財 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | 一般財源 | 51,994 | — | 51,994 | 51,788 | — | 51,994 | 52,549 | — | 51,994 | 51,032 |
| 人件費* B | | 47,680 | 47,680 | 51,406 | 51,406 | 51,406 | 51,392 | 51,392 | 51,392 | 0 | 0 | |
| 総コスト(A+B) | | 99,674 | 98,907 | 103,400 | 103,194 | 102,873 | 103,386 | 103,941 | 102,039 | 51,994 | 51,032 | |
| 人工(単位: 人) | | 5.66 | | 6.03 | | 5.98 | | | | | | |

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

計画 (Plan)

| | | |
|---|--|---------------------------------|
| 政策体系 | 政策 | 参加と協働により市民自治を推進する |
| | 施策 | 迅速で的確な広報・広聴と市民に開かれた情報共有の推進 |
| | 直接目標 | 市民の意見を幅広く聴取するとともに、分かりやすい情報発信を行う |
| 事業の対象 (事業の対象となる人、物) | 生活の中で生じる困りごとのある市民 | |
| 事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか) | 情報提供・助言・専門相談の紹介等を通じ、困りごとの解決の一助となり、市民生活が向上するようにします。 | |
| 事業の内容 (どういった業務内容で、どのような手段で実施しているか) | 一般的な市民相談及び専門家等による特別相談を実施します。 | |
| 第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容 | ①区民からの日常的な悩みごとに関する相談への助言、適切な窓口の紹介などの実施 ②弁護士や司法書士等による法律、土地・建物の登記などの相談の実施 ③相談予約コールセンターの運用及び今後の拡充に関する検討 | |
| 当初計画からの変更箇所 (第3期実施計画に記載されている取組内容から変更となる取組) | | |

実施結果 (Do)

| | | | | | | | |
|---|---|--|--------|--------|--------|------|----|
| 上記「第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容」に対する達成度 | 3 | 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った | | | | | |
| 取組内容の実績等 (上記に掲げた取組内容に対し、「数値等」でより具体的に実績を示すことができ「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載) | 目標どおり達成できました。 ①市民生活・市政相談: 12,818件を実施しました。 ②弁護士相談: 3,219件、認定司法書士相談: 455件、司法書士相談: 438件、行政書士の相続・遺言・成年後見相談: 146件、宅地建物相談: 99件、まちづくり相談: 75件、交通事故相談(交通事故相談員): 128件、交通事故相談(弁護士): 25件、労働相談: 153件、税務相談(税理士): 442件、税務相談(税務相談員): 1,023件、ろうあ者相談・難聴者相談: 286件、人権相談: 1件、行政相談: 10件、住宅相談: 129件の合計6,629件を実施しました。 ③令和6年4月から相談予約コールセンター運用体制の見直しによる経費削減、その他状況に応じ、適宜、運用改善を行いました。 ④弁護士相談、行政書士の相続・遺言・成年後見相談、宅地建物相談で実施しているオンライン相談について、使用アプリをWebex MeetingsからZoomへ変更する等、適宜、運用改善を行いました。 | | | | | | |
| 指標分類 | 数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| 1 成果指標 | 相談件数 | 目標 | — | — | — | — | 件 |
| | 説明 | 実績 | 16,547 | 18,337 | 19,447 | | |

| 評価 (Check) | | | |
|---|--|--|---|
| 事業を取り巻く社会環境の変化 (国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など) | | インターネットによる情報の普及等により、市民が自力で問題を解決できる機会が増加していますが、高齢化の進展に伴い、相談・遺言・成年後見、空家等住まいの相談が増加傾向にあります。 | |
| 事業の見直し・改善内容 | | <input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) R 6 年度 <input type="checkbox"/> 未実施 | |
| 具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載 | | R6年度:4月より相談予約コールセンターの運用体制を見直しました。1月よりオンライン相談のアプリをWebexからZoomへ変更しました。 R5年度:4月より宅地建物相談、10月より行政書士相談についてオンライン相談を導入しました。 R4年度:4月より司法書士相談、認定司法書士相談、行政書士相談、宅地建物相談について相談予約コールセンターによる予約受付を開始しました。11月よりオンライン相談による弁護士相談の本格実施を開始しました。コロナ禍のためR2年度から取りやめていた対面相談について12月より再開しました。 R3年度:予約制への切り替えに伴う相談予約件数増加に対応するため、6月より弁護士相談予約コールセンターを立ち上げました。また、3月よりオンライン相談による弁護士相談の試行実施を開始しました。 | |
| 評価項目 | | 評価 | |
| 必要性 | 【市民のニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか? | a. 薄れていない b. 薄れている | a |
| | 【市が実施する必要性】 他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか? | a. 事例はない b. 事例がある | b |
| | 評価の理由 | 市民のあらゆる相談に対応するためには、職員による市民生活・市政相談に加えて、弁護士、司法書士等の専門家による特別相談が必要です。民間等の相談では金銭的負担が大きく、相談をためらっている市民にとっては、工業に個人で依頼する前に無料の市民相談を利用することで経済的負担なく、安心してアドバイスを受けることができるというメリットがあり、早期の問題解決に資することから、市民生活の質の向上に不可欠なサービスであり、市が実施する必要があります。 | |
| 有効性 | 【成果】 活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか? | a. 上がっている b. 徐々に上がっている c. 上がっていない | b |
| | 評価の理由 | 相談件数が激減又は激増した場合は、相談サービスの質及び有効性の低下が懸念されますが、市民生活・市政相談及び特別相談について困りごと等の相談件数全体が一定の件数を維持しており、市民生活の向上に有効性があつたと判断します。なお、R6年度の特別相談の相談件数は6,629件とR5年度より347件増加しております。 | |
| 効率性 | 【民間の活用】 委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか? | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | b |
| | 【事業手法等の見直し】 事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか? | a. 可能性はない b. 可能性はある | b |
| | 【質の向上】 事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか? | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | b |
| | 評価の理由 | 今後も各士業団体への委託による特別相談を継続し、市民の利用実績を考慮しながら必要な相談枠や相談員の確保を図り、経費削減の観点も踏まえ柔軟な運用を進めていく必要があります。職員が従事する市民生活・市政相談については、委託等による実施の余地はありますが、市政に対する高度な知識が必要であり、相談サービスの質の維持・向上という観点から慎重に判断する必要があります。 | |
| 施策への貢献度 | 貢献度区分 | | 上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由 |
| | A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い | A | 区役所においては日々市民からの様々な相談が寄せられており、その問い合わせに的確に対応し、また相談窓口を適切に案内することで、市民の困りごとの解決の一助となり、市民生活の向上が図られたことから、施策への貢献がありました。 |

| 改善 (Action) | | | |
|-----------------------------|--|--|--|
| 今後の事業の方向性 | 方向性区分 | | 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 |
| | I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了 | II | 市民から寄せられる様々な相談に無料の相談窓口を設け、対応することは市民サービスとして引き続き必要なことから、区民相談窓口での丁寧な対応や特別相談の実施、相談窓口一覧の取りまとめと相談情報の的確な周知を継続して行います。併せて、社会状況の変化に応じて、相談の実施手法を改善しながら取組を進めていきます。 |
| 第3期実施計画に記載されている次年度の取組内容 | | ①区民からの日常的な悩みごとに関する相談への助言、適切な窓口の紹介などの実施 ②弁護士や司法書士等による法律、土地・建物の登記などの相談の実施 ③相談予約コールセンターの運用及び今後の拡充に関する検討 | |
| 今後の事業の方向性を踏まえた次年度の取組内容の変更箇所 | 変更箇所 (上記計画上の記載に対する変更箇所) | | |
| | 変更の理由 | | |

令和6年度 事務事業評価シート

事業の概要

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|--|--------------------|---|--------------|------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 事務事業 | 事務事業コード | 事務事業名 | | | 政策体系別計画の記載 | | | | | | | |
| | 50102040 | 広報事業 | | | 有 | | | | | | | |
| 担当 | 組織コード | 所属名 | | | | | | | | | | |
| | 170700 | 総務企画局シティプロモーション推進室 | | | | | | | | | | |
| 実施期間 | 事業開始年度 | 事業終了年度 | 事務・サービスの分類 | 分類1(市民サービス等) | 分類2(内部事務) | | | | | | | |
| | 昭和24年 | — | 出版物等 | — | — | | | | | | | |
| 実施形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他 | | | | | | | | | | | |
| 実施根拠 | <input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度 (法令・要綱等) 川崎市かわさき市政だより発行規則、川崎市インターネットホームページ運営要綱、かわさき情報プラザ管理運営要綱など | | | | | | | | | | | |
| 総合計画と連携する計画等 | 文化芸術振興計画、シティプロモーション戦略プラン、人権施策推進基本計画 | | | | | | | | | | | |
| SDGsのゴール・ターゲットを意識した取組の方向性 | 16 | 16.6 | 情報を、バランスよく、幅広く掲載し、さまざまな手法で入手できるようにする。また、市ホームページについては、必要な情報にスムーズにアクセスできるようにする。 | | | | | | | | | |
| 行財政改革第3期プログラムに関連する課題名 | 改革項目 | | 課題名 | | | | | | | | | |
| | 取組3(4)積極的な情報共有の推進 | | 1・効率的・効果的なシティプロモーション | | | | | | | | | |
| 予決算 (単位:千円) | 年度 | R4年度 | | R5年度 | | R6年度 | | R7年度 | | | | |
| | | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額(見込) | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 |
| | 財源内訳 | 事業費 A | 302,592 | 258,725 | 386,478 | 380,454 | 358,671 | 255,562 | 276,592 | 268,578 | 255,562 | 269,048 |
| | | 国庫支出金 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | 市債 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | その他特財 | 1,921 | — | 1,921 | 1,241 | — | 6,301 | 1,024 | — | 6,301 | 1,016 |
| | | 一般財源 | 300,671 | — | 384,557 | 379,213 | — | 249,261 | 275,568 | — | 249,261 | 268,032 |
| | 人件費* B | 146,662 | 146,662 | 137,594 | 137,594 | 137,594 | 114,386 | 114,386 | 114,386 | 0 | 0 | |
| | 総コスト(A+B) | 449,254 | 405,387 | 524,072 | 518,048 | 496,265 | 369,948 | 390,978 | 382,964 | 255,562 | 269,048 | |
| | 人工(単位:人) | 17.41 | | 16.14 | | 13.31 | | | | | | |

* 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

計画 (Plan)

| | | |
|---|--|---------------------------------|
| 政策体系 | 政策 | 参加と協働により市民自治を推進する |
| | 施策 | 迅速で的確な広報・広聴と市民に開かれた情報共有の推進 |
| | 直接目標 | 市民の意見を幅広く聴取するとともに、分かりやすい情報発信を行う |
| 事業の対象 (事業の対象となる人、物) | 市民、市内事業者 | |
| 事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか) | 市政情報等をわかりやすく、効果的に伝えることで、必要な市政情報を得ることができていると思う人が増えるようにします。 | |
| 事業の内容 (どのような業務内容、どのような手段で実施しているか) | 市の制度や施策、イベントや本市の魅力情報等をあらゆる広報媒体を活用・連携し、効果的な情報発信を行っています。 | |
| 第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容 | ①「市政だより」による効率的・効果的な情報発信 ②市民にとって必要な市政情報や本市の魅力をわかりやすく効果的に情報発信するための取組の推進(ホームページ月平均閲覧回数:6,247千回) ③リニューアル後の市ホームページ及び管理システムの適切な運用 ④情報プラザの運営や広報コーナーの活用による市の制度・施策の積極的な広報活動の推進 ⑤広報出版物等の発行による市政情報の発信 | |
| 当初計画からの変更箇所 (第3期実施計画に記載されている取組内容から変更となる取組) | | |

実施結果 (Do)

| | | |
|---|---|--|
| 上記「第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容」に対する達成度 | 4 | 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った |
| 取組内容の実績等 (上記に掲げた取組内容に対し、「数値等でより具体的に実績を示すことができる取組」、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載) | 目標を下回りました。 ①市政だよりの配布は、町内会等による配布、業者によるポスティングの他に、公共施設、駅、コンビニ等での配架、LINE登録等によるホームページ閲覧等の電子媒体の利用、希望する方への個別配布を継続して行い、様々な手法により情報を発信しました。 ②令和6年3月のリニューアルで実施したトップページへの市の魅力・イベントコーナーの設置やイベントアプリとの情報連携により、効果的な情報発信を行いました。また、モバイルファーストの考え方に基づいたページ全体のスマートフォンでの表示に適したデザインへの一新や、政令市初となる「やさしい日本語」機械翻訳の新機能を導入するなど、様々な方にとっての分かりやすさを追求したことにより、利用者アンケートでも高評価が得られました。災害時には緊急情報を全ページの上部に即時表示するなど、市民にとって必要な情報を適切に発信しました。なお、令和6年度の市ホームページの月平均ページ閲覧回数の目標6,247千回以上に対し、実績が5,240千回と下回ったことについて、コロナ感染症の影響でワクチン接種情報や感染状況などに市民の関心が高まっている中で目標を設定したため、令和5年5月にコロナ感染症が5類となり、関連ページの閲覧が減少したことが主な要因となっています。また、リニューアルでのページ分類の見直しや検索機能の改善により目的のページへ直接アクセスしやすくなったことも影響していると考えられます。 ③大規模災害や急激なアクセス増の影響を受けないよう、リニューアルで実施したクラウドサービスの2拠点化やサーバ性能強化の対策等により、安定的な運用を行うことができました。特に台風接近による対応や南海トラフ地震臨時情報発信時には関係部署、運用保守事業者と密接に連携し、適切に緊急情報を発信するなど、年間を通じて一層安定的な運用を達成しました。また、新システムへの対応として、操作研修では初級編に加え、新たに付与された機能を活用するための中級編を開催しました。 ④情報プラザについては市の刊行物の閲覧・貸出・複写サービス及び有償刊行物の販売等を通じて、市民に市政を理解してもらうための取組を行いました。広報コーナーについては、各局に調査の上、調整を行い、年間を通じて時宜に合ったテーマ等の展示により、効果的な広報につなげました。 ⑤市制100周年記念誌を4月に90,000部発行し、区役所等での配布のほか、多くの市民に読んでもらえるよう、市制100周年関連を含めた各種イベント等でも配布し、効果的に市政情報を発信しました。また、転入者・高齢者等を主な対象とし、必要な情報をコンパクトにまとめた「生活ガイド」を発行し、転入窓口で配布するとともに、市ホームページに掲載し広く発信しました。今後も、引き続きホームページを用いた効果的な情報発信とともに、SNSとの連携等による一層の周知を図ってまいります。 | |

| 指標分類 | 数値で事業の実績・効果等を把握できる指標（指標の説明） | | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
|------|-----------------------------|---------------------------|-------|--------|--------|--------|--------|----|
| 1 | 成果指標 | 市ホームページの月平均ページ閲覧回数 | 目標 | 6,247千 | 6,247千 | 6,247千 | 6,247千 | 回 |
| | | 説明 | 実績 | 7,634千 | 5,835千 | 5,240千 | | |
| 2 | 成果指標 | 必要な市政情報を得ることができていると思う人の割合 | 目標 | — | 43.5 | — | 45 | % |
| | | 説明 | 実績 | | 44.2 | — | | |

評価（Check）

事業を取り巻く社会環境の変化（国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など） 情報媒体が多様化し、市民の情報ニーズが高まる中で、市の取組を市民に知っていただくためには、市政だよりや市ホームページ等のさまざまなメディアの特性を活かし、市民にとって必要な市政情報をわかりやすくタイムリーに発信することが求められています。

事業の見直し・改善内容

実施（直近） R **6** 年度 未実施

具体的な見直し・改善内容
※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載

R6年度：市制100周年記念誌を発行しました。今回は特に5年から10年後に地域の担い手となる若年層の川崎への愛着や誇りを一層醸成するために、市内中学・高校の生徒に対して配布を行いました。
R5年度：令和6年4月発行に向け、市制100周年記念誌を制作しました。
R5年度：令和6年3月に市ホームページリニューアルを実施しました。
R5年度：令和5年度末の市ホームページリニューアル実施に向け、CMS仕様や情報分類の見直し等の検討を実施しました。
R4年度：市政だよりの配布を9月から町内会配布と業者ポスティングの併用としました。
R3年度：「市政だより」の発行回数・ページ数の見直し（月1回、12ページに変更）及び一部リニューアル（アイコンの変更、市外局番の掲載等）を実施しました。
R2年度：情報セキュリティの向上に向けて、市ホームページの常時SSL化を実施しました。
R2年度：令和3年度から月1回12ページでの発行とするため、「川崎市かわさき市政だより発行規則」の一部改正を行いました。
R2年度：自治体広報アプリ「マチイロ」から市政だよりの情報の提供を開始しました。
R1年度：かわさき市民アンケートで「かわさき市政だより」についてアンケートを実施しました。
R1年度：ふるさと納税返礼品の拡充に伴い、関係する市ホームページのデザインをリニューアルしました。
R1年度：ご近所SNS「マチマチ」や市LINE公式アカウントから市政だよりの情報の提供を開始しました。
H30年度：市ホームページのマルチデバイス対応手法として、レスポンスウェブデザインを導入しました。
H29年度：市ホームページのオープンデータ一覧について、所管課の設定が自動反映されるように改善しました。
H28年度：「市政だより」の効果測定（読者アンケート）を実施しました。
H28年度：市ホームページの管理システムに「かわさきイベントアプリ」との連携機能を実装しました。
H27年度：「市政だより」の全面リニューアル（全頁カラー化、公募型プロポーザルによる紙面の刷新）を実施しました。
H26年度：「市政だより」の一部リニューアル（横書き・タイトルロゴの変更）を実施しました。

評価項目

評価

| | | | |
|-----|--|---|---|
| 必要性 | 【市民のニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか？ | a. 薄れていない b. 薄れている | a |
| | 【市が実施する必要性】 他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか？ | a. 事例はない b. 事例がある | a |
| | 評価の理由 | 市の取組をしっかりと知っていただくとともに、市民にとって必要な市政情報等をわかりやすく、効果的に伝えるためには、市政だより、市ホームページ等のさまざまな広報媒体を活用していく必要があります。 | |
| 有効性 | 【成果】 活動結果（活動指標等）に対し事業の成果（成果指標等）は順調に上がっているか？ | a. 上がっている b. 徐々に上がっている c. 上がっていない | b |
| | 評価の理由 | 市ホームページや市政だよりなどでの適切な情報の発信を進めてきたことで「必要な市政情報を得ることができていると思う人の割合」が、徐々に増加し、令和5年度には目標を達成し、継続して取り組んでいます。 | |
| 効率性 | 【民間の活用】 委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか？ | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | c |
| | 【事業手法等の見直し】 事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか？ | a. 可能性はない b. 可能性はある | b |
| | 【質の向上】 事業を適正な（過小でも、過大でもない）規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部（職員・組織）の質の向上を図ることができる余地があるか？ | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | b |
| | 評価の理由 | 市政だよりや広報出版物、市民便利帳は委託を行うなど、効率的に事業を実施しています。市政だよりについては、適切かつ効果的に情報を伝えるために、新任職員向け研修や写真の撮り方の研修などを実施するほか、先輩職員からの指導、助言などのOJTを継続することで職員のスキル向上を図り、より伝わる広報としていくことができると考えられます。市ホームページについては、個別の情報を各事業所管課が作成しているため、例年実施している研修を継続的に行うことによって、伝わる、分かりやすい個別ページを作成し、市民サービスを向上させることができると考えられます。 | |

貢献度区分

上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由

| | | | |
|-------------|--|---|--|
| 施策への 貢献度 | A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い | B | 市ホームページは、令和6年3月のリニューアルにより、クラウドサーバ2拠点化を採用して大規模災害時の安定稼働を担保した上で、デザインを一新し、「やさしい日本語」機械翻訳など新機能を備えるなど、市民にとってより見やすく、分かりやすいものとなり、利用者アンケートでも高評価が得られています。また、市政だよりは、わかりやすく重点を置き、幅広い分野を取り扱うとともに、分野の近い記事を囲み記事とするほか、特集記事では重要な施策を表紙を含め3ページにわたり掲載しています。そのため、一定程度施策に貢献していると考えます。 |
| | | | |



| 改善 (Action) | | |
|-------------------------------------|--|---|
| | 方向性区分 | 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 |
| 今後の事業の方向性 | I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了 II | 市ホームページの月平均ページ閲覧回数については、コロナ感染症の影響でワクチン接種情報や感染状況などに市民の関心が高まっている中で目標を設定したため、令和5年5月にコロナ感染症が5類となり、それらの閲覧が減少したことで目標の回数には至りませんでした。また、リニューアルでのページ分類の見直しや検索機能の改善により目的のページへ直接アクセスしやすくなったことも影響していると考えられます。市民が用いる情報媒体が多様化するなど社会環境も変化していることから、市民が必要とする市政情報を発信する際に、メディアミックスによる効果的な情報発信やSNSの活用など、一層の改善を図りながら積極的に事業を実施します。 |
| 第3期実施計画に記載されている 次年度の取組内容 | | ①「市政だより」による効率的・効果的な情報発信 ②市民にとって必要な市政情報や本市の魅力をわかりやすく効果的に情報発信するための取組の推進 (ホームページ月平均閲覧回数:6,247千回) ③リニューアル後の市ホームページ及び管理システムの適切な運用 ④情報プラザの運営や広報コーナーの活用による市の制度・施策の積極的な広報活動の推進 ⑤広報出版物等の発行による市政情報の発信 |
| 今後の事業の方向性を 踏まえた次年度の取組内容 の変更箇所 | 変更箇所 (上記計画上の記載に 対する変更箇所) | |
| | 変更の理由 | |

令和6年度 事務事業評価シート

事業の概要

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|---|--------------------|---|----------------------|-----------|------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 事務事業 | 事務事業コード | 事務事業名 | | | | 政策体系別計画の記載 | | | | | | |
| | 50102050 | 放送事業 | | | | 有 | | | | | | |
| 担当 | 組織コード | 所属名 | | | | | | | | | | |
| | 170700 | 総務企画局シティプロモーション推進室 | | | | | | | | | | |
| 実施期間 | 事業開始年度 | 事業終了年度 | 事務・サービスの分類 | 分類1(市民サービス等) | 分類2(内部事務) | | | | | | | |
| | — | — | | その他 | — | | | | | | | |
| 実施形態 | <input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他 | | | | | | | | | | | |
| 実施根拠 | <input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度 (法令・要綱等) | | | | | | | | | | | |
| 総合計画と連携する計画等 | デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進プラン,文化芸術振興計画,シティプロモーション戦略プラン,新・かわさき観光振興プラン | | | | | | | | | | | |
| SDGsのゴール・ターゲットを意識した取組の方向性 | 16 | 16.6 | 本市の魅力情報や地域情報、行政情報等を迅速で的確に市内外へ発信することで、市民に開かれた情報共有の推進を図ります。 | | | | | | | | | |
| 行財政改革第3期プログラムに関連する課題名 | 改革項目 | | | 課題名 | | | | | | | | |
| | 取組3(4)積極的な情報共有の推進 | | | 1・効率的・効果的なシティプロモーション | | | | | | | | |
| 予決算 (単位:千円) | 年度 | R4年度 | | R5年度 | | R6年度 | | R7年度 | | | | |
| | | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額(見込) | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 |
| | 事業費 A | 103,897 | 103,880 | 103,897 | 102,883 | 102,877 | 103,897 | 103,350 | 103,356 | 102,577 | 103,882 | |
| | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | 市債 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | その他特財 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | 一般財源 | 103,897 | — | 103,897 | 102,883 | — | 103,897 | 103,350 | — | 102,577 | 103,882 |
| 人件費* B | 17,269 | 17,269 | 14,322 | 14,322 | 14,322 | 14,524 | 14,524 | 14,524 | 0 | 0 | | |
| 総コスト(A+B) | 121,166 | 121,149 | 118,219 | 117,205 | 117,199 | 118,421 | 117,874 | 117,880 | 102,577 | 103,882 | | |
| 人工(単位:人) | 2.05 | | 1.68 | | 1.69 | | | | | | | |

* 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

計画 (Plan)

| | | |
|---|---|---------------------------------|
| 政策体系 | 政策 | 参加と協働により市民自治を推進する |
| | 施策 | 迅速で的確な広報・広聴と市民に開かれた情報共有の推進 |
| | 直接目標 | 市民の意見を幅広く聴取するとともに、分かりやすい情報発信を行う |
| 事業の対象 (事業の対象となる人、物) | 広く市民及び市外の方全般を対象にしています。 | |
| 事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか) | 市内外へ本市の魅力情報や地域情報、行政情報等を発信することで、市への愛着やイメージアップを図ります。 | |
| 事業の内容 (どういった業務内容で、どのような手段で実施しているか) | ①テレビ、ラジオを活用した本市広報番組の制作・放送を行います。 ②大型サイネージ、YouTube(You Tube)といった媒体を活用して、本市行政情報等のタイムリーな発信を行います。 | |
| 第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容 | ①テレビ・ラジオによる広報番組の放送等を活用した、分かりやすく、親しみやすい情報のタイムリーな発信 ②市内のコミュニティ放送局である「かわさきエフエム」の認知度向上及び経営改善支援 ③JR川崎駅の大規模映像装置(大型サイネージ)による市政情報等の放映 | |
| 当初計画からの変更箇所 (第3期実施計画に記載されている取組内容から変更となる取組) | | |

実施結果 (Do)

| | | | | | | | |
|---|--|--|------|------|------|------|----|
| 上記「第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容」に対する達成度 | 3 | 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った | | | | | |
| 取組内容の実績等 (上記に掲げた取組内容に対し、「数値等」でより具体的に実績を示すことができる取組、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載) | 目標どおり達成できました。 ①tvk「LOVEかわさき」放送(年間48回)、tvk「猫のひたいほどワイド」内情報コーナー放送(年間24回)、FMヨコハマ「COLORFUL KAWASAKI」放送(年間52回)、かわさきFM「かわさきホット☆スタジオ」及び「かわさき7カ国語情報」放送(各年間231日×2回(本放送+再放送))の制作・放送のほか、かわさきFMの株主優待制度を活用したCM放送を通じて、時機を捉えた市政情報の発信を行いました。また、Yahoo! ニュースと連携した「LOVEかわさき特番」の放送や、市政だよりと連携した「COLORFUL KAWASAKI」の放送など、メディアミックスを活用した効果的な情報発信を行いました。 ②市ホームページやX(旧twitter)、市政だより、アゼリアビジョンでの番組紹介により認知度の向上を図りました。 ③JR川崎駅「アゼリアビジョン」での放映(延べ16,653回(R6年度))により、市政情報を適時適切に提供しました。 | | | | | | |
| 指標分類 | 数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| 1 成果指標 | 必要な市政情報を得ることができていると思う人の割合 | 目標 | — | 43.5 | — | 45 | % |
| | 説明 市政情報を迅速かつわかりやすく発信し、必要な情報を得ることができているという満足度 ※アンケートは隔年で実施 | 実績 | — | 44.2 | — | | |

評価 (Check)

| | |
|--|--|
| 事業を取り巻く社会環境の変化 (国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など) | 情報媒体が多様化し、台風や地震等の災害に関する地域のきめ細やかな情報のニーズが高まる中で、市の取組を市民に知っていたためには、テレビ、ラジオ、大型サイネージといった媒体を活用して、限られた予算の範囲内で効果的な行政情報を届けるとともに、川崎市のイメージアップに資する情報を広く発信することが求められています。 |
| 事業の見直し・改善内容 | <input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) R 6 年度 <input type="checkbox"/> 未実施 |
| 具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載 | R6年度: テレビ・ラジオ、大型サイネージともに市制100周年記念事業に関する広報に積極的に取り組み、効果的な情報発信につなげました。 R5年度: かわさきFMの年間放送回数について、サービスの質を確保しながらも見直しによる経費削減を図りました。 R4年度: 広報テレビ番組(LOVEかわさき)について、市の重点施策等を効果的に発信できるよう、放送回数の見直しを行いました(特番1増、通常回2減)。 R3年度: かわさきFMで放送する番組(かわさき7カ国語情報)について、アーカイブ化を開始しました。また、かわさき市民放送の資本金の適正化を図るため、減資を行いました。 R2年度: 若年層に向けた広報強化のため、若年女性層に人気のtvk「猫のひたいほどワイド」内で情報コーナーの放送を開始しました。 R1年度: 広報テレビ番組の新春特番について、番組初となるオールロケを行い、殿町地区の最先端の研究施設を、市長が噛み砕いた表現でトップセールスしました。 H30年度: 年間放送回数について、サービスの質を確保しながらも見直しによる経費削減を図りました。 H29年度: リスナーターゲットに合わせてラジオ広報番組の内容や放送時間等について、大幅な刷新を行いました。 H28年度: かわさきFM(かわさき市民放送)の番組編成の見直しと、ヨコハマFM広報ラジオ番組をコーナー番組として、ラジオ日本広報ラジオ番組を15分番組として、それぞれ経費削減と番組リニューアルを行いました。 |

| 評価項目 | | 評価 | |
|---------|---|--|---|
| 必要性 | 【市民のニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか? | a. 薄れていない b. 薄れている | a |
| | 【市が実施する必要性】 他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか? | a. 事例はない b. 事例がある | a |
| | 評価の理由 | テレビ・ラジオは市外にも情報を届けられる広域のメディアであり、川崎市に特化した情報発信について、サービスの質や量等を確保しながら情報発信するためには、行政が事業を行う必要があります。また、台風や地震等の災害に関する地域のきめ細やかな情報のニーズが高まる中で、インターネットの活用が不得手な層にも情報を届けるため、テレビ・ラジオを含む多様な広報媒体を活用する重要性が増しています。 | |
| 有効性 | 【成果】 活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか? | a. 上がっている b. 徐々に上がっている c. 上がっていない | a |
| | 評価の理由 | 各広報題材をクロスメディアの手法も取り入れつつタイムリーに放送することによって、必要な市政情報を迅速かつわかりやすく発信できました。 | |
| 効率性 | 【民間の活用】 委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか? | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | c |
| | 【事業手法等の見直し】 事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか? | a. 可能性はない b. 可能性はある | b |
| | 【質の向上】 事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか? | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | b |
| | 評価の理由 | 従来から、放送事業者への番組制作委託による効率的・効果的な事務執行を行っています。平成30年度以降、サービスの質を確保しながら年間放送回数の見直しなどによる経費削減や、若年層に向けた広報強化のため、メインターゲット等を意識した、番組の編成の見直しを行ってきました。令和6年度は、前年度同額の予算状況の中、新たに市制100周年記念事業に関する広報に積極的に取り組み、多くの企業、団体の出演を得ながら効果的な広報につなげました。今後も、メディアミックスやターゲットの絞り込み等により、より効果的な広報に向けた質の向上を図ります。 | |
| 施策への貢献度 | 貢献度区分 | 上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由 | |
| | A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い | A | それぞれの広報媒体の特性を活かし、メディアミックスを活用することで、時機を捉えた市政情報の発信や効果的な情報発信を行うことができたことから、市政情報の周知と各施策の推進に貢献しています。 |

改善 (Action)

| 方向性区分 | | 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 | |
|-----------------------------|--|---|--|
| 今後の事業の方向性 | I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了 | II | 本事業は、市内外への情報の提供・発信という重要な役割を担っています。また、台風や地震等の災害に関する地域のきめ細やかな情報のニーズが高まる中で、市民等が用いる情報媒体が多様化するなど社会環境も変化していることから、メディアミックスによる効果的な情報発信やSNSの活用など、一層の改善を図りながら継続的に事業を実施します。 |
| 第3期実施計画に記載されている次年度の取組内容 | | ①テレビ・ラジオによる広報番組の放送等を活用した、分かりやすく、親しみやすい情報のタイムリーな発信 ②市内のコミュニティ放送局である「かわさきエフエム」の認知度向上及び経営改善支援 ③JR川崎駅の大規模映像装置(大型サイネージ)による市政情報等の放映 | |
| 今後の事業の方向性を踏まえた次年度の取組内容の変更箇所 | 変更箇所 (上記計画上の記載に対する変更箇所) | | |
| | 変更の理由 | | |

令和6年度 事務事業評価シート

事業の概要

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|---|--------------------|---|--------------|-----------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 事務事業 | 事務事業コード | 事務事業名 | | | | 政策体系別計画の記載 | | | | | | |
| | 50102060 | 報道事務 | | | | 無 | | | | | | |
| 担当 | 組織コード | 所属名 | | | | | | | | | | |
| | 170700 | 総務企画局シティプロモーション推進室 | | | | | | | | | | |
| 実施期間 | 事業開始年度 | 事業終了年度 | 事務・サービスの分類 | 分類1(市民サービス等) | 分類2(内部事務) | | | | | | | |
| | — | — | | その他 | 内部管理 | | | | | | | |
| 実施形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他 | | | | | | | | | | | |
| 実施根拠 | <input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度 | | | | | | | | | | | |
| 総合計画と連携する計画等 | デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進プラン、シティプロモーション戦略プラン | | | | | | | | | | | |
| SDGsのゴール・ターゲットを意識した取組の方向性 | 16 | 16.6 | 報道機関を通じて市民に対して説明責任を果たすとともに、行政の透明性を確保するため、記者会見等により市政情報を発信する。 | | | | | | | | | |
| 行財政改革第3期プログラムに関連する課題名 | 改革項目 | | 課題名 | | | | | | | | | |
| 予決算 (単位:千円) | 年度 | R4年度 | | R5年度 | | R6年度 | | R7年度 | | | | |
| | | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | | | |
| | 事業費 A | 11,686 | 10,342 | 11,686 | 12,247 | 11,071 | 11,686 | 12,193 | 11,268 | 11,686 | 8,183 | |
| | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | 市債 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | その他特財 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | 一般財源 | 11,686 | — | 11,686 | 12,247 | — | 11,686 | 12,193 | — | 11,686 | 8,183 |
| | 人件費* B | 23,166 | 23,166 | 23,444 | 23,444 | 23,444 | 23,634 | 23,634 | 23,634 | 0 | 0 | |
| | 総コスト(A+B) | 34,852 | 33,508 | 35,130 | 35,691 | 34,515 | 35,320 | 35,827 | 34,902 | 11,686 | 8,183 | |
| | 人工(単位:人) | 2.75 | | 2.75 | | 2.75 | | 2.75 | | | | |

* 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

計画 (Plan)

| | | |
|---|---|---------------------------------|
| 政策体系 | 政策 | 参加と協働により市民自治を推進する |
| | 施策 | 迅速で的確な広報・広聴と市民に開かれた情報共有の推進 |
| | 直接目標 | 市民の意見を幅広く聴取するとともに、分かりやすい情報発信を行う |
| 事業の対象 (事業の対象となる人、物) | 報道機関、市民 | |
| 事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか) | 市長記者会見や報道機関への情報提供、さらにはホームページなどを通じて、市民の方々に的確かつ迅速に情報を提供します。 | |
| 事業の内容 (どういった業務内容で、どのような手段で実施しているか) | 効果的な報道提供資料の作成や、記者会見での丁寧な説明、また報道機関への迅速かつきめ細かな対応を通じて、報道機関に対して分かりやすい情報提供を行います。 | |
| 第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容 | ①記者会見、報道機関への情報提供、ホームページなどによる、分かりやすく効果的な市政情報の発信 ②報道機関との円滑な連絡調整 | |
| 当初計画からの変更箇所 (第3期実施計画に記載されている取組内容から変更となる取組) | | |

実施結果 (Do)

| | | | | | | | | |
|---|---|--|------|------|------|------|----|---|
| 上記「第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容」に対する達成度 | 3 | 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った | | | | | | |
| 取組内容の実績等 (上記に掲げた取組内容に対し、「数値等により具体的に実績を示すことができる取組」、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載) | 目標どおり達成できました。 ①広報広聴主管会議で報道提供資料の作成に関する説明を行うとともに、所管部署が行う資料作成の支援を行い、分かりやすく効果的な市政情報の発信力の強化を図りました。また、市長記者会見を24回開催し、会見の様子を手話通訳付きのリアルタイム配信することで、障害のある人へも配慮しながら情報伝達の即時性の向上を図りました。 ②危機事象発生時や記者会見の対応等に関する研修を開催するとともに所管課に対して記者会見の前に報道機関への接遇や会見のポイントを説明するなどの調整を行いました。また、報道機関に対しても情報の提供時期や記者会見の開催要否などを適宜相談し、円滑な連絡調整を行いました。 | | | | | | | |
| 指標分類 | 数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 | |
| 1 | 成果指標 | 報道対応に関する研修のアンケート結果 | 目標 | 90 | 90 | 90 | 90 | % |
| | | 説明 | 実績 | 92 | 95 | 96 | | |
| 2 | | 説明 | 目標 | | | | | |
| | | 実績 | | | | | | |
| 3 | | 説明 | 目標 | | | | | |
| | | 実績 | | | | | | |

評価 (Check)

| | |
|---|---|
| 事業を取り巻く社会環境の変化 <small>(国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など)</small> | ソーシャルネットワークの普及等、市民の情報入手手段の多様化に伴い、市政情報の迅速かつ正確な提供が求められています。 |
| 事業の見直し・改善内容 | <input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) R 6 年度 <input type="checkbox"/> 未実施 |
| 具体的な見直し・改善内容 <small>※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載</small> | R6年度:報道提供資料の作り方に関するeラーニングを大幅に改訂し、各所管での資料作成を支援しました。 R5年度:報道発表資料の様式を局長会議用資料と統一し、各所管での事務の効率化を図りました。 R4年度:報道発表資料の市ホームページでの公開時期を、翌日13時から、発表と同時に速やかに公開するよう変更しました。 R3年度:新型コロナウイルス感染症の状況に合わせ、報道発表の内容やタイミングを柔軟に変更して対応しました。 R2年度:研修の開催に加え、報道提供資料のペーパーレス化を本格実施しました。市長記者会見に手話通訳を導入しました。 R1年度:職員向け報道提供資料の作成研修会を開催しました。記者参加による報道対応研修を開催しました。 H30年度:職員向け報道提供資料の作成研修会を開催しました。報道対応マニュアルを大幅に改定しました。 H29年度:職員向け報道提供資料の作成研修会を開催しました。市長記者会見での音声の聴こえ方について改善を図りました。 |

| 評価項目 | | 評価 | |
|------|---|---|----------|
| 必要性 | 【市民のニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか？ | a. 薄れていない b. 薄れている | a |
| | 【市が実施する必要性】 他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか？ | a. 事例はない b. 事例がある | a |
| | 評価の理由 | 市政情報を市民の方々に的確かつ迅速に提供するためには、報道機関を通じた情報提供は非常に重要です。 | |
| 有効性 | 【成果】 活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか？ | a. 上がっている b. 徐々に上がっている c. 上がっていない | b |
| | 評価の理由 | 報道提供資料に係る庁内周知や事前確認の実施、報道機関への対応研修を行うことで、分かりやすい情報提供や適切な報道対応につながっています。 | |
| 効率性 | 【民間の活用】 委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか？ | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | a |
| | 【事業手法等の見直し】 事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか？ | a. 可能性はない b. 可能性はある | b |
| | 【質の向上】 事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか？ | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | b |
| | 評価の理由 | 報道発表資料作成に関するポイントをまとめたeラーニングの実施など、事務の効率化を図っています。また、報道提供資料や報道機関への対応についての研修会を開催し、職員の能力向上に努めています。 | |

| | | |
|----------------|--|----------------------------------|
| 施策への貢献度 | 貢献度区分 | 上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由 |
| | A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い | B |

改善 (Action)

| | | |
|------------------------------------|--|--|
| 今後の事業の方向性 | 方向性区分 | 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 |
| | I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了 | II |
| 第3期実施計画に記載されている次年度の取組内容 | | ①記者会見、報道機関への情報提供、ホームページなどによる、分かりやすく効果的な市政情報の発信 ②報道機関との円滑な連絡調整 ③市政情報について、多くのメディア掲載や効果的なPRに向けて、記者クラブや他メディアへのアプローチやメディアツアーの実施 |
| 今後の事業の方向性を踏まえた次年度の取組内容の変更箇所 | 変更箇所 <small>(上記計画上の記載に対する変更箇所)</small> | |
| | 変更の理由 | |

令和6年度 事務事業評価シート

| 事業の概要 | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|---|--------|------------------------------|--------|--------|--------------|--------|-----------|------------|---------|--------|--------|-----|
| 事務事業 | 事務事業コード | | 事務事業名 | | | | | | 政策体系別計画の記載 | | | | |
| | 50102070 | | 情報公開推進事務 | | | | | | 有 | | | | |
| 担当 | 組織コード | | 所属名 | | | | | | | | | | |
| | 171710 | | 総務企画局コンプライアンス推進・行政情報管理部行政情報課 | | | | | | | | | | |
| 実施期間 | 事業開始年度 | 事業終了年度 | 事務・サービス等の分類 | | | 分類1(市民サービス等) | | 分類2(内部事務) | | | | | |
| | — | — | 参加・協働の場 | | | — | | — | | | | | |
| 実施形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他 | | | | | | | | | | | | |
| 実施根拠 | <input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度＋市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度 (法令・要綱等) 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律、川崎市情報公開条例、個人情報の保護に関する法律、川崎市個人情報の保護に関する法律施行条例等 | | | | | | | | | | | | |
| 総合計画と連携する計画等 | 障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画、デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進プラン | | | | | | | | | | | | |
| SDGsのゴール・ターゲットを意識した取組の方向性 | 16  16.6 有効で説明責任のある透明性の高い公共機関を発展させるために、統合的情報公開制度を的確に運用することで、個人のプライバシーを最大限保護しながら、市民の知る権利を保障していきます。 | | | | | | | | | | | | |
| 行財政改革第3期プログラムに関連する課題名 | 改革項目 | | | | | 課題名 | | | | | | | |
| 予決算 (単位:千円) | 年度 | | R4年度 | | R5年度 | | R6年度 | | R7年度 | | | | |
| | | | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額(見込) | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 |
| | 事業費 A | | 10,798 | 9,405 | 10,798 | 24,697 | 8,825 | 10,798 | 15,561 | 8,758 | 10,798 | 13,520 | |
| | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — |
| | | 市債 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — |
| | | その他特財 | 788 | — | 788 | 5,585 | — | 788 | 5,463 | — | 788 | 5,486 | — |
| | | 一般財源 | 10,010 | — | 10,010 | 19,112 | — | 10,010 | 10,098 | — | 10,010 | 8,034 | — |
| | 人件費* B | | 42,120 | 42,120 | 42,625 | 42,625 | 42,625 | 42,970 | 42,970 | 42,970 | 0 | 0 | 0 |
| | 総コスト(A+B) | | 52,918 | 51,525 | 53,423 | 67,322 | 51,450 | 53,768 | 58,531 | 51,728 | 10,798 | 13,520 | 0 |
| | 人工(単位:人) | | 5 | | 5 | | 5 | | | | | | |

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

| 計画 (Plan) | | |
|---|---|---------------------------------|
| 政策体系 | 政策 | 参加と協働により市民自治を推進する |
| | 施策 | 迅速で的確な広報・広聴と市民に開かれた情報共有の推進 |
| | 直接目標 | 市民の意見を幅広く聴取するとともに、分かりやすい情報発信を行う |
| 事業の対象 (事業の対象となる人、物) | 市民及び法人 | |
| 事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか) | 統合的情報公開制度を的確に運用することで、個人のプライバシーを最大限保護しながら、市民の知る権利を保障していきます。 | |
| 事業の内容 (どういった業務内容で、どのような手段で実施しているか) | 公文書公開制度、情報提供制度、個人情報保護制度、公人の資産公開制度及び会議公開制度の5つの制度からなる統合的情報公開制度を推進し、市民の知る権利を保障する取組を進めます。 | |
| 第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容 | ①法改正を踏まえた個人情報保護制度の検討及び対応 ②個人情報保護委員との連携による相談の実施 ③情報提供制度の推進 ④番号法の施行に伴う個人情報保護制度の適切な対応 | |
| 当初計画からの変更箇所 (第3期実施計画に記載されている取組内容から変更となる取組) | | |

| 実施結果 (Do) | | | | | | | | |
|---|---|----------------------------|-----------------|---------------|------|------|------|----|
| 上記「第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容」に対する達成度 | 3 | | 1. 目標を大きく上回って達成 | 4. 目標を下回った | | | | |
| | | | 2. 目標を上回って達成 | 5. 目標を大きく下回った | | | | |
| | | | 3. ほぼ目標どおり | | | | | |
| 取組内容の実績等 (上記に掲げた取組内容に対し、「数値等により具体的に実績を示すことができる取組」、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載) | 目標どおり達成できました。 ①個人情報保護制度への対応については、国の個人情報保護制度の見直しの動きを踏まえ、情報公開運営審議会への諮問や本市独自の考え方の検討を行い、条例等を整備しました。 ②個人情報保護委員と連携し、個人情報の取扱いに関する個人情報保護相談を実施しました。 ③情報提供による手続が可能なものについては、情報提供制度を活用するよう促しました。 ④特定個人情報保護評価の第三者点検を川崎市情報公開運営審議会に諮問して実施しました。 | | | | | | | |
| 指標分類 | 数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明) | | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| 1 活動指標 | 研修実施回数 | | 目標 | 5 | 5 | 5 | 5 | 回 |
| | 説明 | 定例の研修、各課からの依頼に基づく研修の合計実施回数 | 実績 | 10 | 10 | 12 | | |
| 2 | | | 目標 | | | | | |
| | 説明 | | 実績 | | | | | |

評価 (Check)

| | |
|---|---|
| 事業を取り巻く社会環境の変化 (国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など) | 住民自治の推進や業務のIT化、昨今のモバイル機器の普及など市民に身近なIT化の進展等、また、デジタル社会形成基本法、改正個人情報保護法の施行なども相まって、情報の公開・提供、個人情報の保護に対する市民の関心が高まっています。 |
| 事業の見直し・改善内容 | <input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) R 6 年度 <input type="checkbox"/> 未実施 |
| 具体的見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載 | R6年度:本市が保有する個人情報の適正な維持管理を確保するため、保有個人情報等の定期的な点検を開始しました。 R5年度:令和5年4月の改正個人情報保護法の施行後、本市が保有する個人情報の適正な維持管理を確保するため、個人情報ファイル簿、保有個人情報業務目録、保有個人情報取扱状況等記録簿等を整備し、保有個人情報等監査による確認を開始しました。 R5年度:デジタル原則に基づくアナログ規制の見直しのため、公開された会議の会議録の写しの閲覧方法について、従来の情報プラザ及び公文書館への紙媒体の配架に加え、市ホームページへ電子データも掲載するよう見直しを行いました。 |

| 評価項目 | | 評価 | |
|---------|--|--|--|
| 必要性 | 【市民のニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか? | a. 薄れていない b. 薄れている | a |
| | 【市が実施する必要性】 他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか? | a. 事例はない b. 事例がある | a |
| | 評価の理由 | 情報の公開・提供、個人情報の保護に対する市民の関心の高まりに対応するため、今後も継続的な事業運営が必要です。 | |
| 有効性 | 【成果】 活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか? | a. 上がっている b. 徐々に上がっている c. 上がっていない | b |
| | 評価の理由 | 活動指標の目標値を達成しており、実施機関における統合的情報公開制度の的確な運用に寄与しています。 | |
| 効率性 | 【民間の活用】 委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか? | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | a |
| | 【事業手法等の見直し】 事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか? | a. 可能性はない b. 可能性はある | b |
| | 【質の向上】 事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか? | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | b |
| | 評価の理由 | 今後も、実施機関への指導・助言や研修等を継続的に行うことにより、制度運用の質の向上に努めます。 | |
| 施策への貢献度 | 貢献度区分 | 上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由 | |
| | A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い | B | 市の実施する様々な施策の情報について、個人のプライバシーを最大限保護しながら、統合的情報公開制度の的確な運用を通じて市民の知る権利を保障することにより、一定程度の施策への貢献がありました。 |

改善 (Action)

| | | | |
|-----------------------------|--|---|---|
| 今後の事業の方向性 | 方向性区分 | II | 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 |
| | I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了 | | 社会環境の変化に伴う市民の情報公開・提供、個人情報保護への関心の高まりに対応するため、今後も個人のプライバシーを最大限保護しながら、統合的情報公開制度の的確な運用を通じて市民の知る権利を保障する取組を進めます。 |
| 第3期実施計画に記載されている次年度の取組内容 | | ①法改正を踏まえた個人情報保護制度の検討及び対応 ②個人情報保護委員との連携による相談の実施 ③情報提供制度の推進 ④番号法の施行に伴う個人情報保護制度の適切な対応 | |
| 今後の事業の方向性を踏まえた次年度の取組内容の変更箇所 | 変更箇所 (上記計画上の記載に対する変更箇所) | | |
| | 変更の理由 | | |

令和6年度 事務事業評価シート

事業の概要

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|--|-----------------------------|--|--------------|-----------|------------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|
| 事務事業 | 事務事業コード | 事務事業名 | | | | 政策体系別計画の記載 | | | | | | |
| | 50102080 | 公文書館運営事業 | | | | 無 | | | | | | |
| 担当 | 組織コード | 所属名 | | | | | | | | | | |
| | 171720 | 総務企画局コンプライアンス推進・行政情報管理部公文書館 | | | | | | | | | | |
| 実施期間 | 事業開始年度 | 事業終了年度 | 事務・サービス等の分類 | 分類1(市民サービス等) | 分類2(内部事務) | | | | | | | |
| | — | — | 施設の管理・運営 | — | — | | | | | | | |
| 実施形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他 | | | | | | | | | | | |
| 実施根拠 | <input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度＋市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度 (法令・要綱等) 公文書館法、公文書等の管理に関する法律、川崎市公文書館条例、川崎市公文書館条例施行規則、川崎市公文書管理規則 | | | | | | | | | | | |
| 総合計画と連携する計画等 | | | | | | | | | | | | |
| SDGsのゴール・ターゲットを意識した取組の方向性 | 16 | 16.6 | 現用文書のデジタル化及びペーパーレス化の進捗状況について、文書主管課等と情報共有して引継文書量を把握し、全市的な取組みに即した施設規模の検討を進めることで市民の財産である公文書を適正に管理します。 | | | | | | | | | |
| 行財政改革第3期プログラムに関連する課題名 | 改革項目 | | 課題名 | | | | | | | | | |
| | 取組2(2)市役所内部のデジタル化の推進 | | 3・デジタル化時代の変化を見据えた公文書館のあり方の検討 | | | | | | | | | |
| 予決算 (単位:千円) | 年度 | | R4年度 | | R5年度 | | R6年度 | | R7年度 | | | |
| | | | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | | |
| | 事業費 A | | 38,945 | 29,499 | 38,945 | 41,089 | 28,354 | 38,945 | 69,429 | 63,786 | 38,945 | 66,280 |
| | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | 市債 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | その他特財 | 3,629 | — | 3,629 | 3,458 | — | 3,629 | 3,446 | — | 3,629 | 3,544 |
| | | 一般財源 | 35,316 | — | 35,316 | 37,631 | — | 35,316 | 65,983 | — | 35,316 | 62,736 |
| | 人件費* B | | 25,272 | 25,272 | 25,575 | 25,575 | 25,575 | 32,657 | 32,657 | 32,657 | 0 | 0 |
| | 総コスト(A+B) | | 64,217 | 54,771 | 64,520 | 66,664 | 53,929 | 71,602 | 102,086 | 96,443 | 38,945 | 66,280 |
| | 人工(単位:人) | | 3 | | 3 | | 3.8 | | | | | |

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

計画 (Plan)

| | | |
|---|---|---------------------------------|
| 政策体系 | 政策 | 参加と協働により市民自治を推進する |
| | 施策 | 迅速で的確な広報・広聴と市民に開かれた情報共有の推進 |
| | 直接目標 | 市民の意見を幅広く聴取するとともに、分かりやすい情報発信を行う |
| 事業の対象 (事業の対象となる人、物) | 市民 | |
| 事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか) | 市民の生活の向上及び文化の発展に資するため、歴史的・文化的価値のある公文書等を適正に管理し、有効に活用するとともに、市民生活の場に関する情報を中心とした統合的な情報公開を推進します。 | |
| 事業の内容 (どういった業務内容で、どのような手段で実施しているか) | 公文書及び資料類を収集・整理及び保存し、公文書の開示及び情報の提供をします。歴史的公文書等の調査、研究を行い、古文書講座や歴史講演会等を開催し市民が川崎の歴史・文化への興味・愛着を深める契機とします。 | |
| 第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容 | ①公文書や歴史的公文書等の適正な管理と情報提供 ②古文書講座や歴史講座などの開催、ホームページによる広報と啓発 ③公文書館施設・設備の維持補修など適切な管理 ④川崎市史市制100周年記念版の制作に向けた検討・調整 | |
| 当初計画からの変更箇所 (第3期実施計画に記載されている取組内容から変更となる取組) | ④川崎市史市制100周年記念版の制作【新規(令和6年度)】 | |

実施結果 (Do)

| | | | | | | | | |
|---|--|--|------|--------|--------|--------|--------|---|
| 上記「第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容」に対する達成度 | 3 | 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った | | | | | | |
| 取組内容の実績等 (上記に掲げた取組内容に対し、「数値等」でより具体的に実績を示すことができる取組、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載) | 目標どおり達成できました。 ①歴史的公文書等は新たな選定等により402点を保管しました。また、公文書館で保管している歴史的公文書等のマイクロフィルムのデジタル化を進め、新たに915点を保管しました。 ②公文書館保管の古文書等を教材とした講座を14回、川崎をテーマにした歴史講演会を1回、市HP等による広報の上で開催し、目標を達成しました。 ③敷地内の各施設を適宜確認して必要な修繕を行い、適切に管理しました。 ④川崎市史市制100周年記念版の制作に当たり、様々な経験・知見を持つ市民等で構成される編集懇談会を計3回開催し、それ以外にアンケート、ワークショップ等を実施し、市民からの意見を取り入れながら、関係者等と協力・連携して適切な事業推進を図った上で、この本の構成案を取りまとめました。 | | | | | | | |
| 指標分類 | 数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 | |
| 1 | 活動指標 | 歴史的公文書等の保管件数 | 目標 | 26,000 | 26,200 | 26,400 | 26,800 | 点 |
| | | 説明 | 実績 | 26,148 | 26,844 | 27,246 | | |
| 2 | 活動指標 | 各種講座及び講演会の開催数 | 目標 | 14 | 15 | 15 | 15 | 回 |
| | | 説明 | 実績 | 7 | 16 | 15 | | |
| 3 | 活動指標 | 川崎市史及び歴史的公文書のデジタル化数 | 目標 | 6,500 | 6,500 | 6,500 | 6,500 | 点 |
| | | 説明 | 実績 | 8,609 | 8,856 | 9,771 | | |

| 評価 (Check) | | | |
|---|--|---|---|
| 事業を取り巻く社会環境の変化 (国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など) | | 中間書庫としての公文書館保存文書が年々増加し、平成23年の公文書管理法施行以降、公文書管理や歴史的公文書への関心が高まっています。 | |
| 事業の見直し・改善内容 | | <input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) R 6 年度 <input type="checkbox"/> 未実施 | |
| 具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載 | | R6年度: 今後の文書保存量の推計を算出し、公文書館のあり方(仮称)の今後の方向性について関係部署と協議しました。また、文書保存量増のため、他の市有施設の書庫としての一時利用、館内施設の書庫への転用、書棚等配置により保管場所を確保しました。 R5年度: 公文書館の現状と今後の文書保存量の増減見込みを見据え、関係部署と課題を共有の上、公共施設に係る状況変化を踏まえた公文書館のあり方(仮称)の今後の方向性について協議しました。また、市の他施設の書庫としての利活用を協議するとともに、文書保存量増への対応のため、館内倉庫・閲覧室等の転用、書棚等配置により保管場所を確保しました。 R4年度: R3年度における公文書館のあり方のとりまとめを踏まえ、今後検討される課題等について、企画調整課、公共施設総合調整室、行政情報課等の関係部署と協議を行いました。また、文書主管課とR5年度の文書の廃棄量と引継量の見込について協議し、館内の閲覧室を保管場所に転用することで保管スペースを確保しました。 R3年度: 関係部署と書庫狭小化解消と今後の方向性を協議し、公文書館のあり方をとりまとめました。 R2年度: 市有財産有効活用のため、敷地の一部を民間駐車場事業者に貸出し、5年間で1000万円超の新たな財源を確保しました。 R1年度: 全市的に行政監査で指摘のあった誘導ブロックの設置基準不適合箇所について適合するよう補修しました。 また、民間倉庫を活用し、書庫の狭小化改善を実施しました。 H30年度: 公文書館で保管している換地図や歴史的公文書等及び川崎市史のデジタル化を実施しました。 H27年度: 平成21年度から選別していた電子文書の歴史的公文書について整理を進め、平成27年度から目録を公開しました。 | |
| 評価項目 | | 評価 | |
| 必要性 | 【市民のニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか? | a. 薄れていない b. 薄れている | a |
| | 【市が実施する必要性】 他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか? | a. 事例はない b. 事例がある | a |
| 有効性 | 【成果】 活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか? | a. 上がっている b. 徐々に上がっている c. 上がっていない | b |
| | 評価の理由 | 公文書の適正な管理、歴史的公文書等の適正な保存、閲覧等への適正な対応など、適切な情報公開を推進しました。 | |
| 効率性 | 【民間の活用】 委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか? | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | b |
| | 【事業手法等の見直し】 事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか? | a. 可能性はない b. 可能性はある | b |
| | 【質の向上】 事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか? | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | b |
| 評価の理由 | 個人情報等を含む現用公文書等を取扱業務のため委託になじまず、会計年度任用職員の事務補助により事業を行っています。開館から40年が経過し、老朽化と慢性的な書庫スペース不足解消のため、関係部署と書庫狭小化解消と今後の方向性について協議し、公文書館のあり方の検討を進めました。 講座・講演会は、アンケートで把握した参加者のニーズを参考に満足度の高い講座内容となるよう検討していきます。 | | |
| 施策への貢献度 | 貢献度区分 | 上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由 | |
| | A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い | B | 川崎の歴史を後世に伝える必要な史料として、新たな歴史的公文書の選定や市民からの寄贈等による古文書等の受入れにより、新たに402点を保管しました。これらの史料を活用して館内の企画展示や各種講座を開催することは、市民に川崎の歴史に対する理解と関心を深めることとなります。また、公文書館で保管しているマイクロフィルム等の歴史的公文書についてデジタル化を実施し、総計9,771点を保管しました。川崎の歴史・文化に関する資料は適正に管理しており、一定程度の施策への貢献ができたと考えています。 |

| 改善 (Action) | | | |
|-----------------------------|--|---|---|
| 今後の事業の方向性 | 方向性区分 | 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 | |
| | I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了 | II | 公文書館は、歴史的文化的価値のある公文書や史料等を適正に保存・管理し、有効に活用するとともに、市民生活の場に関する情報を中心とした統合的な情報公開を推進する施設であり、その重要性は今後も変わらないことから、公文書の安全で正確な管理を行っています。 また、川崎の歴史について市民の理解を深めるため、保管している史料を活用した講座の開催や企画展示等を進めるとともに、歴史的公文書等のデジタル化を進め、利用者の利便性向上を進めていきます。 歴史講座や古文書講座については、引き続き参加者のニーズを的確に把握し、会場及び講師の日程を調整の上、満足度の高い内容となるよう検討していきます。 |
| 第3期実施計画に記載されている次年度の取組内容 | | ① 公文書や歴史的公文書等の適正な管理と情報提供 ② 古文書講座や歴史講座などの開催、ホームページによる広報と啓発 ③ 公文書館施設・設備の維持補修など適切な管理 | |
| 今後の事業の方向性を踏まえた次年度の取組内容の変更箇所 | 変更箇所 (上記計画上の記載に対する変更箇所) | ④ 川崎市史市制100周年記念版の制作[令和6年度より追加した取組] | |
| | 変更の理由 | 令和8年度完成予定の川崎市史市制100周年記念版を制作するため | |

令和6年度 事務事業評価シート

事業の概要

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|---|--------------------|--|--------------|------------------|---------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|
| 事務事業 | 事務事業コード | 事務事業名 | | | 政策体系別計画の記載 | | | | | | | |
| | 50103010 | 区役所改革推進事業 | | | 有 | | | | | | | |
| 担当 | 組織コード | 所属名 | | | | | | | | | | |
| | 254530 | 市民文化局コミュニティ推進部政推進課 | | | | | | | | | | |
| 実施期間 | 事業開始年度 | 事業終了年度 | 事務・サービスの分類 | 分類1(市民サービス等) | 分類2(内部事務) | | | | | | | |
| | — | — | | 参加・協働の場 | 政策推進計画等(策定・進行管理) | | | | | | | |
| 実施形態 | <input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他 | | | | | | | | | | | |
| 実施根拠 | <input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度 | | | | | | | | | | | |
| (法令・要綱等) | | | | | | | | | | | | |
| 総合計画と連携する計画等 | | | | | | | | | | | | |
| SDGsのゴール・ターゲットを意識した取組の方向性 | 16 | 16.6 | 説明責任を果たすとともに、透明性の高いしくみの構築に向けて、市民目線に立った満足度の高い行政サービスの提供や、共に支え合う地域づくりや多様な主体の参加と協働による地域課題解決に向けた取組を推進します。 | | | | | | | | | |
| 行財政改革第3期プログラムに関連する課題名 | 改革項目 | | 課題名 | | | | | | | | | |
| | 取組3(1)多様な主体との協働・連携によるまちづくりの推進 | | 1・これからのコミュニティ施策の基本的考え方に基づく取組の推進 | | | | | | | | | |
| | 取組3(2)区役所機能の強化 | | 1・「めざすべき区役所像」の実現に向けた区役所機能の強化 | | | | | | | | | |
| | 取組3(2)区役所機能の強化 | | 2・区役所と支所・出張所等の機能再編に向けた取組の推進 | | | | | | | | | |
| | 取組4(2)行財政運営上の課題解決に必要な人材の育成 | | 3・区役所における行政のプロフェッショナルの育成 | | | | | | | | | |
| 予決算 (単位:千円) | 年度 | R4年度 | | R5年度 | | R6年度 | | R7年度 | | | | |
| | | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | | | |
| | 事業費 A | 39,733 | 26,758 | 39,733 | 38,338 | 30,725 | 39,733 | 39,920 | 32,200 | 39,733 | 45,034 | |
| | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | 市債 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | その他特財 | 2,934 | — | 2,934 | 8,146 | — | 2,934 | 7,554 | — | 2,934 | 18,511 |
| | | 一般財源 | 36,799 | — | 36,799 | 30,192 | — | 36,799 | 32,366 | — | 36,799 | 26,523 |
| | 人件費* B | 75,563 | 75,563 | 81,840 | 81,840 | 81,840 | 87,487 | 87,487 | 87,487 | 0 | 0 | 0 |
| | 総コスト(A+B) | 115,296 | 102,321 | 121,573 | 120,178 | 112,565 | 127,220 | 127,407 | 119,687 | 39,733 | 45,034 | 0 |
| | 人工(単位:人) | 8.97 | | 9.6 | | 10.18 | | | | | | |

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

計画(Plan)

| | | |
|---|---|-------------------------|
| 政策体系 | 政策 | 参加と協働により市民自治を推進する |
| | 施策 | 共に支え合う地域づくりに向けた区役所機能の強化 |
| | 直接目標 | 市民満足度の高い区役所サービスを提供する |
| 事業の対象 (事業の対象となる人、物) | 市民、市職員 | |
| 事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか) | 「区役所改革の基本方針」に基づく取組を推進することで、市民目線に立った満足度の高い行政サービスの提供や、共に支え合う地域づくりや多様な主体の参加と協働による地域課題解決に向けた、市民の主体的な取組の促進を図ります。 | |
| 事業の内容 (どういった業務内容で、どのような手段で実施しているか) | <ul style="list-style-type: none"> 「区役所サービス向上指針」に基づく継続的なサービス向上に取り組めます。 利便性が高く、分かりやすい窓口サービスの提供体制構築に向けた取組を推進します。 地域での「顔の見える関係づくり」や、地域コミュニティの形成につながるきっかけづくりに向け、職員研修や支所・出張所の活用策の検討を行います。 区民会議のあり方検討も含めた住民自治の更なる充実などに取り組めます。 | |
| 第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> ①「区役所改革の基本方針」に基づく取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> 「基本方針」の改定に向けた検討 区民会議に替わる新しい参加の場としての「地域デザイン会議」の本格実施 地域をコーディネートできる職員の育成に向けた研修の実施 ②「区役所と支所・出張所等の機能再編実施方針改定版」に基づく、区役所、支所、出張所等を取り巻く状況の変化を踏まえた取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> 「実施方針改定版」の改定に向けた検討 「宮前区役所向丘出張所の今後の活用に関する方針」に基づく取組の推進 証明書発行体制のあり方の検討 行政手続のオンライン化、デジタル化を踏まえた「実施方針改定版」の改定に向けた検討 | |
| 当初計画からの変更箇所 (第3期実施計画に記載されている取組内容から変更となる取組) | <ul style="list-style-type: none"> ②「川崎区役所及び支所の機能・体制等に関する実施方針」に基づく機能再編の推進 支所・地区健康福祉ステーションの申請・届出業務の川崎区役所への一元化(機能再編)【変更(令和5年度完了目標としていた取組)】 | |

実施結果 (Do)

上記「第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容」に対する達成度

3

1. 目標を大きく上回って達成
2. 目標を上回って達成
3. ほぼ目標どおり
4. 目標を下回った
5. 目標を大きく下回った

取組内容の実績等

(上記に掲げた取組内容に対し、「数値等により具体的に実績を示すことができる取組」、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載)

目標どおり達成できました。

①「区役所改革の基本方針」に基づく取組の推進
 ・「基本方針」改定に向けて、これまでの取組等の進捗状況を確認するとともに、区役所を取り巻く環境変化の状況を整理し、今後の区役所が果たすべき役割と方向性の検討を行いました。また、検討の参考とするため、有識者から意見聴取を行いました。(令和7年1月、3名)
 ・「地域デザイン会議」については、令和6年5月に「川崎市地域デザイン会議運営指針」を策定し、本格実施を開始しました。本格実施開始に合わせて、チラシの作成、ホームページの見直し、イベントへのブース出展(令和6年12月、パネル展示)等、取組の見える化に取り組みました。各区における取組としては、各区1回(川崎市・麻生区は2回)、議題・テーマに応じた参加者、開催方法等により開催しました。
 ・地域コーディネーター研修については、地域包括ケアシステムを研修内容に取り込むとともに、架空の状況設定を取り入れる等、より実践的なプログラムとなるように工夫を行い、習得度の高い研修を実施しました(研修2回実施、69人受講)。「まちのひろば創出職員プロジェクト」においては、まちのひろばの創出を目的とした企画を2つのグループごとに行い、地域で活動されている方の御協力をいただきながら企画を実施しました(集合研修3回実施、9人受講・参加)。

②「川崎市役所及び支所の機能・体制等に関する実施方針」に基づく機能再編の推進
 ・令和7年1月に、支所・地区健康福祉ステーションの申請・届出業務について川崎市役所への一元化を行いました。
 ・大師地区複合施設(支所及びコミュニティセンター)について、整備等事業の事業者を選定するとともに、コミュニティセンターの指定管理者の募集を開始しました。

③「区役所と支所・出張所等の機能再編実施方針改定版」に基づく、区役所、支所、出張所等を取り巻く状況の変化を踏まえた取組の推進
 ・「実施方針改定版」の改定及び証明書発行体制のあり方については、急速に進むデジタル化への対応等の環境変化を踏まえながら、「基本方針」と一体的な検討を行いました。
 ・「宮前区役所向丘出張所の今後の活用に関する方針」に基づき、地域の活動・交流を促進するイベント等を実施するとともに、オンライン相談に関する導入事例の調査や課題整理を行うなど、各取組を進めました。
 ・生田出張所については、新広場供用開始を踏まえたオープニングイベント(令和6年6月)や植樹イベント(令和6年10月)等を行いました。
 ・各出張所における会議室利用状況を整理するとともに、利活用の推進に向けた検討を行う等、出張所の「地域の居場所」に向けた取組を進めました。

| 指標分類 | 数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
|--------|--|-------|------|------|------|------|----|
| 1 成果指標 | コミュニティデザイン手法(技法)の習得度(事後アンケート) | 目標 | 55 | 80 | 85 | 90 | % |
| | 説明 研修後アンケートの質問(「コミュニティデザイン手法(技法)を習得できたか。」)に対して「充分できた」と答えた人の割合。 | 実績 | 87 | 92.5 | 88 | | |

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化
 (国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など)
 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組が急務となっていることや、住民自治の充実に向けた都市内分権の推進、マイナンバー制度の導入など、本市を取り巻く社会環境は変化してきていることから、これからの区役所の果たすべき役割を踏まえた「めざすべき区役所像」の実現に向けて取組を進める必要があります。

事業の見直し・改善内容
 実施 (直近) R 6 年度 未実施

具体的に見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載

R6年度: 地域デザイン会議運営指針の策定、本格実施の開始
 R4年度: 大師地区複合施設・田島地区複合施設 整備・運営基本計画の策定
 R3年度: 川崎市役所及び支所の機能・体制等に関する実施方針の策定、宮前区役所向丘出張所の今後の活用に関する方針の策定
 R1年度: 川崎市役所及び支所の機能・体制等に関する基本方針の策定
 H29年度: 区役所と支所・出張所等の機能再編実施方針改定版策定
 H26年度: 柿生連絡所廃止
 H23年度: 出張所の届出業務を集約、宮前連絡所廃止
 H20年度: 区役所と支所・出張所等の窓口サービス機能再編実施方針策定

| 評価項目 | | 評価 | |
|------|---|---|---|
| 必要性 | 【市民のニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか? | a. 薄れていない b. 薄れている | a |
| | 【市が実施する必要性】 他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか? | a. 事例はない b. 事例がある | a |
| | 評価の理由 | 区役所はこれまでの行政サービスの提供に加え、地域の実情に応じながら、市民同士のつながりやコミュニティづくりを通じて、市民の主体的な取組を促す役割が求められています。その実現に向けて、社会環境の変化に対応しながら、継続的に取り組む必要があります。 | |
| 有効性 | 【成果】 活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか? | a. 上がっている b. 徐々に上がっている c. 上がっていない | a |
| | 評価の理由 | 成果指標である「コミュニティデザイン手法(技法)の習得度」が向上することにより、市民目線に立った満足度の高い行政サービスの向上につながると考えられ、目標値を超えており、成果は上がっています。今後も、地域で活動されている方や委託業者などと調整し、区役所職員の習得度が向上する手法の実施に努めます。 | |
| 効率性 | 【民間の活用】 委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか? | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | b |
| | 【事業手法等の見直し】 事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか? | a. 可能性はない b. 可能性はある | b |
| | 【質の向上】 事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか? | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | b |
| | 評価の理由 | 現在、委託を行っている区役所サービス向上の推進や地域課題の検討・解決に向けたアクションができる職員育成研修については、効果が最大限発揮されるよう、今後も内容の見直しなどを行っていきます。また、新支所複合施設の計画等では、民間活用による整備・運営に向けて調整を行っていきます。それ以外の取組については、内部調整を行うものであるため、民間活用の可能性はありませんが、現状の課題に対する取組を進め、オンライン化やデジタル化の推進など社会環境の変化に対応しながら、市民サービスの質の向上を目指していきます。 | |

| 貢献度区分 | | 上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由 |
|-------------|--|---------------------------|
| 施策への 貢献度 | A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い | A |
| | | |



| 改善 (Action) | | |
|---|--------------------------------|---|
| 方向性区分 | 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 | |
| 今後の事業の方向性 I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了 | II | <p>「区役所改革の基本方針」におけるめざすべき区役所像に基づく取組を推進するとともに、区役所を取り巻く環境変化を踏まえ、今後の区役所が果たすべき役割と方向性を改めて示すため、令和7年度末に「基本方針」を改定します。</p> <p>市民との対話が求められる取組や職員の集合研修等については、引き続き実施内容を工夫しながら取り組んでいきます。</p> <p>「宮前区役所向丘出張所の今後の活用に関する方針」に基づき、市民等との協働・連携、役割分担など具体的な整理・検討を進め、取組を推進します。</p> <p>「大師地区複合施設・田島地区複合施設 整備・運営基本計画」に基づき、共に支え合う地域づくりを推進する身近な拠点の形成に向けた取組を推進します。</p> <p>「区役所と支所・出張所等の機能再編実施方針改定版」の改定及び「証明書発行体制のあり方については、急速に進むデジタル化への対応等の環境変化を踏まえながら、「基本方針」と一体的に検討していきます。</p> |
| 第3期実施計画に記載されている 次年度の取組内容 | | <p>①「区役所改革の基本方針」に基づく取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「基本方針」の改定 ・区民会議に替わる新しい参加の場としての「地域デザイン会議」の実施 ・地域をコーディネートできる職員の育成に向けた研修の実施 <p>②「区役所と支所・出張所等の機能再編実施方針改定版」に基づく、区役所、支所、出張所等を取り巻く状況の変化を踏まえた取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「実施方針改定版」の改定 ・「宮前区役所向丘出張所の今後の活用に関する方針」に基づく取組の推進 ・証明書発行体制のあり方に関する方針等の策定 ・行政手続のオンライン化・デジタル化を踏まえた「実施方針改定版」の改定 |
| 今後の事業の方向性を 踏まえた次年度の取組内容 の変更箇所 | 変更箇所 (上記計画上の記載に 対する変更箇所) | |
| | 変更の理由 | |

令和6年度 事務事業評価シート

事業の概要

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|---|---------------------|--|--------------|------------|--------|--------|--------|---------|-------|--------|--------|
| 事務事業 | 事務事業コード | 事務事業名 | | | 政策体系別計画の記載 | | | | | | | |
| | 50103020 | 区役所サービス向上事業 | | | 有 | | | | | | | |
| 担当 | 組織コード | 所属名 | | | | | | | | | | |
| | 254530 | 市民文化局コミュニティ推進部区政推進課 | | | | | | | | | | |
| 実施期間 | 事業開始年度 | 事業終了年度 | 事務・サービス等の分類 | 分類1(市民サービス等) | 分類2(内部事務) | | | | | | | |
| | 平成28年度 | — | | その他 | — | | | | | | | |
| 実施形態 | <input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他 | | | | | | | | | | | |
| 実施根拠 | <input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度 | | | | | | | | | | | |
| (法令・要綱等) | | | | | | | | | | | | |
| 総合計画と連携する計画等 | | | | | | | | | | | | |
| SDGsのゴール・ターゲットを意識した取組の方向性 | 16 | 16.6 | 説明責任を果たすとともに、透明性の高いしくみの構築に向けて、市民満足度の高い区役所サービスの提供により、協働のパートナーである市民と区役所との間に信頼関係を築くことで、あらゆる人々に対して、市民感覚・現場起点による継続的な区役所サービス向上の取組を推進します。 | | | | | | | | | |
| 行財政改革第3期プログラムに関連する課題名 | 改革項目 | | 課題名 | | | | | | | | | |
| 予決算 (単位:千円) | 年度 | R4年度 | | R5年度 | | R6年度 | | R7年度 | | | | |
| | | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額(見込) | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 |
| | 事業費 A | 1,608 | 944 | 1,608 | 1,595 | 1,136 | 1,608 | 39,127 | 37,447 | 1,608 | 47,036 | |
| | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | 市債 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | その他特財 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | 一般財源 | 1,608 | — | 1,608 | 1,595 | — | 1,608 | 39,127 | — | 1,608 | 47,036 |
| | 人件費* B | 24,514 | 24,514 | 30,861 | 30,861 | 30,861 | 32,485 | 32,485 | 32,485 | 0 | 0 | |
| | 総コスト(A+B) | 26,122 | 25,458 | 32,469 | 32,456 | 31,997 | 34,093 | 71,612 | 69,932 | 1,608 | 47,036 | |
| | 人工(単位:人) | 2.91 | | 3.62 | | 3.78 | | | | | | |

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

計画 (Plan)

| | | |
|---|---|-------------------------|
| 政策体系 | 政策 | 参加と協働により市民自治を推進する |
| | 施策 | 共に支え合う地域づくりに向けた区役所機能の強化 |
| | 直接目標 | 市民満足度の高い区役所サービスを提供する |
| 事業の対象 (事業の対象となる人、物) | 区役所等へ来庁する市民、区役所等で行政サービスを受ける市民 | |
| 事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか) | 市民満足度の高い区役所サービスを提供することで、協働のパートナーである市民と区役所との間に信頼関係を築きます。 | |
| 事業の内容 (どういった業務内容で、どのような手段で実施しているか) | 区役所サービス向上指針に基づき、区役所が主体となって区役所サービス向上の取組を進めるとともに、PDCAサイクルに基づく効果的なマネジメントを推進します。 窓口利用機会の拡大と、利用者の平準化による平日窓口の混雑緩和を図ることを目的として、毎月第2・第4土曜日及び混雑期における区役所窓口臨時開設を実施します。 | |
| 第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容 | ①市民の声を踏まえた区役所サービス向上の取組の推進 ・区役所サービス向上指針評価・研修の実施 ・第2・4土曜日の区役所窓口開設の実施 ・混雑期の臨時窓口開設の実施 | |
| 当初計画からの変更箇所 (第3期実施計画に記載されている取組内容から変更となる取組) | おくやみコーナーの設置に向けた検討、7区役所での開設【新規(令和5年度)】 | |

実施結果 (Do)

| | | | | | | | |
|---|---|--|------|------|------|------|----|
| 上記「第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容」に対する達成度 | 4 | 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った | | | | | |
| 取組内容の実績等 (上記に掲げた取組内容に対し、「数値等でより具体的に実績を示すことができる取組」、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載) | 目標を下回りました。 ①市民の声を踏まえた区役所サービス向上の取組の推進 区役所サービス向上指針評価・研修の実施については、各区役所で外部評価を実施し、その結果を踏まえたサービス向上研修を3回(90人)実施するなど、区役所サービスの向上に向けた取組を推進しました。 また、第2・4土曜日の区役所窓口を開設しました。3月後半から4月第1週にかけての混雑期における臨時窓口については、利用者の傾向や職員の働き方改革の観点、区役所の効率的な執行体制、近隣都市の状況を考慮し、令和7年3月の開設は見送ることとなりましたが、マイナンバーカードの交付や電子証明書の更新の増加への対応や3月末に転入手続き等が集中したことなどにより、各区役所において、長時間の待ち時間が発生しました。 その他、デジタル窓口BPRアドバイザーの支援を受けて、多摩区役所で窓口体験調査(7月31日)を行い、市民目線と職員目線の双方で区役所窓口の課題を抽出し、改善策の検討を行いました。また、死亡に関する区役所での手続き等について案内を行う「おくやみコーナー」を各区役所に開設(10月15日)し、遺族の負担軽減によるサービス向上や業務効率化を図るなど、窓口BPRに係る取組を推進しました。 | | | | | | |
| 指標分類 | 数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| 1 成果指標 | 区役所利用者のサービス満足度 | 目標 | — | 99 | — | 99 | % |
| | 説明 | 区役所利用者に対する聞き取り調査を実施し、区役所サービスの総合的な評価に関する質問に対して「はい」、「どちらでもない」と否定的ではない回答をした人の割合 | 実績 | — | 99.3 | — | |

評価 (Check)

| | |
|---|---|
| 事業を取り巻く社会環境の変化 (国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など) | デジタル技術の進展によりサービスのデジタル化が飛躍的に高まる中、地方自治体の住民サービスについてもデジタル化の推進に取り組むことが求められています。また、サービス向上及びデジタルデバйд対策の取組として、首都圏政令市においてもおくやみコーナーの設置が進められています。 |
| 事業の見直し・改善内容 | <input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) R 6 年度 <input type="checkbox"/> 未実施 |
| 具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載 | <ul style="list-style-type: none"> ・R6年度: 各区役所におくやみコーナーを開設 ・H28年度: 区役所サービス向上指針(第2次改訂版) 策定 ・H23年度: 区役所サービス向上指針(第1次改訂版) 策定 ・H20年度: 区役所サービス向上指針 策定 |

| 評価項目 | | 評価 | |
|------|--|---|----------|
| 必要性 | 【市民のニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか? | a. 薄れていない b. 薄れている | a |
| | 【市が実施する必要性】 他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか? | a. 事例はない b. 事例がある | a |
| | 評価の理由 | 来庁される市民の方々に満足いただくことを標準として、常に創意工夫し、サービスの向上を進めていく必要があります。成果指標としている区役所利用者のサービス満足度を含め、区役所サービスの質の低下を招くことのないよう、継続的な取組の必要があります。 | |
| 有効性 | 【成果】 活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか? | a. 上がっている b. 徐々に上がっている c. 上がっていない | b |
| | 評価の理由 | 区役所利用者のサービス満足度(成果指標)は、事業開始からほとんどの検証において目標値を上回っていることから、区役所サービス向上指針評価・研修などの各取組は、一定の成果があると考えます。(各区役所等における利用者への対面での聞き取り調査は、次回、令和7年度中に実施予定。) | |
| 効率性 | 【民間の活用】 委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか? | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | c |
| | 【事業手法等の見直し】 事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか? | a. 可能性はない b. 可能性はある | b |
| | 【質の向上】 事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや区役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか? | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | b |
| | 評価の理由 | 現在委託を行っている区役所サービス向上指針評価・研修やおくやみコーナーの運営について、効果が最大限発揮されるよう、今後も事業手法等の見直しを検討していきます。また、隔年で実施している満足度調査の経年比較による分析や課題共有、窓口体験調査の結果等を踏まえ、職員・組織の質の向上につなげていきます。 | |

| 施策への貢献度 | 貢献度区分 | 上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由 |
|---------|--|---------------------------|
| | A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い | B |

改善 (Action)

| 今後の事業の方向性 | 方向性区分 | 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 |
|-----------------------------|--|--|
| | I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了 | II |
| 第3期実施計画に記載されている次年度の取組内容 | | <ul style="list-style-type: none"> ①市民の声を踏まえた区役所サービス向上の取組の推進 ・区役所サービス向上指針評価・研修の実施 ・第2・4土曜日の区役所窓口開設の実施 ・混雑期の臨時窓口開設の実施 |
| 今後の事業の方向性を踏まえた次年度の取組内容の変更箇所 | 変更箇所 (上記計画上の記載に対する変更箇所) | |
| | 変更の理由 | |

令和6年度 事務事業評価シート

事業の概要

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|---|---------------------|--|-------------------------------------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 事務事業 | 事務事業コード | 事務事業名 | | | | 政策体系別計画の記載 | | | | | | |
| | 50103030 | 戸籍住民サービス事業 | | | | 有 | | | | | | |
| 担当 | 組織コード | 所属名 | | | | | | | | | | |
| | 251880 | 市民文化局市民生活部戸籍住民サービス課 | | | | | | | | | | |
| 実施期間 | 事業開始年度 | 事業終了年度 | 事務・サービス等の分類 | 分類1(市民サービス等) | 分類2(内部事務) | | | | | | | |
| | — | — | | その他 | — | — | | | | | | |
| 実施形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input checked="" type="checkbox"/> その他 | | | | | | | | | | | |
| 実施根拠 | <input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度 (法令・要綱等) 戸籍法、住民基本台帳法、印鑑条例等 | | | | | | | | | | | |
| 総合計画と連携する計画等 | デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進プラン、人権施策推進基本計画 | | | | | | | | | | | |
| SDGsのゴール・ターゲットを意識した取組の方向性 | 16 | 16.9 | 市民生活の基盤となる戸籍や住民基本台帳事務などを適正に遂行することで、すべての対象者に出生登録を含む法的な身分証明を提供します。 | | | | | | | | | |
| 行財政改革第3期プログラムに関連する課題名 | 改革項目 | | | 課題名 | | | | | | | | |
| | 取組1(1) 将来を見据えた市民サービスの再構築 | | | 4・マイナンバーカードの利用動向を踏まえた証明書発行体制のあり方の検討 | | | | | | | | |
| 予決算 (単位: 千円) | 年度 | R4年度 | | R5年度 | | R6年度 | | R7年度 | | | | |
| | | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額(見込) | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 |
| | 事業費 A | 3,435,030 | 2,622,749 | 1,609,854 | 3,556,744 | 2,508,510 | 1,348,569 | 3,422,244 | 2,586,572 | 1,348,569 | 3,869,874 | |
| | 財源内訳 | 国庫支出金 | 2,033,390 | — | 82,417 | 2,081,002 | — | 82,417 | 1,658,536 | — | 82,417 | 2,122,846 |
| | | 市債 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 41,000 |
| | | その他特財 | 457,395 | — | 439,469 | 439,580 | — | 439,469 | 514,610 | — | 439,469 | 468,812 |
| | | 一般財源 | 944,245 | — | 1,087,968 | 1,036,162 | — | 826,683 | 1,249,098 | — | 826,683 | 1,237,216 |
| | 人件費* B | 1,442,694 | 1,442,694 | 1,495,541 | 1,495,541 | 1,495,541 | 1,551,733 | 1,551,733 | 1,551,733 | 0 | 0 | |
| | 総コスト(A+B) | 4,877,724 | 4,065,443 | 3,105,395 | 5,052,285 | 4,004,051 | 2,900,302 | 4,973,977 | 4,138,305 | 1,348,569 | 3,869,874 | |
| | 人工(単位: 人) | 171.26 | | 175.43 | | 180.56 | | | | | | |

* 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

計画 (Plan)

| | | |
|---|---|-------------------------|
| 政策体系 | 政策 | 参加と協働により市民自治を推進する |
| | 施策 | 共に支え合う地域づくりに向けた区役所機能の強化 |
| | 直接目標 | 市民満足度の高い区役所サービスを提供する |
| 事業の対象 (事業の対象となる人、物) | 市民 | |
| 事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか) | 戸籍、住民基本台帳、印鑑登録といった市民生活の基盤となる届出や記録を適正に管理するとともに、証明書等を必要とする人々に発行することで、市民サービスの向上を図ります。 | |
| 事業の内容 (どのような業務内容で、どのような手段で実施しているか) | 各区役所・支所区民センター・出張所・行政サービスコーナー等において届出の受理や証明書等を発行するとともに、マイナンバーカード(個人番号カード)の普及やコンビニエンスストアでの証明書交付を推進することにより利便性の向上を図ります。 | |
| 第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容 | ① 戸籍事務、住民基本台帳事務、印鑑登録事務等の迅速かつ確かな提供(的確な事務提供の実施、戸籍情報システムの運用) ② マイナンバーカードの普及促進等の取組の推進(マイナンバーカードの普及促進、コンビニエンスストアでの戸籍・住民票等の証明書の自動交付の利用促進) ③ 区役所事務サービスシステムの運用(新システムの運用、新システムの利用支援員の配置) | |
| 当初計画からの変更箇所 (第3期実施計画に記載されている取組内容から変更となる取組) | | |

実施結果 (Do)

| | | |
|---|--|--|
| 上記「第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容」に対する達成度 | 2 | 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った |
| 取組内容の実績等 (上記に掲げた取組内容に対し、「数値等により具体的に実績を示すことができる取組」、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載) | 目標を上回って達成できました。 ① 戸籍事務、住民基本台帳事務、印鑑登録事務等の迅速かつ確かな提供(的確な事務提供の実施、戸籍情報システム稼働に向けた対応の実施)については、戸籍法及びデジタル手続法の改正に伴い、期日までに戸籍総合システムを改修し、また、総務省や法務省からの運用に係る通知を、各区役所区民課等と共有することで、来庁者への迅速かつ確かなサービスの提供を実施しました。 ② マイナンバーカードの普及促進等の取組(マイナンバーカードの普及促進、コンビニエンスストアでの戸籍・住民票等の証明書の自動交付の利用促進)については、新たに区役所窓口等への来庁が困難な方がマイナンバーカードを申請しやすい環境を提供する訪問型出張申請事業を11件実施し、令和7年3月末時点における地方公共団体情報システム機構の報告による交付枚数は1,305,433枚(同時点における住民基本台帳人口1,538,379人)で、交付率は目標の75%を上回り、84.86%を達成しました。また、市民サービスの向上を図るため、令和7年3月から、コンビニ交付証明手数料を窓口における証明交付手数料から減額することでコンビニ交付の利用促進を実施しました。 ③ 区役所事務サービスシステムの運用については、各区役所区民課窓口へのタブレット入力支援員の配置を継続するとともに、引越しワンストップサービスとの連携強化などによる事務の効率化とシステムの安定的な運用を実施しました。 | |

| 指標分類 | 数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
|--------|---|-------|------|------|------|------|----|
| 1 成果指標 | マイナンバーカード交付率 | 目標 | 55 | 65 | 75 | 85 | % |
| | 説明 市内で交付されたマイナンバーカードの累計枚数/住民基本台帳人口×100(%) | 実績 | 64 | 77 | 85 | | |

評価 (Check)

| | |
|---|--|
| 事業を取り巻く社会環境の変化 (国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など) | 今後、国の各種施策において、様々な手続きにマイナンバーカードの利用が始まるとともに、国からも円滑な交付体制の構築についても通知があったことから、マイナンバーカードの普及促進やコンビニ交付の利用促進のみならず、交付体制の整備についても検討する必要があります。 |
| 事業の見直し・改善内容 | <input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) R 6 年度 <input type="checkbox"/> 未実施 |
| 具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載 | <p>R6年度: 外出困難な方がマイナンバーカードを申請しやすい環境を提供する訪問型出張申請事業を実施しました。また、コンビニ交付の利用促進による市民サービスの向上を図るため、令和7年3月1日からコンビニ交付証明手数料について、窓口における交付証明手数料より100円減額して交付を実施しました。</p> <p>R5年度: マイナンバーカードセンターの窓口交付業務は、交付需要の減少に合わせて令和5年12月で終了しました。</p> <p>R4年度: 7月中旬以降、年末年始を除く毎日、大型商業施設、地下街、市民館等においてマイナンバーカードに係る出張申請特設窓口を開設し、30,000件以上の申請サポートを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出張申請専用車両「マイナカー」により、町内会に出向き、マイナンバーカードに関する講習会及び申請サポートを行いました。 ・京急川崎駅に編成ごと貸し切った電車を停車させ、車内で申請サポートを行うイベント「でんしゃdeマイナンバーカード」を開催しました。 ・専用ホームページの開設、SNS広告、南武線車内の中吊り広告、市政だよりの掲載、川崎市内全町内会・自治会の回覧板等により申請を喚起するための広報を行いました。 <p>R3年度: 川崎市マイナンバーカードセンター及び各区役所区民課に30台の統合端末の増設や会計年度任用職員の追加任用を行うなど交付体制の強化を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川崎アゼリア、グランツリー武蔵小杉、市内税務署、JR武蔵溝口自由通路、高津市民館等において、出張申請サポート及び出張申請受付を90日間実施し、1,644件の申請サポート対応及び441件の申請を受理しました。 ・マイナンバーカード未受領者に対する受取の再勧奨通知を約50,000件送付しました。 <p>R2年度: R2年7月に川崎市マイナンバーカードセンターを開設しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方公共団体情報システム機構(J-LIS)が、12月末からマイナンバーカード未取得者にQRコード付申請書を発送することになったため、1月に川崎市マイナンバーカードセンター及び各区役所区民課に16台の統合端末の増設や会計年度任用職員の追加任用を行うなど交付体制の強化を図りました。 |

| 評価項目 | | 評価 | |
|---------|--|--|---|
| 必要性 | 【市民のニーズ】 事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか? | a. 薄れていない b. 薄れている | a |
| | 【市が実施する必要性】 他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか? | a. 事例はない b. 事例がある | a |
| | 評価の理由 | <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニ交付は、全国のコンビニで各種証明書が取得できるため、市民にとって利便性が高く、交付件数実績からもニーズの高さが伺えます。 ・マイナンバーカードは、コンビニ交付のみならず、マイナポータルにおける行政手続きの電子申請や健康保険証としての利用等、ニーズは高まっています。 | |
| 有効性 | 【成果】 活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか? | a. 上がっている b. 徐々に上がっている c. 上がっていない | a |
| | 評価の理由 | 成果指標であるマイナンバーカードの交付率は目標を達成しています。今後も国の動向を踏まえ交付体制等を整備していきます。 | |
| 効率性 | 【民間の活用】 委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか? | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | c |
| | 【事業手法等の見直し】 事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか? | a. 可能性はない b. 可能性はある | b |
| | 【質の向上】 事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか? | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | c |
| | 評価の理由 | ・委託化が可能なコールセンターや予約システム業務などは、令和2年度から委託により実施しています。 | |
| 施策への貢献度 | 貢献度区分 | 上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由 | |
| | A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い | A | 外出困難な方を対象に訪問型出張申請事業を行うなどの普及促進を図り、マイナンバーカードの交付率の目標は達成していることから、施策に貢献しました。 |

改善 (Action)

| 今後の事業の方向性 | 方向性区分 | 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 |
|-----------------------------|--|---|
| | I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了 | II |
| 第3期実施計画に記載されている 次年度の取組内容 | | ①戸籍事務、住民基本台帳事務、印鑑登録事務等の迅速かつ的確な提供(的確な事務提供の実施、戸籍情報システム稼働に向けた対応の実施・システム運用) ②マイナンバーカードの普及促進等の取組の推進(マイナンバーカードの普及促進、コンビニエンスストアでの戸籍・住民票等の証明書の自動交付の利用促進) ③区役所事務サービスシステムの運用(新システムの運用、新システムの利用支援員の配置) |
| 今後の事業の方向性を踏まえた次年度の取組内容の変更箇所 | 変更箇所 (上記計画上の記載に対する変更箇所) | |
| | 変更の理由 | |

令和6年度 事務事業評価シート(地域課題対応事業用)

川崎区

| 1 事業の概要 | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|
| 政策体系上の位置づけ | 基本政策(1層) | 誰もが生きがいを持てる市民自治の地域づくり | | | | | | | | | | |
| | 政策(2層) | 参加と協働により市民自治を推進する | | | | | | | | | | |
| | 施策(3層) | 共に支え合う地域づくりに向けた区役所機能の強化 | | | | | | | | | | |
| | 直接目標 | 市民満足度の高い区役所サービスを提供する | | | | | | | | | | |
| 事務事業(4層) | 事務事業コード 50103040 | 事務事業名 地域課題対応事業(川崎区) | | | | | | | | | | |
| 担当 | 組織コード 611650 | 所属名 川崎区役所まちづくり推進部企画課 | | | | | | | | | | |
| 総合計画と連携する計画等 かわさき強靱化計画,国際施策推進プラン,住宅基本計画,緑の基本計画,デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進プラン,スポーツ推進計画,文化芸術振興計画,子どもの権利に関する行動計画 | | | | | | | | | | | | |
| SDGsのゴール・ターゲットを意識した取組の方向性 | 17 17.17 | 公的、官民、市民社会のパートナーシップの形成に向けて、区役所が主体となって、区民の参加と協働により、地域の身近な課題解決や地域資源を活かした事業を進めます。 | | | | | | | | | | |
| 事業の概要(主要な取組) | <ul style="list-style-type: none"> ●区役所が主体となって、区民の参加と協働により、地域の身近な課題解決や地域資源を活かした事業を進めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活かしたまちづくりの推進 ・区イメージアップに向けた環境まちづくりの推進 ・誰もが安心して、生き生きと暮らせるまちづくりの推進 ・地域における子ども・子育て支援の推進 ・安全・安心なまちづくりに向けた地域防災力の向上 ・交通安全と自転車対策の推進 ・区役所サービス向上事業 | | | | | | | | | | | |
| 行財政改革第3期プログラムに関連する課題名 | 改革項目 | 課題名 | | | | | | | | | | |
| | 取組3(1)多様な主体との協働・連携によるまちづくりの推進 | 14・多様な主体の参加と協働によるコミュニティ施策の推進 | | | | | | | | | | |
| | 取組3(1)多様な主体との協働・連携によるまちづくりの推進 | 15・多様な主体の参加と協働による地域包括ケアシステムの推進 | | | | | | | | | | |
| | 取組3(2)区役所機能の強化 | 3・区役所サービスの向上に向けた取組の推進 | | | | | | | | | | |
| | 取組3(3)地域防災力の向上に向けた連携 | 2・地域防災力の向上に向けた取組の推進 | | | | | | | | | | |
| | 取組4(2)行財政運営上の課題解決に必要な人材の育成 | 4・多様な主体の参加と協働によるまちづくりの推進に向けた人材育成 | | | | | | | | | | |
| | 取組4(2)行財政運営上の課題解決に必要な人材の育成 | 5・更なる区役所サービス向上に向けた人材育成の推進 | | | | | | | | | | |
| 取組4(2)行財政運営上の課題解決に必要な人材の育成 | 6・災害対応力の向上に向けた職員の人材育成 | | | | | | | | | | | |
| 予決算(単位:千円) | 年度 | R4年度 | | R5年度 | | R6年度 | | | R7年度 | | | |
| | | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額(見込) | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 |
| | 事業費 A | 58,181 | 48,146 | 59,000 | 69,608 | 56,653 | 54,510 | 62,121 | 50,900 | 54,804 | 50,905 | |
| | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 |
| | | 市債 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 |
| | | その他特財 | 706 | - | 706 | 1,706 | - | 706 | 7,909 | - | 706 | 8,770 |
| | | 一般財源 | 57,475 | - | 58,294 | 67,902 | - | 53,804 | 54,212 | - | 54,098 | 42,135 |
| | 人件費 B | 52,903 | 52,903 | 64,875 | 64,875 | 64,875 | 56,205 | 56,205 | 56,205 | 0 | 0 | |
| | 総コスト(A+B) | 111,084 | 101,049 | 123,875 | 134,483 | 121,528 | 110,715 | 118,326 | 107,105 | 54,804 | 50,905 | |
| | 人工(単位:人) | 6.28 | | 7.61 | | 6.54 | | | | | | |

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

| 2 主要な取組の実施結果 | | | | | | | | | | | | | |
|---|-------------------|---|--|---|--------|--------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|----|
| 番号 | 主要な取組 | 今年度の主要な取組内容 | 主要な取組内容の実績等 | 事業費(千円) | | 達成度 | | | | | | | |
| | | | | 予算額 | 決算額 | | | | | | | | |
| | | | | R4年度 | R5年度 | R6年度(決算額は見込) | R7年度 | | | | | | |
| 1 | 地域資源を活かしたまちづくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ●川崎町設立400年を契機とする地域活動の支援や地域交流拠点としての取組の推進 ●企業等による中学生を対象とした出前授業の実施(回数:7回) ●各種ガイドブック(宝物ウォーキングガイドブック、産業ミュージアムガイドブック)を活用した取組の実施 ●富士通スタジアム川崎を活用したアメリカンフットボールイベントの区民認知度を高める取組(区民招待、観戦イベント)の実施(回数:2回) ●川崎区生活便利ガイドの情報更新、ホームページへの掲載など必要な多言語情報による発信の充実 ●市制100周年記念事業の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ●「東海道川崎宿まつり」(参加人数:8,500人)、「東海道川崎宿スタンプラリー」(参加人数:1,240人)、六郷の渡しまつり(参加人数:6,700人)。また、市制100周年記念事業として「カワサキ百鬼夜行スタンプラリー」(参加人数:72人) ●東海道川崎宿を活かしたまちづくりのワークショップ(開催回数:5回、参加人数:延べ107人) ●企業等による中学生を対象とした出前授業の実施(5月14日、6月4日、6月18日、7月4日、9月27日、11月12日、12月6日) ●健康づくり関係の講演会や老人会などの地域活動で宝物ウォーキングガイドブックを配布(配布数:3,000部) ●富士通スタジアム川崎を活用したアメフト体験・観戦イベント(実施日:12月7日、12月8日、参加人数:延べ2,544人) ●川崎区生活便利ガイドの情報更新、ホームページへの掲載及び窓口における周知用チラシの作成・配布(作成数:4,000枚) ●市制100周年記念事業として「未来につながるかわさきさだち〜100人の笑顔の写真展〜」の開催(展示箇所:6箇所)及び写真を活用した動画の製作・放映(区YouTubeチャンネル、デジタルサイネージ)。 | 21,637 | 19,298 | 3 | | | | | | | |
| | | その他の取組の実績等 | <ul style="list-style-type: none"> ●かわさき産業ミュージアム講座・ツアーの実施(開催回数:講座2回、ツアー1回、参加人数:延べ144人) ●「川崎臨海部の夢発見!バスツアー」の実施(開催回数:2回) ●「かわさき区ピアノコンサート」の実施(開催回数:定例コンサート6回、出張コンサート1回) ●カルッツかわさきでのバススポーツ体験会(カルッツ★バススポーツフェスタ)を市制100周年事業として開催(開催回数:1回) ●パワフルかわさき区民綱引き大会の実施(開催回数:1回、参加チーム数:41チーム) ●川崎区区民アンケートの実施(回答率:38%、回答数:765件) | 38,385 | 33,324 | 3 | | | | | | | |
| ①成果 | | | | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | | | | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| 市制100周年記念事業「未来につながるかわさきさだち〜100人の笑顔の写真展〜」の開催により、今後の川崎区や地産地消などのサステイナブルな地域づくりを考えてもらうきっかけを作るとともに、東海道川崎宿まつりや六郷の渡し祭り等の開催、まちづくりワークショップの実施による魅力あるまちづくりの推進、富士通スタジアム川崎を活用したアメフト体験・観戦イベント等により、区の地域資源を活用したコミュニティ形成につながるよう取組を推進しました。 | | | | 富士通スタジアム川崎を活用したアメリカンフットボールイベントの参加人数 | | | | 目標 | 2,500 | 2,500 | 2,500 | 2,500 | 人 |
| | | | | 指標の説明 | | | | 実績 | 2,264 | 2,633 | 2,544 | | |
| ①成果や②指標を踏まえた評価 | | | | 市制100周年記念事業「未来につながるかわさきさだち〜100人の笑顔の写真展〜」の開催により、今後の川崎区や地産地消などのサステイナブルな地域づくりを考えてもらうきっかけを作るとともに、東海道川崎宿まつり、六郷の渡し祭り等の開催やまちづくりワークショップの実施による魅力あるまちづくりの推進、富士通スタジアム川崎を活用したアメフト体験・観戦イベント等の開催によるスポーツ施設を活かした多様な区民がスポーツを楽しめるコミュニティ形成を進めたことから、地域資源を活かしたまちづくりの推進に一定の成果があったと考えます。 | | | | | | | | | |

| 番号 | 主要な取組 | 今年度の主要な取組内容 | 主要な取組内容の実績等 | 事業費(千円) | | 達成度 | | |
|----|--|---|--|---------|--------|------|------|----|
| | | | | 予算額 | 決算額 | | | |
| | | | | R4年度 | | | | |
| | | | | R5年度 | | | | |
| | | R6年度(決算額は見込) | | R7年度 | | | | |
| 2 | 区のイメージアップに向けた環境まちづくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> 区の花「ひまわり」「ピオラ」の種子・花苗の地域住民への配布による周知(回数:2回) 川崎駅周辺の落書き消し、シール剥がしの実施(回数:各1回) 悪臭の抑制に向けた落下前のぎんなんの採取(回数:1回) | <ul style="list-style-type: none"> 区の花「ひまわり」「ピオラ」の種子・花苗の地域住民への配布の実施(4月15日、11月26日～28日、配布数:ピオラ83団体、ひまわり82団体) 川崎駅周辺の落書き消し、シール剥がしの実施(3月3日～3月28日) 悪臭の抑制に向けた落下前のぎんなんの採取の実施(10月15日) | 4,376 | 4,190 | 3 | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 区の花「ひまわり」「ピオラ」の種子・花苗の地域住民への配布の実施(回数:各1回) 悪臭の抑制に向けた落下前のぎんなんの採取の実施(回数:1回) | 4,668 | 4,048 | 3 | | | |
| | その他の取組の実績等 | <ul style="list-style-type: none"> 保育園や地域住民との協働による植栽活動の実施(実施回数:48回) 「区の花」「区の木」ロゴマークの活用の実施 市制100周年事業として、区の花「ピオラ」を使ったフラワーアートを稲毛公園に展示 | 6,751 | 4,843 | 3 | | | |
| | | | | 4,331 | | | | |
| | ①成果 | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| | 区の花「ひまわり」「ピオラ」の種子・花苗の配布や地域住民との協働による植栽活動の実施を通じた区のイメージアップ及び地域活動への参加意識の醸成を図るとともに、川崎駅周辺の落書き消し及びシール剥がしや悪臭の抑制に向けた落下前のぎんなんの採取の実施による美観向上及び環境改善を図りました。 | 区の花「ひまわり」「ピオラ」の種子・花苗の地域住民への配布回数 | 目標 | 2 | 2 | 2 | 2 | 回 |
| | | 指標の説明 | 実績 | 2 | 2 | 2 | | |
| | ①成果や②指標を踏まえた評価 | 区の花「ひまわり」「ピオラ」の種子・花苗配布や地域住民との協働による植栽活動等により、多くの市民の参加や協働を促進することで、区のイメージアップと緑化推進だけでなく、区民の地域参加の意識醸成にもつながっているほか、川崎駅周辺の落書き消し及びシール剥がしを行うとともに、悪臭抑制に向けた落下前のぎんなんの採取の実施による美観向上及び環境改善が図られたことから、区のイメージアップに向けた環境まちづくりの推進に一定の成果があったと考えます。 | | | | | | |
| 3 | 誰もが安心して、生き生きと暮らせるまちづくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> 地域活動団体同士の交流の推進と情報発信(回数:2回) アウトリーチ等の情報収集による情報更新、地区カルテを活用した地域課題の共有、解決に向けた取組 緑側活動紹介リーフレットや動画等の広報媒体を活用した周知 SNS等の活用及びDVD・小冊子の配布、健康づくりボランティアによる「ほほえみ元気体操」の普及啓発 多様なツールの作成・活用による健康づくり・介護予防の推進 | <ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステムの構築に向けた地域活動団体取材リレーの実施 アウトリーチ等の情報収集による情報更新、地区カルテを活用した地域づくりワークショップや出前講座の実施(実施回数:30回) 緑側活動紹介リーフレットや動画等の広報媒体を活用した周知の実施 SNS等の活用及びDVD・小冊子の配布(DVD配布数:5枚、小冊子配布数:2,000枚)、地域づくりボランティアによる「ほほえみ元気体操」の普及啓発の実施 健康づくり・介護予防推進に向けた「シニアのためのお出かけ情報誌」(配布数:2,000部)、「私の人生ノート」(配布数:300部)の活用 | 3,511 | 3,274 | 3 | | |
| | | その他の取組の実績等 | <ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステム普及啓発パンフレットの発行(発行部数:3,000部) 小学4年生を対象とした子ども向け地域包括ケアシステム普及啓発パンフレットの発行(発行部数:3,000部) 緑側活動団体同士の交流(実施回数:2回)、緑側イベントの開催(開催回数:1回) 認知症予防啓発のためのチラシ(発行部数:20,000部)の配架、区役所窓口デジタルサイネージや市政だより区版を活用した地域包括支援センターの周知 | 4,188 | 3,954 | 3 | | |
| | | | | 4,335 | 3,147 | 3 | | |
| | | | | | 4,290 | | | |
| | ①成果 | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| | 地域活動団体取材リレーを通じた団体同士の交流と情報発信、出前講座とワークショップを活用した地域包括ケアシステムの普及啓発、様々な媒体を用いた緑側活動の広報による地域の居場所づくりの支援を充実させるとともに、「ほほえみ元気体操」のDVD・小冊子などの健康づくり・介護予防のためのさまざまなツールを活用した取組により、区民の健康増進活動を推進しました。 | 地域活動団体同士の交流回数 | 目標 | 3 | 2 | 2 | 3 | 回 |
| | | 指標の説明 | 実績 | 3 | 2 | 2 | | |
| | ①成果や②指標を踏まえた評価 | 地域活動団体によるリレー取材を通じた団体同士の交流と情報発信、出前講座とワークショップを活用した地域包括ケアシステムの普及啓発、様々な媒体を用いた緑側活動の広報による地域の居場所づくりの支援を充実させるとともに、「ほほえみ元気体操」のDVD・小冊子やシニアのためのお出かけ情報誌等の活用による区民の健康増進活動の推進を図れたことから、誰もが安心して、生き生きと暮らせるまちづくりの推進に一定の成果があったと考えます。 | | | | | | |
| 4 | 地域における子ども・子育て支援の推進 | <ul style="list-style-type: none"> こども総合支援ネットワーク関係会議等の開催(全体会議回数:2回、課題別部会回数:4回) 日本語に不慣れな家庭に向けて保育園等からの申請に基づく通訳・翻訳の実施 通訳・翻訳ボランティアの育成を目的とした研修会の開催 外国につながる小・中学生に対する学習支援の実施(小学生教室回数:週1回、中学生教室回数:週2回) | <ul style="list-style-type: none"> こども総合支援ネットワーク関係会議等の開催(全体会:6月4日、2月25日、課題別部会:6月20日、7月4日、1月16日、1月24日) 日本語に不慣れな家庭に向けて保育園等からの申請に基づく通訳・翻訳の実施(実施件数:169件)【保育園等からの申請が169件にとどまった】 通訳・翻訳ボランティアの育成を目的とした研修会(参加人数:11人) 外国につながる小・中学生に対する学習支援の実施(小学生教室回数:週1回・年47回、中学生教室回数:週2回・年92回(祝日・年末年始等は休室)) | 10,699 | 10,528 | 3 | | |
| | | その他の取組の実績等 | <ul style="list-style-type: none"> 待機児童の解消に向けた保育所等入所希望者及び保育者向けの子育て施設マップ(日本語、英語、中国語)を作成・配布(日本語版作成数:3,000部) | 4,153 | 3,973 | 3 | | |
| | | | | 5,007 | 4,862 | 3 | | |
| | | | | | 4,970 | | | |
| | ①成果 | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| | こども総合支援ネットワーク関係会議等の開催により関係機関等と協働・連携して地域全体で子育てを支援するなどの総合的な子ども支援を推進するとともに、日本語に不慣れな家庭に向けて保育園等からの申請に基づく通訳・翻訳の実施等により、日本語・日本の生活習慣への適応に困難を抱える子どもやその保護者への支援を推進しました。 | 日本語に不慣れな家庭に向けて保育園等からの申請に基づく通訳・翻訳の実施件数 | 目標 | 215 | 215 | 215 | 215 | 件 |
| | | 指標の説明 | 実績 | 222 | 223 | 169 | | |
| | ①成果や②指標を踏まえた評価 | こども総合支援ネットワーク関係会議等の開催により関係機関等と協働・連携して地域全体で子育てを支援するなどの総合的な子ども支援を進めるとともに、日本語に不慣れな家庭に向けて保育園等からの申請に基づく通訳・翻訳の実施等により、日本語や日本の生活習慣への適応に不十分な子どもやその保護者への支援に取り組んだことから、地域における子ども・子育て支援の推進に一定の成果があったと考えます。 | | | | | | |
| 5 | 安全・安心なまちづくりに向けた地域防災力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> 区総合防災訓練の実施(回数:2回) 外国人向け防災講座・訓練の実施(回数:3回) 感染症対策を講じた避難所運営会議・訓練の支援 職員向け研修の実施(回数:3回) 川崎区危機管理地域協議会の開催(回数:3回) | <ul style="list-style-type: none"> 区民・関係機関等との連携による実践的な区総合防災訓練(実施日:10月26日、2月1日) 外国人向け防災講座・訓練(実施日:12月3日、12月4日、12月8日、参加人数:139人) 避難所運営会議・訓練の支援の実施 職員向け研修の実施(回数:9回) 川崎区危機管理地域協議会(開催日:5月15日、11月14日)【協議会の体制・運営方法について、見直しを検討するため2回の開催にとどまった】 | 4,030 | 1,964 | 3 | | |
| | | その他の取組の実績等 | 上記外国人向け防災講座での「マイタイムライン」チラシの活用による個別避難計画の取組の実施 | 4,032 | 1,471 | 3 | | |
| | | | | 3,989 | 2,587 | 3 | | |
| | | | | | 3,500 | | | |
| | ①成果 | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| | 区民・関係機関等との連携による実践的な区総合防災訓練や感染症対策を講じた避難所運営会議・訓練支援等の実施を通じた災害対応力の向上を図るとともに、外国人向け防災講座・訓練の実施により、外国人住民の防災意識の向上を図りました。 | 外国人向け防災講座・訓練の実施回数 | 目標 | 3 | 3 | 3 | 3 | 回 |
| | | 指標の説明 | 実績 | 3 | 3 | 3 | | |
| | ①成果や②指標を踏まえた評価 | 災害対応力の向上に向けた区民・関係機関等との連携による実践的な区総合防災訓練や避難所運営会議・訓練支援等の実施、外国人住民の防災意識の向上に向けた外国人向け防災講座・訓練の実施により、安全・安心なまちづくりに向けた地域防災力の向上に一定の成果があったと考えます。 | | | | | | |

| 番号 | 主要な取組 | 今年度の主要な取組内容 | 主要な取組内容の実績等 | 事業費(千円) | | 達成度 | | |
|-------------------------|--|---|--|---------|-------|------|------|----|
| | | | | 予算額 | 決算額 | | | |
| | | | | R4年度 | | | | |
| | | | | R5年度 | | | | |
| | | R6年度(決算額は見込) | | R7年度 | | | | |
| 6 | 交通安全と自転車対策の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ●スクエア・ストリート方式の交通安全教室の実施(回数:3回) ●小学生・高齢者・PTA等を対象とした交通安全教室の開催(回数:80回以上) ●川崎区子ども自転車大会の開催(回数:1回、参加者数:24人以上) ●「交通安全絵のコンクール」の実施による児童・保護者等の交通安全意識の醸成 ●小学生の絵画を利用した路面啓発シートの設置による自転車放置防止(更新または新設:1箇所) | <ul style="list-style-type: none"> ●スクエア・ストリート方式の交通安全教室(実施日:10月16日、11月28日、2月26日) ●小学生・高齢者・PTA等を対象とした交通安全教室の開催(回数:97回、参加人数:5,517人) ●川崎区子ども自転車大会の開催(応募者数:32人)【雨天中止】 ●「交通安全絵のコンクール」の実施(応募総数:1,448点) ●八丁畷駅周辺の歩道表面に、小学生作成の絵画を使用した路面啓発シートを設置(更新:1箇所、枚数:64枚) | 4,376 | 4,039 | 3 | | |
| | | | | 4,621 | 4,194 | 3 | | |
| | | | | 4,346 | 4,224 | 3 | | |
| | 4,621 | | | | | | | |
| | その他の取組の実績等 | <ul style="list-style-type: none"> ●交通安全関連団体と連携した啓発キャンペーンの実施(実施回数:19回) ●川崎駅東口周辺における市民ボランティア団体等と連携した自転車放置禁止等啓発活動及び自転車マナー啓発活動を実施(回数:原則平日実施) ●鉄道駅周辺自転車等放置禁止区域内での撤去活動の実施(実施回数:月曜を除く平日実施) | | | | | | |
| | ①成果 | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| | スクエア・ストリート方式の交通安全教室や小学生・高齢者・PTA等を対象とした交通安全教室の開催等による自転車事故の防止に向けた啓発活動を推進するとともに、小学生の絵画を利用した路面啓発シートの設置や川崎駅東口周辺における市民ボランティア団体等と連携した自転車放置禁止等啓発活動及び自転車マナー啓発活動の実施により、自転車対策を推進しました。 | 小学生・高齢者・PTA等を対象とした交通安全教室の開催回数 | 目標 | 80 | 80 | 80 | 80 | 回 |
| | | 指標の説明 | 小学生・高齢者・PTA等を対象とした交通安全教室の開催回数 | 実績 | 93 | 91 | 97 | |
| | ①成果や②指標を踏まえた評価 | スクエア・ストリート方式の交通安全教室や小学生・高齢者・PTA等を対象とした交通安全教室の開催等による自転車事故の防止に向けた啓発活動を推進するとともに、小学生の絵画を利用した路面啓発シートの設置や川崎駅東口周辺における市民ボランティア団体等と連携した自転車放置禁止等啓発活動及び自転車マナー啓発活動を実施することで自転車等放置禁止区域及び区域外における放置自転車の防止に向けた環境整備が図られたことから、交通安全と自転車対策の推進に一定の効果があったと考えます。 | | | | | | |
| 7 | 区役所サービス向上事業 | <ul style="list-style-type: none"> ●サービス向上委員会や職員研修の開催による区役所サービス向上の取組の推進 ●窓口対応におけるTV通訳システム等の活用による円滑なサービスの提供 | <ul style="list-style-type: none"> ●サービス向上委員会(開催回数:6回)や職員研修(開催回数:4回)の開催 ●来庁した外国につながる住民に向けた窓口対応におけるTV通訳システム・AI通訳システム(TV通訳:220件、AI通訳:1,341件)、ポテトークの活用による翻訳の実施 | 1,105 | 822 | 3 | | |
| | | | | 1,103 | 906 | 3 | | |
| | | | | 1,105 | 1,004 | 3 | | |
| | その他の取組の実績等 | <ul style="list-style-type: none"> ●窓口混雑時の快適な待ち時間の過ごし方の実現による利用者満足度の向上に向け、川崎区地域デザイン会議での区民の意見を基にした改善策の検討 ●区民課フロアにおいて、来庁者が目的の窓口スムーズに行くことができるよう、案内サインを新たに設置 ●区役所総合案内における多言語による各種区役所業務及び暮らしの情報が行政手続きなど生活全般に関する相談対応・通訳を実施 | | | | | | |
| | ①成果 | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| | サービス向上委員会や職員研修の開催、「サービス向上目標」に基づいた各組織での取組の実施や川崎区地域デザイン会議を通じた快適な待ち時間の過ごし方の検討など、より質の高い区役所サービスの提供に向けた取組を進めるとともに、来庁外国人住民とのやりとりを支援するTV通訳システム等の活用により、窓口対応の円滑化を図りました。 | 区役所を利用した人が区役所サービスに満足した割合 | 目標 | — | 99 | — | 99 | % |
| | | 指標の説明 | 区役所を利用した人が区役所サービスに満足した割合 | 実績 | 98.8 | | | |
| | ①成果や②指標を踏まえた評価 | <ul style="list-style-type: none"> ●サービス向上委員会や職員研修の開催、「サービス向上目標」に基づいた各組織での取組の実施等が質の高い区役所サービスの提供に寄与しているとともに、案内サインの改善、川崎区の特性でもある多くの来庁外国人住民とのやりとりを支援するTV通訳システム等が区役所窓口で広く活用され、窓口対応の円滑化が図られたことから、区役所サービスの向上に一定の成果があったと考えます。 ●窓口混雑時の快適な待ち時間の過ごし方をテーマに川崎区地域デザイン会議を開催し、区民の意見を踏まえた取組の検討・実施を行ったことで、更なる区役所サービス向上に向けた取組の推進に寄与したと考えます。 | | | | | | |
| その他の取組 | 取組内容の実績等 | | 成果 | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●川崎区ゆかりの選手のパリ2024オリンピック出場に伴う応援イベントの実施 ●八丁畷駅前支障樹木伐採の実施 ●いきいきかわさき区提案事業(6事業)の実施 | | <ul style="list-style-type: none"> ●パリ2024オリンピックに出場を決めた川崎区ゆかりの卓球選手2名を応援するため、公共施設での横断幕の掲出や区民からの応援メッセージの募集により、区民の応援への機運を高めるとともに、区への愛着や誇りの醸成を図ることができました。 ●東海道の史跡である芭蕉の句碑の敷地及び投句箱設置用地の繁茂した樹木について、鉄道運行への影響や構築物の倒壊を防ぐため、樹木を伐採し、安全を確保しました。 ●防災意識の向上や外国につながる高校生・若者のキャリア支援等、様々な地域課題の解決に向けた取組を、地域活動団体と区役所が協働で実施し、課題の解決を図りました。 | | | | | |
| 上記の取組内容に対する事務事業の総合的な達成度 | | 3 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った | | | | | |

| 3 地域課題の解決に向けた今後の方向性 | | |
|--|-----------------------------|---|
| 区分 | 主要な取組の評価や総合的な達成度を踏まえた今後の方向性 | |
| 地域課題の解決に向けて…… I 現在の取組をそのまま継続する II 取組を多少改善する必要がある III 取組を改善する必要がある IV 取組を抜本的に見直す必要がある | II | <ul style="list-style-type: none"> ●各取組において、それぞれ一定の成果がありました。今後も引き続き、「東海道川崎宿を活かしたまちづくりのワークショップ」の実施などにより地域が一体となったまちづくりを進めるとともに、外国人住民が市内最多であることなどを踏まえた取組や更なる高齢化に対応した川崎区らしい地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の推進や、市内最多の自転車関係事故発生件数を減らすための交通ルール遵守・マナーの向上を図るなど、改善を図りながら第3期実施計画(区計画)の着実な推進に向けて取り組んでいきます。 |

| 1 事業の概要 | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|--|---------|---------|---------|---------|--------------|--------|--------|--------|---|
| 政策体系上の位置づけ | 基本政策(1層) | | 誰もが生きがいを持てる市民自治の地域づくり | | | | | | | | | | |
| | 政策(2層) | | 参加と協働により市民自治を推進する | | | | | | | | | | |
| | 施策(3層) | | 共に支え合う地域づくりに向けた区役所機能の強化 | | | | | | | | | | |
| | 直接目標 | | 市民満足度の高い区役所サービスを提供する | | | | | | | | | | |
| 事務事業(4層) | 事務事業コード | | 事務事業名 | | | | | | | | | | |
| | 50103050 | | 地域課題対応事業(幸区) | | | | | | | | | | |
| 担当 | 組織コード | | 所属名 | | | | | | | | | | |
| | 631650 | | 幸区役所まちづくり推進部企画課 | | | | | | | | | | |
| 総合計画と連携する計画等 <small>かわさき強靱化計画 国際防災推進プラン 地域福祉計画 高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画 住宅基本計画 かわさき健康づくり 食育プラン 緑の基本計画 デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進プラン スポーツ推進計画 文化芸術振興計画 子どもの権利に関する行動計画</small> | | | | | | | | | | | | | |
| SDGsのゴール・ターゲットを意識した取組の方向性 | | 17  | 17.17 | 地域課題の解決に向けて区民の参加と協働により、取り組むことで「しあわせあふれるまち さいわい」を目指します。 | | | | | | | | | |
| 事業の概要(主要な取組) | | <ul style="list-style-type: none"> ●区民の参加と協働により、区の特性や独自性を活かした事業を実施し、活力あるまちづくりを推進します。 ・地域資源を活かしたまちづくりの推進 ・健康で安心して暮らし続けられるまちづくりの推進 ・安心して子育てできるまちづくりの推進 ・地域コミュニティ活性化の推進 ・安全で安心して暮らせるまちづくりの推進 ・区役所サービス向上事業 | | | | | | | | | | | |
| 行財政改革第3期プログラムに関連する課題名 | | | 改革項目 | | | | 課題名 | | | | | | |
| 取組3(1)多様な主体との協働・連携によるまちづくりの推進 | | | 16・多様な主体の参加と協働によるコミュニティ施策の推進 | | | | | | | | | | |
| 取組3(1)多様な主体との協働・連携によるまちづくりの推進 | | | 17・多様な主体の参加と協働による地域包括ケアシステムの推進 | | | | | | | | | | |
| 取組3(1)多様な主体との協働・連携によるまちづくりの推進 | | | 18・「御幸公園梅香事業」による市民や企業等、多様な主体との連携・協働の強化 | | | | | | | | | | |
| 取組3(2)区役所機能の強化 | | | 4・区役所サービスの向上に向けた取組の推進 | | | | | | | | | | |
| 取組3(3)地域防災力の向上に向けた連携 | | | 3・地域防災力の強化に向けた取組の推進 | | | | | | | | | | |
| 取組4(2)行財政運営上の課題解決に必要な人材の育成 | | | 7・更なる区役所サービス向上に向けた人材育成の推進 | | | | | | | | | | |
| 取組4(2)行財政運営上の課題解決に必要な人材の育成 | | | 8・災害対応力の向上に向けた職員の人材育成 | | | | | | | | | | |
| 予決算 (単位:千円) | 年度 | R4年度 | | R5年度 | | R6年度 | | | R7年度 | | | | |
| | | 事業費 A | 63,708 | 51,695 | 60,411 | 66,728 | 54,140 | 62,707 | 71,017 | 56,009 | 59,581 | 66,351 | |
| | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - |
| | | 市債 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - |
| | | その他特財 | 4,246 | - | 4,246 | 778 | - | 4,246 | 770 | - | 4,246 | 820 | - |
| | | 一般財源 | 59,462 | - | 56,165 | 65,950 | - | 58,461 | 70,247 | - | 55,335 | 65,531 | - |
| | 人件費 B | 74,468 | 74,468 | 69,820 | 69,820 | 69,820 | 59,041 | 59,041 | 59,041 | 0 | 0 | 0 | |
| | 総コスト(A+B) | 138,176 | 126,163 | 130,231 | 136,548 | 123,960 | 121,748 | 130,058 | 115,050 | 59,581 | 66,351 | 0 | |
| | 人工(単位:人) | 8.84 | | 8.19 | | 6.87 | | | | | | | |
| | ※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出 | | | | | | | | | | | | |
| 2 主要な取組の実施結果 | | | | | | | | | | | | | |
| 番号 | 主要な取組 | 今年度の主要な取組内容 | 主要な取組内容の実績等 | 事業費(千円) | | 達成度 | | | | | | | |
| | | | | 予算額 | 決算額 | | R4年度 | R5年度 | R6年度(決算額は見込) | R7年度 | 単位 | | |
| 1 | 地域資源を活かしたまちづくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ●地域住民や学校等との協働による御幸公園の維持管理等の実施(梅香サポーター新規参加人数:2人) ●花苗等の配布を通じた緑化活動団体の支援(配布団体数:40団体) ●区民が身近で気軽に良質な生の音楽を楽しめる夢こんさあとの開催(来場者数:320人) ●科学体験イベント「科学とあそぶ幸せな一日」の実施(参加人数:1300人) ●鉄道ビュースポット等の区の魅力発信イベントの実施 | <ul style="list-style-type: none"> ●地域住民や学校等との協働による御幸公園の維持管理等の実施(梅香サポーター新規参加人数:8人) ●緑化活動団体への花苗配布を通じた支援(配布団体数:40団体) ●夢こんさあとの開催(来場者数:1,120人) ●「科学とあそぶ幸せな一日」の実施(参加人数:約1,500人) ●区の鉄道に関連したイベント「鉄道でハグくむ幸2024」の開催(参加人数:約2,400人) | 24,269 | 25,430 | 3 | | | | | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●市制100周年を記念し、神奈川県警察音楽隊がゲスト出演した「さいわいハニズコンサート」の開催(参加人数:850人) ●転入者等へ生活に必要な情報を提供し、地域理解を促進する「さいわいガイドマップ」の発行(11,000部) ●川崎駅西口周辺の地域資源を活かしたイベント「さいわいにぎわいフェス」の開催 ●市制100周年及び全国都市緑化かわさきフェア開催にあたり、区内で開催される様々なイベントにおいて花手水を設置 | 30,152 | 27,213 | 3 | | | | | | | | |
| | その他の取組の実績等 | | | 35,895 | 28,099 | 3 | | | | | | | |
| | | | | 33,343 | | | | | | | | | |
| | ①成果 | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 | | | | | |
| | 地域との協働による公園の維持管理や観梅会を通じた御幸公園の魅力向上、緑化活動団体への花苗配布による区民同士の交流促進及び緑化意識の向上、研究開発施設等や鉄道ビュースポットが多数集まる区の特徴を活かしたイベント等の実施により、区の地域資源を活用したまちの魅力発信・活性化を図りました。 | 科学体験イベント「科学と遊ぶ幸せな一日」の参加者人数 | 目標 | 300 | 1,300 | 1,300 | 1,300 | 人 | | | | | |
| | | 指標の説明 数値は単年度ごとの、年間の参加人数 | 実績 | 223 | 1,300 | 1,500 | | | | | | | |
| | ①成果や②指標を踏まえた評価 | 地域資源を活用した御幸公園の観梅会、鉄道イベント等を開催したほか、研究施設や企業等との連携による子ども向け科学体験イベントにおいては、目標を超えた参加があり、当日のイベントのほかにホームページ上で楽しめるコンテンツを40以上用意するなど、イベント実施において創意工夫を凝らし、子どもたちが科学技術を体験的に学ぶ機会を創出するとともに、科学を通じた地域の結びつきを大きく深めることができたことから、地域資源を活かしたまちの魅力発信・活性化に一定の成果があったと考えます。 | | | | | | | | | | | |

| 番号 | 主要な取組 | 今年度の主要な取組内容 | 主要な取組内容の実績等 | 事業費(千円) | | 達成度 | | |
|---|-------------------------|---|--|---------|-------|------|------|----|
| | | | | 予算額 | 決算額 | | | |
| | | | | R4年度 | | | | |
| | | | | R5年度 | | | | |
| | | R6年度(決算額は見込) | | R7年度 | | | | |
| 2 | 健康で安心して暮らし続けられるまちづくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 近所支え愛事業や地域特性を活かした自助・互助活動の支援の実施(37地域) ● 健康づくり普及啓発講演会を通じた区民への健康づくりおよび地域づくり活動への支援の実施(実施回数:1回) ● 「保健福祉情報さいわい」の発行による保健福祉の効果的な情報発信(発行:2回) ● 動物愛護及び適正飼養に関するリーフレット配布(配布部数:1,200枚) | <ul style="list-style-type: none"> ● 近所支え愛事業や自助・互助活動の支援の実施(37地域) ● 健康づくり普及啓発講演会の開催(実施回数:1回) ● 「保健福祉情報さいわい」の発行(2回・全戸配布) ● 動物愛護及び適正飼養に関するリーフレット配布(配布部数:1,202枚) | 6,137 | 4,024 | 3 | | |
| | | | | 5,874 | 4,541 | 3 | | |
| | その他の取組の実績等 | | <ul style="list-style-type: none"> ● 「大人のためのさいわい健康BOOK」の改訂及び配布(500部) ● 幸区総合防災訓練においてペットの同行避難に関する普及啓発を実施(実施回数:2回) | 5,243 | 4,515 | 3 | | |
| | 4,640 | | | | | | | |
| ①成果 | | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| 近所支え愛事業や自助・互助活動の支援の実施による地域包括ケアシステムの構築、地域活動者交流会や講演会の開催による健康づくりの普及啓発、「大人のためのさいわい健康BOOK」、「保健福祉情報さいわい」及び「動物愛護及び適正飼養に関するリーフレット」等の発行による効果的な情報発信などにより、健康で安心して暮らし続けられるまちづくりの推進を図りました。 | | 近所支え愛事業や地域特性を活かした自助・互助活動の支援の実施地域数 | 目標 | 32 | 34 | 37 | 40 | 地域 |
| | | 指標の説明 | 実績 | 32 | 34 | 37 | | |
| ①成果や②指標を踏まえた評価 | | 地域包括ケアシステムの構築に向けて、地区単位で進む地域づくりの取組状況を共有しつつ、近所支え愛事業の各部会長から部会に関する実情や課題について個別にヒアリングを行い、関係機関とも情報交換をするなど見守り支え合う地域づくりを進めるとともに、毎年度発行している「大人のためのさいわい健康BOOK」の内容精査・改訂を行い、効果的な情報発信を実施することができたことから、健康で安心して暮らし続けられるまちづくりが進んでいると考えます。 | | | | | | |
| 3 | 安心して子育てできるまちづくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 子ども総合支援ネットワーク会議の開催によるネットワークの強化(開催数:2回) ● 「おこさまがさいわい」の発行による子ども・子育て情報の発信(発行部数:6,800部) ● 保育施設紹介映像の制作・配信 ● 区内保育所等における子育て世帯の各種講座の実施(参加人数:730人) | <ul style="list-style-type: none"> ● 幸区子ども総合支援ネットワーク会議(2回)の開催 ● 「おこさまがさいわい」の発行(6,800部) ● 保育施設紹介映像の制作・配信(14園) ● 子育て世帯への各種講座の実施(参加人数:732人) | 8,867 | 6,444 | 3 | | |
| | | | | 7,831 | 5,926 | 3 | | |
| | その他の取組の実績等 | | <ul style="list-style-type: none"> ● みんなで子育てフェアの開催(参加人数約:1,200人) ● こどもの外遊び事業の実施(参加人数:1,651人) ● 子ども発達支援保護者学習会の開催(年9回、参加人数:140人) | 7,114 | 6,100 | 3 | | |
| | 6,957 | | | | | | | |
| ①成果 | | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| 子ども総合支援ネットワーク部会の開催による子育て支援団体同士の情報共有と連携強化を図るとともに、子育て世代への各種講座の開催や、「おこさまがさいわい」の発行・保育施設紹介等映像の制作など、映像やリーフレットを活用した多様な保育事業の情報提供などにより、安心して子育てできるまちづくりを推進しました。 | | 「幸区子ども総合支援ネットワーク会議」の開催回数 | 目標 | 2 | 2 | 2 | 2 | 回 |
| | | 指標の説明 | 実績 | 2 | 2 | 2 | | |
| ①成果や②指標を踏まえた評価 | | 子ども総合支援ネットワーク会議やみんなで子育てフェアの開催により地域全体で子育てを支援する環境づくりを推進するとともに、「おこさまがさいわい」の発行や子ども外遊び事業の実施を通じて子ども・子育て支援を実施したほか、保育施設紹介映像の作成・配信及び川崎認定保育施設紹介リーフレットの更新による多様な保育事業の情報発信、子育て世帯向けの各種講座の開催などにより、安心して子育てできるまちづくりが進んでいると考えます。 | | | | | | |
| 4 | 地域コミュニティ活性化の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 地域活性化のための交流イベント「さいわい縁むす日」の開催(実施回数:1回) ● 多様な主体の連携によるハラスポーツ大会等の実施(体験人数:2,000人) ● 市民活動団体同士の交流を促進し活動を広げるための幸区市民活動交流イベントの実施(来場者数:350人) ● 区民同士の交流促進の取組の実施(参加人数:2,000人) | <ul style="list-style-type: none"> ● 「さいわい縁むす日」の開催(実施回数:1回) ● ハラスポーツ大会等のハラスポーツ体験の実施(体験人数:約2,500人) ● 市民活動交流イベント「はび★フェス」の実施(来場者数:375人) ● 市民館における区民同士の交流促進の取組の実施(参加人数:3,346人) | 5,650 | 4,996 | 3 | | |
| | | | | 5,874 | 4,673 | 3 | | |
| | その他の取組の実績等 | | <ul style="list-style-type: none"> ● 区民祭の開催支援(参加団体数:103団体) ● 町内会・自治会等の活性化講座の実施(実施回数:1回、参加人数:69人) ● 多文化フェスタの開催(来場者数:700人) | 6,097 | 5,149 | 3 | | |
| | 7,510 | | | | | | | |
| ①成果 | | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| 多様な団体との連携により開催した「さいわい縁むす日」を通じた地域のつながりづくり、ハラスポーツ体験会等によるスポーツを通じた地域交流、市民活動団体の交流イベントの開催などにより、地域コミュニティの活性化を図りました。 | | 地域活性化のための交流イベント「さいわい縁むす日」の開催 | 目標 | 1 | 1 | 1 | 1 | 回 |
| | | 指標の説明 | 実績 | 1 | 1 | 1 | | |
| ①成果や②指標を踏まえた評価 | | これまで地域への関心や関わりがあまりなかった方が地域活動に参加しやすくなるきっかけを創出することを目的とした「さいわい縁むす日」を、設立間もない大型マンション自治会等とともに実施したことにより、町内会・自治会等との連携を推進したほか、ハラスポーツ体験会や「幸区ポッチャ大会」によるスポーツを通じた地域交流を促進や、市民活動団体の交流イベントの開催による活動支援、多文化フェスタの開催を通じた多文化共生意識の醸成などにより、地域コミュニティの活性化が推進されていると考えます。 | | | | | | |
| 5 | 安全で安心して暮らせるまちづくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 避難所運営会議の実施(実施回数:23回) ● 避難所開設・運営訓練の実施(実施回数:23回) ● 幸区災害対策協議会(部会を含む)を中心とした防災対策の推進(開催回数:9回) ● 小学校等での交通安全教室の実施(実施回数:60回) ● 安全・安心街頭キャンペーンの実施(実施回数:2回) | <ul style="list-style-type: none"> ● 避難所運営会議の実施(実施回数:23回) ● 避難所開設・運営訓練の実施(実施回数:23回) ● 幸区災害対策協議会及び各部会の開催(書面開催含む9回) ● 交通安全教室の実施(実施回数:80回) ● 安全・安心街頭キャンペーンの実施(実施回数:2回) | 8,176 | 6,023 | 3 | | |
| | | | | 8,249 | 4,804 | 3 | | |
| | その他の取組の実績等 | | <ul style="list-style-type: none"> ● 各種訓練の実施(参加人数:1,688人) ● 自主防災組織等活性化講座(参加人数:119人) ● 新たに幸警察署と連携した徘徊高齢者における同報系無線の活用を開始 | 4,829 | 3,445 | 3 | | |
| | 5,195 | | | | | | | |
| ①成果 | | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| 幸区災害対策協議会の開催を通じた分野別の対応策の協議・検討や避難所開設・運営訓練の実施、スクエアドストリート・自転車シミュレーター・交通安全VR等を活用した交通安全教室の実施、安全・安心街頭キャンペーンの実施などにより、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進しました。 | | 避難所開設・運営訓練の実施回数 | 目標 | 23 | 23 | 23 | 23 | 回 |
| | | 指標の説明 | 実績 | 21 | 23 | 23 | | |
| ①成果や②指標を踏まえた評価 | | 区内全避難所(23か所)における開設・運営訓練や帰宅困難者対策訓練など各種訓練の実施等により地域防災力の強化を図るとともに、学校等の各施設・団体に対し、スクエアドストリート、自転車シミュレーター、交通安全VRなどの多様なメニューを用意した交通安全教室を目標を大きく超える回数を実施し、幅広い世代に対し交通安全の意識を向上することができました。また、警察署と連携し、徘徊高齢者の捜索等における同報系防災無線の活用に向けた新たな運用の構築を行ったことにより、今まで以上に安全で安心して暮らせるまちづくりが推進されていると考えます。 | | | | | | |

| 番号 | 主要な取組 | 今年度の主要な取組内容 | 主要な取組内容の実績等 | 事業費(千円) | | 達成度 | | |
|-------------------------|---|--|--|---|-------|------|------|----|
| | | | | 予算額 | 決算額 | | | |
| 6 | 区役所サービス向上事業 | <ul style="list-style-type: none"> ●幸区役所サービス品質向上推進委員会ワーキンググループの開催(開催数:6回) ●「さいわい広報特別号」の発行による区政情報の発信(発行回数:1回) | <ul style="list-style-type: none"> ●幸区役所サービス品質向上推進委員会ワーキンググループの開催(開催数:6回) ●「さいわい広報特別号」の発行による区政情報の発信(発行回数:1回) | 3,206 | 1,790 | 3 | | |
| | | | | 1,345 | 1,582 | 3 | | |
| | | | | 4,051 | 3,350 | 3 | | |
| | | | | 912 | | | | |
| | その他の取組の実績等 | ●幸区公式YouTube・Instagramを活用した情報発信 | | | | | | |
| | ①成果 | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| | 幸区役所サービス品質向上委員会ワーキンググループの開催や研修を通じた職員の接遇力向上、広報特別号の発行などによる区政情報の発信により、区役所サービスの向上を図りました。 | 幸区役所サービス品質向上委員会ワーキンググループの開催 | 目標 | 6 | 6 | 6 | 6 | 回 |
| | | 指標の説明 | 実績 | 6 | 6 | 6 | | |
| | ①成果や②指標を踏まえた評価 | | | | | | | |
| | 幸区役所サービス品質向上推進委員会ワーキンググループの開催や接遇力向上に向けた研修を実施するとともに、広報特別号の発行や幸区公式YouTubeやInstagramを活用などにより、情報発信の強化と充実化を図るなど、区役所サービスの向上が進んでいると考えます。 | | | | | | | |
| その他の取組 | 取組内容の実績等 | | | 成果 | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●日吉出張所内の「夢見ヶ崎動物公園魅力発信コーナー(「ゆめみZOOテラス」)」の体制充実を図るため、必要な備品の調達を行いました。 ●幸区役所花壇付近のベンチの緊急補修を行いました。 ●さいわい緑道(河原町団地 地区)の雨水排水樹の緊急補修を行いました。 ●市民提案型協働推進事業について、4事業を実施しました。 | | | <ul style="list-style-type: none"> ●来庁者の休憩用の机・椅子や、広報や展示用として使用できるパーテーションを購入し、区民が利用しやすい施設整備を行うことで、区の地域資源である夢見ヶ崎動物公園の魅力発信機能を充実させました。 ●台風や猛暑の影響により劣化が進み、一時的に使用不可となっていたベンチを補修することで、区民の憩いのスペースを確保しました。 ●雨水排水樹の補修を行ったことで、公園管理運営協議会の活動及び公園利用者の通行の安全性を確保しました。 ●区民との協働による新たな事業として、座ってできる音楽ケア体操を複数回実施し、認知症予防やシニア世代の居場所作りにつなげるなど、地域課題の解決に向けて取り組むことができました。 | | | | |
| 上記の取組内容に対する事務事業の総合的な達成度 | | | 3 | 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った | | | | |

| 3 地域課題の解決に向けた今後の方向性 | |
|--|---|
| 区分 | 主要な取組の評価や総合的な達成度を踏まえた今後の方向性 |
| 地域課題の解決に向けて…… I 現在の取組をそのまま継続する II 取組を多少改善する必要がある III 取組を改善する必要がある IV 取組を抜本的に見直す必要がある | II <ul style="list-style-type: none"> ●各取組について、それぞれ一定の成果があり、引き続き、状況に応じた取組の改善を行いながら、地域で活動する多様な主体との連携や、区独自の地域資源を活用した取組等の推進など、区の抱える多様な地域課題に対応していきます。特に各事業で作成している啓発や周知を目的とした冊子・リーフレット・広報特別号等については、デジタル化の推進など、より効果的な情報発信の手法を工夫し実施していきます。 ●主要な取組5の「安全で安心に暮らせるまちづくりの推進」については、能登半島地震の発生や南海トラフ地震発生確率の引き上げなどにより、地域からもさらなる地域防災力の向上が求められていると考えられることから、基本、事業の目的や方向性は維持するものの、必要に応じ適時適切な見直し、改善を行いながら、引き続き事業を実施していきます。 |

令和6年度 事務事業評価シート(地域課題対応事業用)

中原区

| 1 事業の概要 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|----------|---------|-------------------------|---------|---------|-----------------------------------|---------|---------|---------|---------|--------|--------|-----|--|--|--|--|-----|--|--|--|--|--|-------------------------------|--|--|--|--|--|------------------------------|--|--|--|--|--|-------------------------------|--|--|--|--|--|-----------------------------------|--|--|--|--|--|----------------|--|--|--|--|--|---------------------------|--|--|--|--|--|----------------------|--|--|--|--|--|----------------|--|--|--|--|--|----------------------------|--|--|--|--|--|---------------------------|--|--|--|--|--|----------------------------|--|--|--|--|--|------------------------|--|--|--|--|--|
| 政策体系上の位置づけ | 基本政策(1層) | | 誰もが生きがいを持てる市民自治の地域づくり | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 政策(2層) | | 参加と協働により市民自治を推進する | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 施策(3層) | | 共に支え合う地域づくりに向けた区役所機能の強化 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 直接目標 | | 市民満足度の高い区役所サービスを提供する | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業(4層) | 事務事業コード | | 事務事業名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 50103060 | | 地域課題対応事業(中原区) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 担当 | 組織コード | | 所属名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 651650 | | 中原区役所まちづくり推進部企画課 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総合計画と連携する計画等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| かわさき強靱化計画,国際施策推進プラン,住宅基本計画,緑の基本計画,デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進プラン,スポーツ推進計画,文化芸術振興計画,子どもの権利に関する行動計画 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| SDGsのゴール・ターゲットを意識した取組の方向性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|  17.17 市民や団体、企業、学校など、地域の様々な主体との協働により、地域活性化に向けたコミュニティづくりや地域包括ケアシステムの構築、安全・安心なまちづくり、子育て支援など、地域課題の解決に向けた取組を推進します。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の概要(主要な取組) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ●区役所が主体となって、区民の参加と協働により、地域の身近な課題解決や魅力ある地域資源を活かした事業・取組を進めます。 ・地域活性化に向けたコミュニティづくりの推進 ・安全・安心なまちづくりの推進 ・人と人との出会いを橋わたしする地域福祉の活性化 ・区民と協働したこども支援の推進 ・スポーツ・文化資源・みどりなどの地域資源を活用したまちづくりの推進 ・区役所サービスの環境改善 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 行財政改革第3期プログラムに関連する課題名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">改革項目</th> <th colspan="6">課題名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6">取組3(1)多様な主体との協働・連携によるまちづくりの推進</td> <td colspan="6">19・多様な主体の参加と協働によるコミュニティ施策の推進</td> </tr> <tr> <td colspan="6">取組3(1)多様な主体との協働・連携によるまちづくりの推進</td> <td colspan="6">20・多様な主体の参加と協働による地域包括ケアシステムの取組の推進</td> </tr> <tr> <td colspan="6">取組3(2)区役所機能の強化</td> <td colspan="6">5・中原区役所窓口混雑緩和・サービス環境改善の推進</td> </tr> <tr> <td colspan="6">取組3(3)地域防災力の向上に向けた連携</td> <td colspan="6">4・総合的な地域防災力の向上</td> </tr> <tr> <td colspan="6">取組4(2)行財政運営上の課題解決に必要な人材の育成</td> <td colspan="6">9・更なる区役所サービス向上に向けた人材育成の推進</td> </tr> <tr> <td colspan="6">取組4(2)行財政運営上の課題解決に必要な人材の育成</td> <td colspan="6">10・災害対応力の向上に向けた職員の人材育成</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | | | | | | | | 改革項目 | | | | | | 課題名 | | | | | | 取組3(1)多様な主体との協働・連携によるまちづくりの推進 | | | | | | 19・多様な主体の参加と協働によるコミュニティ施策の推進 | | | | | | 取組3(1)多様な主体との協働・連携によるまちづくりの推進 | | | | | | 20・多様な主体の参加と協働による地域包括ケアシステムの取組の推進 | | | | | | 取組3(2)区役所機能の強化 | | | | | | 5・中原区役所窓口混雑緩和・サービス環境改善の推進 | | | | | | 取組3(3)地域防災力の向上に向けた連携 | | | | | | 4・総合的な地域防災力の向上 | | | | | | 取組4(2)行財政運営上の課題解決に必要な人材の育成 | | | | | | 9・更なる区役所サービス向上に向けた人材育成の推進 | | | | | | 取組4(2)行財政運営上の課題解決に必要な人材の育成 | | | | | | 10・災害対応力の向上に向けた職員の人材育成 | | | | | |
| 改革項目 | | | | | | 課題名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取組3(1)多様な主体との協働・連携によるまちづくりの推進 | | | | | | 19・多様な主体の参加と協働によるコミュニティ施策の推進 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取組3(1)多様な主体との協働・連携によるまちづくりの推進 | | | | | | 20・多様な主体の参加と協働による地域包括ケアシステムの取組の推進 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取組3(2)区役所機能の強化 | | | | | | 5・中原区役所窓口混雑緩和・サービス環境改善の推進 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取組3(3)地域防災力の向上に向けた連携 | | | | | | 4・総合的な地域防災力の向上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取組4(2)行財政運営上の課題解決に必要な人材の育成 | | | | | | 9・更なる区役所サービス向上に向けた人材育成の推進 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取組4(2)行財政運営上の課題解決に必要な人材の育成 | | | | | | 10・災害対応力の向上に向けた職員の人材育成 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 予決算 (単位:千円) | 年度 | | R4年度 | | R5年度 | | R6年度 | | | R7年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額(見込) | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 事業費 A | | 54,998 | 46,611 | 57,106 | 60,414 | 49,523 | 52,849 | 68,981 | 57,585 | 51,023 | 52,917 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 財源内訳 | 国庫支出金 | 1,000 | - | 1,000 | 1,200 | - | 1,000 | 3,700 | - | 1,000 | 0 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 市債 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | その他特財 | 599 | - | 599 | 607 | - | 599 | 600 | - | 599 | 849 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 一般財源 | 53,399 | - | 55,507 | 58,607 | - | 51,250 | 64,681 | - | 49,424 | 52,068 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 人件費 B | | 118,189 | 118,189 | 123,272 | 123,272 | 123,272 | 136,988 | 136,988 | 136,988 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総コスト(A+B) | | 173,187 | 164,800 | 180,378 | 183,686 | 172,795 | 189,837 | 205,969 | 194,573 | 51,023 | 52,917 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 人工(単位:人) | | 14.03 | | 14.46 | | 15.94 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

2 主要な取組の実施結果

| 番号 | 主要な取組 | 今年度の主要な取組内容 | 主要な取組内容の実績等 | 事業費(千円) | | 達成度 | | |
|----|---|--|--|---------|--------|------|------|----|
| | | | | 予算額 | 決算額 | | | |
| 1 | 地域活性化に向けたコミュニティづくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ●企業・住民との共創による愛着づくりの取組の推進 ●官民連携による公共空間の利活用、維持管理の促進と、地域住民の利活用の促進 ●なかはらメディアネットワーク(NMN)と連携した地域情報の発信(42件以上) ●「なかはらっば祭り」の開催(1回) | <ul style="list-style-type: none"> ●企業・住民との共創による愛着づくりの取組の推進 ①小杉駅周辺の地域課題やコミュニティ形成に関する検討会議の開催 武蔵小杉エリアプラットフォーム全体会(開催回数1回、参加団体数14団体)コスギコミュニティ推進会議(開催回数1回、参加人数11名) ②商業施設と連携した小学生を対象とした絵画コンテストの実施。(応募総数288点) ③公共的空間を活用した子ども向け外遊びイベント「こすぎでそとあそび@コスギサード アヴェニュー」の実施。(開催回数1回) ●官民連携による公共空間の利活用、維持管理の促進と地域住民の利活用の促進 ①武蔵小杉エリアプラットフォームによるこすぎコアパークの利活用に関する社会実験での調整支援の実施(利活用調整支援件数:20件) ②過去の社会実験のデータの分析結果等から、武蔵小杉駅周辺エリアにおける居心地が良く歩きたくなるまちづくりの実現に向けた最適な施策の検討を行い、関係局(まちづくり局・建設緑政局)と庁内会議で共有。 ●メディア各社と連携した地域情報番組の放送や地域情報紙への区内のイベント等掲載(発信件数:46件) ●なかはらっば祭りについて、中原市民館及び大型商業施設の2か所で回遊式のイベントとして同時開催し、46の地域活動団体の活動紹介のパネル展示、ワークショップ、ステージ、スタンプラリーなどを実施。当日及び事前に開催したパネル展示を実施し、延べ約5,300人が来場(開催回数:1回)。 | 12,418 | 11,539 | 3 | | |
| | | | | 10,997 | 5,971 | 3 | | |
| | | | | 12,477 | 9,564 | 3 | | |
| | | | | 8,906 | | | | |
| | その他の取組の実績等 | <ul style="list-style-type: none"> ●市政だより中原区版の編集、区のホームページへの情報掲載による広報 ●区民アンケートの実施(調査票配布数:1,000件・有効回収数:478件) | | | | | | |
| | ①成果 | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| | イベント等を通じ、地域団体・企業等と連携した地域への愛着づくりができました。また、官民連携による武蔵小杉エリアプラットフォームへ参画し、こすぎコアパーク利活用に関する社会実験の支援を通じて、利活用に関する手続きや調整についての円滑化を図ることができました。ラジオ広報番組「Enjoy★なかはら」では、地域で活動されている方や区内企業等が24組出演し、地域情報や各種取組について発信、ケーブルテレビ広報番組「なかはらスマイル」では、区内のイベント、各種事業の様子、区からのお知らせ等を毎月放送(12回)、地域情報誌タウンニュースでは、区役所の取組についての広報記事を10件掲載するなど、地域への愛着心の醸成や地域活性化に向けたコミュニティづくりを推進しました。 | なかはらメディアネットワーク(NMN)と連携した地域情報の発信 | 目標 | 42 | 42 | 42 | 42 | 件 |
| | | 指標の説明 | 実績 | 45 | 47 | 46 | | |
| | ①成果や②指標を踏まえた評価 | 市政だより中原区版の編集、区ホームページ、メールマガジン等のオウンドメディアの活用に加え、地域メディアを活用して効果的に地域情報や区の魅力を提供することにより、地域への愛着の醸成、コミュニティの活性化への一定の効果があつたものと考えます。 | | | | | | |
| 2 | 安全・安心なまちづくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ●避難所運営会議の自主運営に向けた支援(29回) ●改訂版中原区総合防災マップの作成、配布 ●感染症対策を前提とした避難所訓練の実施(29回以上) ●感染症対策を考慮した新たな手法による総合防災訓練の実施(2回) ●防犯資機材の貸与等 ●防犯パトロール実践講座(5回以上) | <ul style="list-style-type: none"> ●避難所運営会議への対面での支援を23箇所実施(23回)、開催できなかった6箇所については、役員体制及び避難所の鍵の管理状況を確認するとともに、次年度の避難所運営会議・訓練の開催予定について確認 ●中原区総合防災マップの作成、配布(1万部) ●感染症対策を考慮した避難所開設・運営訓練を21箇所実施(21回)、それ以外の8箇所は代替として、避難所開設の手引き、震災時の下水管確認要領を送付(8回) ●トイレ対策、在宅避難の広報、避難所開設訓練等の地震対応の総合防災訓練の実施(2回) ●防犯資機材の貸与等(8町会に帽子計43個・ベスト計38着・誘導灯計19個貸与) ●防犯パトロール実践講座を8町会で実施(3回、うち6町会については、町会と講師等の日程調整を行い、合同で効率的に実施)。その他、街頭啓発を20回実施 | 4,867 | 4,375 | 4 | | |
| | | | | 8,889 | 11,324 | 4 | | |
| | | | | 11,810 | 8,488 | 4 | | |
| | | | | 9,950 | | | | |
| | その他の取組の実績等 | <ul style="list-style-type: none"> ●青色防犯パトロール(令和6年度100回以上実施) ●中原区わんわんパトロール登録(令和7年3月末現在、230件登録) ●区役所等サイネージによる特殊詐欺防止等防犯の注意喚起、こどもの防犯力向上のための安全マップづくりを実施(7回) ●区本部要員が参加する区本部訓練、保健衛生・福祉班による運営訓練、風水害時の避難所管理要員に向けた研修を実施 ●帰宅困難者対応に向けた情報伝達訓練、一時滞在施設開設の誘導訓練を実施 ●武蔵小杉駅周辺地域エリア防災計画の改定の資料とするため、高層マンション住民向けのアンケート調査を実施 | | | | | | |
| | ①成果 | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| | 避難所運営会議等を通して、防災関係団体との関係を強化するとともに、区総合防災訓練の実施によって、地域防災力に加えて職員の災害対応力の向上につなげました。また、防犯パトロール実践講座や安全マップづくりにより地域防犯力や防犯意識を向上させました。 | 避難所運営会議の自主運営に向けた支援 | 目標 | 29 | 29 | 29 | 29 | 回 |
| | | 指標の説明 | 実績 | 20 | 21 | 23 | | |
| | ①成果や②指標を踏まえた評価 | 能登半島地震の教訓から、総合防災訓練では、災害時のトイレ対策を取り入れた訓練や避難所運営会議等による避難所開設訓練、要配慮者・ベツ等の受け入れ訓練も行うなど、地震対応の実践的な訓練が行われました。避難所運営会議の支援については、会議開催に向けて打合せを行う等の調整を実施しましたが開催に至らず、目標数には達しませんでした。役員体制等の確認を行うことで対応しました。引き続きすべての避難所運営会議の開催に向けて取り組みを強化していきます。また、防犯については、中原区わんわんパトロールの一斉パトロール実施や、防犯資機材の貸与などの多面的な取組を行うことで、地域の防犯力の向上に一定の成果があつたと考えます。 | | | | | | |

| 番号 | 主要な取組 | 今年度の主要な取組内容 | 主要な取組内容の実績等 | 事業費(千円) | | 達成度 | | | |
|--|-----------------------------------|---|---|---------|--------|------|------|------|----|
| | | | | 予算額 | 決算額 | | | | |
| | | | | R4年度 | | | | | |
| | | | | R5年度 | | | | | |
| R6年度(決算額は見込) | | R7年度 | | | | | | | |
| 3 | 人と人との出会いを橋わたす地域福祉の活性化 | <ul style="list-style-type: none"> ●地域の実情に合わせた地域包括ケアシステムに関する情報の発信、情報共有の推進 ●中原区地区カルテの活用・検証・改定 ●地域包括ケアシステムの推進に関する地域での対話の機会創出、地域課題解決の取組推進 ●中原区シニアのためのおでかけマップの作成、配布 ●なかほら福祉健康まつりの開催(1回) | <ul style="list-style-type: none"> ●高齢者のつながりづくりなどを目的とした「ご近所さんほ」を定期的に実施するとともに、対象地域を限定し発信する広報紙「Do?ご近所さんほ」を5回(約10,000部/回)発行 ●地域の力を交えた地区会議への参加や直接現場に赴き、地域の現状を把握し、最新の情報を地区カルテに反映。また、活用方法を検証し地区カルテの情報をピックアップして区内外で発信。 ●毎月のオンライン体験において、毎回地域で活動している方々に参加してもらい参加者同士のつながりづくりを実施。また、各地区の特性を考慮しながら地域活動を行っている方々と地区会議を実施(5回) ●中原区シニアのためのおでかけマップ(5,000部)及びマップの添付資料として使用しているおでかけ情報一覧(7,000部)を更新・配布 ●なかほら福祉健康まつりについて、新たな6団体を加え活性化を図るとともに、障害者関係ブースの出店等により障害への理解を促進(1回) | 2,280 | 709 | 3 | | | |
| | その他の取組の実績等 | <ul style="list-style-type: none"> ●地域包括ケアシステムネットワーク会議の開催(1回) ●健康づくり・介護予防グループ等の活動支援(42団体) ●地ケアコミュニティの連携促進の取組(幹事会開催等(7回)、地域マネジメント推進プロジェクトによる分野横断的な庁内体制の構築(9回)) ●地域の大人が子供との対話から気づきを得る「なかほらYOKUSURU会議」の開催(2回) ●区役所全体として地ケア、コミュニティに関する地域の現場に来訪・対話(GOTO現場)(38回) ●中原区在宅療養推進協議会と連携し、区民向けの在宅療養に関するセミナー(1回)、専門職向けの勉強会を開催(1回) | 2,330 | 2,070 | 3 | | | | |
| | | | | 2,489 | 2,267 | 3 | | | |
| | | | | 2,249 | | | | | |
| ①成果 | | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| ご近所さんほや地区会議、GOTO現場などで地域で活動する方々との対話・つながりの機会が増えたことで、市民ニーズを把握し、健康体験の支援や各種団体の活動の場の周知を実施することができ、地域活動の活性化に寄りました。(回数内訳:ご近所さんほ関係16回、なかほらYOKUSURU会議2回、名刺交換会1回、地区ブロック会議5回) | | 地域包括ケアシステムの構築に向けた地域での対話の場の回数 | | 目標 | 20 | 22 | 24 | 26 | 回 |
| | | 指標の説明 地域包括ケアシステムの構築に向けた地域での対話の場の回数 | | 実績 | 20 | 22 | 24 | | |
| ①成果や②指標を踏まえた評価 | | ご近所さんほの取組を通じて、町内会や地域活動をしている方との連携、広報紙の発行など、地域とのつながりの促進に寄りました。また、その他にも地区ブロック会議やオンライン体験、地域で活躍する大人と子どもを交えたなかほらYOKUSURU会議を開催するなど地域住民同士での対話の機会を数多く実施することで地域包括ケアシステムを推進し、併せて、コミュニティ施策と連携することで共生意識を醸成できたと考えます。 | | | | | | | |
| 4 | 区民と協働したことも支援の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ●民生委員児童委員などによる子育てサロンの運営支援(15か所) ●地域のボランティアにより実施される子育てふれあい広場の運営支援(3か所) ●中原区子育て支援推進実行委員会全体会の開催(2回) ●ホームページやSNSなどによる広報の実施 ●子育て情報ガイドブック「このゆびと〜まれ!」の作成・配布 ●武蔵小杉駅周辺の大型商業施設への広報物の配架 ●子育て支援に関心のある人を対象とした子育て支援者養成講座の開催(1回以上) | <ul style="list-style-type: none"> ●子育てサロンの運営支援を実施(15か所) ●子育てふれあい広場の運営支援(5か所) ●中原区子育て支援推進実行委員会全体会の開催(2回) ●ホームページや子育てアプリ、地域SNS等と連携した広報の充実 ●子育て情報ガイドブック(8,100部)や子育て情報リーフレット(9,000部)等の広報紙の作成・配布 ●子育て情報ガイドブック、情報リーフレット、子ネット通信等を武蔵小杉駅周辺の大型商業施設(グランツリー、ららテラス、東急スクエア)に配架 ●子育て支援者養成講座(対面6回、オンライン1回)を開催し、受講者のフォローアップや支援のためにボランティア情報冊子を作成・配布した。 | 9,071 | 7,492 | 3 | | | |
| | その他の取組の実績等 | <ul style="list-style-type: none"> ●なかほら子ども未来フェスタの開催(ワークショップや子育て支援情報展示等)(1回)、ミケロ子育ておしゃべり広場の開催(19回)、子ネット通信の作成(年6回、各回9,000部) ●中原区総合子どもネットワーク会議・中原区子育て支援推進実行委員会合同研修の実施 | 8,825 | 7,605 | 3 | | | | |
| | | | | 8,649 | 7,169 | 3 | | | |
| | | | | 8,670 | | | | | |
| ①成果 | | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| 子育てサロンの運営支援や様々な媒体での情報発信、子育て団体を集めたイベントなどを通じて、区民の子育てをサポートするとともに、総合子どもネットワーク会議などを通じて、区内子育て支援団体との横のつながりを醸成し、協働により子育て等の支援を推進しました。 | | 子育てサロンの運営支援 | | 目標 | 15 | 15 | 15 | 15 | か所 |
| | | 指標の説明 民生委員児童委員などによる子育てサロンの運営支援数 | | 実績 | 15 | 15 | 15 | | |
| ①成果や②指標を踏まえた評価 | | 子育てサロンの各地区での毎月の開催、商業施設と連携したなかほら子ども未来フェスタの開催、子育て情報の発信など、地域の方と協働しながら取組を行ったことで、育児に対する不安・孤立感の解消や身近な地域での支え合いに寄与できたと考えます。 | | | | | | | |
| 5 | スポーツ・文化資源・みどりなどの地域資源を活用したまちづくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ●親子サッカー・バレーボール・バスケットボール教室(各1回)、アメフト・フラッグフット普及啓発等の実施 ●ボランティアとの協働による公共花壇維持管理(5か所) | <ul style="list-style-type: none"> ●NECレトロケッツ川崎ハレー教室(1回、参加114名)、富士通レトロウェブハスケ教室(1回、参加108名)の実施。親子サッカー教室に代わり川崎フロンターレ社会科見学ツアーを実施(1回、参加38名)。中原区小学生フラッグフットボール大会&体験会を開催(1回、参加179名)。 ●区民ボランティア「花クラブ実行委員会」との協働で、年間を通じて公共花壇植栽の維持管理(5か所)、植替え(2回)及び補植(1回)を実施。5月に「花植えボランティア体験講座」、11月に「キッズ花植え体験」を実施。 | 13,893 | 12,655 | 3 | | | |
| | その他の取組の実績等 | <ul style="list-style-type: none"> ●中原スポーツまつりにおいて、パラ射撃(参加人数:134人)、ペガールボール(参加人数:267人)、ポッチャ(参加人数:350人)、卓球バレー(参加人数:201人)のバラスポーツ体験ブースを設置。 ●区内の公共花壇等を維持管理している28組の地域団体等に区の花バンジーの花苗を約4,000株配布し、近隣小学校や保育園等と協働で花植えを実施。 ●市制100周年記念事業として、区役所花壇のライトアップやSNSシェアキャンペーン(参加人数:127人)を実施。 | 14,474 | 12,485 | 3 | | | | |
| | | | | 14,775 | 14,280 | 3 | | | |
| | | | | 14,970 | | | | | |
| ①成果 | | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| かわさきスポーツパートナー等の地域資源を活用したスポーツ教室等を実施することで、地域交流の機会を創出し、地域の活性化や愛着の醸成につながりました。また、地域団体等と近隣小学校・保育園等が協働で花植えを実施したことにより、地域における世代間の交流につながりました。 | | かわさきスポーツパートナー等との連携による事業の実施数 | | 目標 | 4 | 4 | 4 | 4 | 回 |
| | | 指標の説明 各種スポーツ教室、フラッグフットボール大会等の実施回数 | | 実績 | 4 | 4 | 4 | | |
| ①成果や②指標を踏まえた評価 | | 地域と行政が協働により地域交流の機会としてスポーツ資源の活用や花植え活動の取組を実施したことで、地域間・世代間の新たな交流が生まれるなど、地域資源を活用したまちづくりの推進に一定の成果があったと考えます。 | | | | | | | |

| 番号 | 主要な取組 | 今年度の主要な取組内容 | 主要な取組内容の実績等 | 事業費(千円) | | 達成度 | | | |
|--------|---|--|--|--|-------|------|------|----|--|
| | | | | 予算額 | 決算額 | | | | |
| 6 | 区役所サービスの環境改善 | <ul style="list-style-type: none"> 職員研修(2回) サービス向上委員会等(4回) 中原区業務改善・庁舎レイアウト検討委員会の開催及び検討結果に基づく取組などの実施 | <ul style="list-style-type: none"> 各課から推薦を受けた職員が「推進リーダー」として活動し、職員向け研修(障害の理解、「障害」「シニア」「LGBT」等、様々な来庁者に対して理解し、適切に対応できるようになる研修)を企画、2回実施 サービス向上委員会を年4回実施、サービス向上推進リーダー会議4回実施 中原区役所業務改善・庁舎レイアウト検討委員会の開催(会議2回、作業部会3回)及び庁舎スペースを最大限活用するための調査・検討を行う中原区役所執務環境等検討支援業務委託を実施 | 1,907 | 3,267 | 3 | | | |
| | | | | 3,152 | 2,270 | 3 | | | |
| | | | | 1,398 | 5,013 | 3 | | | |
| | | | | 1,239 | | | | | |
| | その他の取組の実績等 | <ul style="list-style-type: none"> 来庁者及び電話対応で適切な部署につなぐために中原区の業務を一覧にした業務早見表の改訂 職員の提案を踏まえたレイアウト検討を行うため「執務環境に関するアンケート」を実施 | | | | | | | |
| | ①成果 | ②数値として把握できる主な指標 (指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 | |
| | 「障害の理解」、「障害」「シニア」「LGBT」等、様々な来庁者に対して理解し、適切に対応できるようになる研修」を実施し、職場でも共有・実践したことで、認識を深めるとともに、対応力の向上につなげ、市民サービスの向上につながりました。また、区役所混雑緩和対策について、庁舎の利用者の利便性向上のため区役所レイアウト検討を開始しました。 | 区役所サービス向上委員会の開催数 | 目標 | 4 | 4 | 4 | 4 | 回 | |
| | | 指標の説明 区役所サービス向上委員会の開催回数 | 実績 | 4 | 4 | 4 | | | |
| | ①成果や②指標を踏まえた評価 | 職員研修の実施等により、来庁者の特性に応じた接遇や窓口での適切かつ迅速な対応につなげました。また、庁舎の利用者の利便性向上を目的とした区役所レイアウトの検討が進められたと考えられます。 | | | | | | | |
| その他の取組 | 取組内容の実績等 | | 成果 | | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 市民提案型事業については、ステップアップコース4事業、スタートコース7事業の実施、令和5年度、令和6年度事業実施団体による事業結果報告会等を実施しました。 年度途中に発生する新たな課題への対応を図るため、風水害時一時避難場所の案内表示の購入等を行いました。 市制100周年記念事業として、地元企業、団体、区民等で組織した実行委員会により、中原区における川崎市市制100周年記念イベント「なかはらコアまつり」を開催。(来場者数：約30,000人)その他、なかはらアート作品の創作、市制100周年記念花壇の装飾を実施。 | | <ul style="list-style-type: none"> 市民提案型事業については、市民から主体的に提案された昔遊び指導者養成講座事業、子育て広場創出等の子育て支援事業、地域と外国人をつなぐ多文化交流事業等により市民主体の取組の推進ができました。 即時に対応が必要な課題について、速やかに実施することにより、課題解決及び区民サービスの向上につながったと考えます。 市制100周年記念事業については、なかはらコアまつりの開催、なかはらアート作品の創作、市制100周年記念花壇の装飾を地域主体で実施することにより、区民の地元への愛着や関心を高めることができましたと考えます。 | | | | | | |
| | 上記の取組内容に対する事務事業の総合的な達成度 | | 3 | 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った | | | | | |

| 3 地域課題の解決に向けた今後の方向性 | | |
|--|-----------------------------|--|
| 区分 | 主要な取組の評価や総合的な達成度を踏まえた今後の方向性 | |
| 地域課題の解決に向けて…… I 現在の取組をそのまま継続する II 取組を多少改善する必要がある III 取組を改善する必要がある IV 取組を抜本的に見直す必要がある | II | スポーツ・文化など身近な地域資源を生かし、市民ニーズに合わせた情報発信等ができるよう工夫・改善を行うなど、地域の様々な主体との協働により、地域課題の解決や誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていることができる地域の実現に向けて、コミュニティづくりや地域包括ケアシステムの構築、安全・安心なまちづくり、子育て支援等の取組を進めていきます。また、市制100周年記念事業をきっかけとして生まれたつながりや想いを、今後の取組に活かしていきます。 |

| 1 事業の概要 | | | | | | | | | | | | | |
|--|-----------|---------|-------------------------|---------|---------|--------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|--|
| 政策体系上の位置づけ | 基本政策(1層) | | 誰もが生きがいを持てる市民自治の地域づくり | | | | | | | | | | |
| | 政策(2層) | | 参加と協働により市民自治を推進する | | | | | | | | | | |
| | 施策(3層) | | 共に支え合う地域づくりに向けた区役所機能の強化 | | | | | | | | | | |
| | 直接目標 | | 市民満足度の高い区役所サービスを提供する | | | | | | | | | | |
| 事務事業(4層) | 事務事業コード | | 事務事業名 | | | | | | | | | | |
| | 50103070 | | 地域課題対応事業(高津区) | | | | | | | | | | |
| 担当 | 組織コード | | 所属名 | | | | | | | | | | |
| | 671650 | | 高津区役所まちづくり推進部企画課 | | | | | | | | | | |
| 総合計画と連携する計画等 かわさき強靱化計画, 国際施策推進プラン, 住宅基本計画, 大気・水環境計画, 緑の基本計画, デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進プラン, スポーツ推進計画, 文化芸術振興計画, 子どもの権利に関する行動計画 | | | | | | | | | | | | | |
| SDGsのゴール・ターゲットを意識した取組の方向性 17 持続可能な開発目標 17.17 市民協働でのまちづくりの取組を引き続き推進するとともに、地域の企業、団体、区民など多様な主体によるパートナーシップ構築を促進し、各々の活動を地域の活性化や課題解決に結び付ける。 | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の概要(主要な取組) ●区役所が主体となって、区民の参加と協働により、地域の身近な課題解決や魅力ある地域資源を活かした事業・取組を進めます。 ●地域資源を活かした魅力あるまちづくりの推進 ●多様な主体との連携による地域コミュニティ活性化の推進 ●総合的な子ども・子育て支援の推進 ●すこやか・支え合いのまちづくりの推進 ●安全・安心なまちづくりの推進 ●区役所サービス向上事業 | | | | | | | | | | | | | |
| 行政改革第3期プログラムに関連する課題名 改革項目 取組3(1)多様な主体との協働・連携によるまちづくりの推進 取組3(2)区役所機能の強化 取組3(3)地域防災力の向上に向けた連携 取組4(2)行政運営上の課題解決に必要な人材の育成 課題名 21・多様な主体による地域コミュニティ活性化の推進 6・区役所サービスの向上に向けた取組の推進 5・地域防災力向上に向けた取組の推進 11・区役所サービスを支える人材の計画的な育成 | | | | | | | | | | | | | |
| 予決算(単位:千円) | 年度 | R4年度 | | | R5年度 | | | R6年度 | | | R7年度 | | |
| | | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額(見込) | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | |
| | 事業費 A | 国庫支出金 | 58,744 | 40,973 | 56,738 | 57,957 | 41,710 | 58,849 | 72,050 | 57,473 | 56,588 | 79,825 | |
| | | 市債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | その他特財 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 一般財源 | 1,510 | 0 | 1,496 | 1,582 | 0 | 1,496 | 1,484 | 0 | 1,496 | 1,505 | |
| | | 人件費 B | 57,234 | 0 | 55,242 | 56,375 | 0 | 57,353 | 70,566 | 0 | 55,092 | 78,320 | |
| | 総コスト(A+B) | 55,767 | 55,767 | 56,606 | 56,606 | 56,606 | 49,158 | 49,158 | 49,158 | 0 | 0 | 0 | |
| | 人工(単位:人) | 114,511 | 96,740 | 113,344 | 114,563 | 98,316 | 108,007 | 121,208 | 106,631 | 56,588 | 79,825 | 0 | |
| | | | 6.62 | | | 6.64 | | | 5.72 | | | | |

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

| 2 主要な取組の実施結果 | | | | | | | | | | | |
|---|----------------------------|---|---|---------|--------|------|------|------|--------------|------|--|
| 番号 | 主要な取組 | 今年度の主要な取組内容 | 主要な取組内容の実績等 | 事業費(千円) | | 達成度 | | | | | |
| | | | | 予算額 | 決算額 | | R4年度 | R5年度 | R6年度(決算額は見込) | R7年度 | |
| 1 | 地域資源を活用した魅力あるまちづくりの推進 | ●ボランティアとの協働による久地内高水分の美化活動の実施(年14回)、体験イベントの開催(年1回)、桜の維持等の専門的な維持管理(年1回)。 ●地域住民との協働によるかすみ堤の維持管理に向けた調整及び美化活動の実施(年2回)、専門的な維持管理(年1回)。 ●「区民ミニガーデン」連絡会との協働によるコンテナ・花壇の維持管理 ●高津のさんぽみち等を活用したウォーキングイベントの実施。 ●古写真等の収集及び活用の推進、高津区ふるさとアーカイブの運営推進。 ●清口駅前における公共案内サインの改善の推進、「高津のさんぽみち」マップの配布。 | ●ボランティアとの協働による久地内高水分の美化活動の実施(年14回)、体験イベントの開催(年1回)、桜の維持等の専門的な維持管理(年1回)。 ●地域住民との協働によるかすみ堤の維持管理に向けた調整及び美化活動の実施(年2回)、専門的な維持管理(年2回)。 ●「区民ミニガーデン」連絡会との協働によるコンテナ・花壇の維持管理 ●高津のさんぽみち等を活用したウォーキングイベント(年1回)の実施。 ●古写真等の収集及び活用の推進、高津区ふるさとアーカイブの運営推進。 ●清口駅前キラリデッキ案内掲示板の撤去、「高津のさんぽみち」マップの増刷(3種)・配布。 | 10,842 | 9,220 | 2 | | | | | |
| | | | | 13,872 | 11,038 | 3 | | | | | |
| | その他の取組の実績等 | ●清口駅前キラリデッキにおける施設及び植栽の整備(市制100周年記念実行委員会事業と連携) ●市制100周年PRを目的としたキラリデッキイルミネーションへの出展 ●大山街道カレラグランプリ開催(約5,500人来場) | 25,982 | 21,575 | 3 | | | | | | |
| | 25,690 | | | | | | | | | | |
| ①成果 | | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 | | |
| キラリデッキのリニューアルにあたり、市民文化局による喫煙所移設や市制100周年記念事業実行委員会(総務企画局所管)によるステージ設置と連携して、ステージの芝生化や植栽リニューアルを行うことで、居心地よい魅力的な空間づくりを行うことができ、各種メディアにも取り上げられました。 | | 「高津さんの市」の開催回数 | | 目標 | 6 | 6 | 6 | 6 | 回 | | |
| 指標の説明 | | 農業者と区民との交流を図る「高津さんの市」開催回数 | | 実績 | 6 | 6 | 6 | | | | |
| ①成果や②指標を踏まえた評価 | | 久地内高水分、区民ミニ・ガーデン、たちばな農のあるまちづくり、大山街道まちの企画室等において、区民ボランティアとの協働による地域資源の維持活動を安定して継続できています。高津のさんぽみちを活用したイベントにおいて、年配層が中心のガイドウォーク(1回、30名参加)に加えて、若者層向けの謎解き企画を地域の大学生との協働により実施、約200名の参加を得ました。市制100周年のPRに際して、キラリデッキイルミネーションに加え区民祭でのPRを予定していましたが、区民祭が中止となったことを受けて、代替として「新たな100年」をテーマに川崎フロンターレと連携したチラシを作成し(3,000部)、転入者向けに配布を開始しました。 | | | | | | | | | |
| 2 | 多様な主体との連携による地域コミュニティ活性化の推進 | ●市民創発の土壌づくりのための「まちづくりカフェたかつ」開催 ●「ソーシャルデザインセンター」としての共創プラットフォーム(高津区SDCモデル)の運用、「まちのひろば」の立ち上げに向けた区民相談・支援の実施 ●転入者向け町内(自治)会加入相談コーナーの開設 ●まちづくりに係るイベントの実施、情報発信等 ●花コンサート等のコンサートの実施、キッズパーカッション体験ワークショップの実施 ●障害者スポーツ体験イベントの実施(1回)、誰もがスポーツを体験できるイベントの実施(1回)、ダンスイベントの実施(1回) | ●市民創発の土壌づくりのための「まちづくりカフェたかつ」(3回)開催 ●SDC相談窓口を通じた「まちのひろば」の立ち上げに向けた区民相談・支援の実施 ●転入者向け町内(自治)会加入相談コーナーを転入増加時期に開設 ●まちづくりに係るイベントの実施(年1回)、SDC相談窓口を通じたSNSによる情報発信、広報紙発行(年2回)等 ●花コンサート(10回)等の音楽イベントの実施、キッズパーカッション体験ワークショップ(1回)の実施 ●障害者スポーツ体験イベントの実施(1回)、誰もがスポーツを体験できるイベントの実施(1回)、ダンスイベントの実施(1回) | 13,707 | 8,385 | 3 | | | | | |
| | | | | 12,196 | 9,944 | 3 | | | | | |
| | その他の取組の実績等 | ●高津地区親子運動会(約2,000名)／橋区親子運動会開催(約1,000名参加) ●橋ふるさと祭り子どもイベント実施(まつり全体で約6,000名来場) ●子どもフェア開催(約1,000名来場) ●円筒分水スプリングフェスタ開催 | 11,369 | 10,191 | 3 | | | | | | |
| | 19,789 | | | | | | | | | | |
| ①成果 | | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 | | |
| まちづくりに関するイベントは42団体が参加、企画運営を通して参加団体間の連携を深めるだけでなく、SDC出張相談窓口も設けたことで、「まちのひろば」立上げやつながり強化に向けた団体間の関係強化が図れました。 | | 「まちづくりカフェたかつ」の開催回数 | | 目標 | 3 | 3 | 3 | 3 | 回 | | |
| 指標の説明 | | まちづくりに関心のある区民が参加し、仲間とともにアイデアの実現を目指す「まちづくりカフェたかつ」の開催回数 | | 実績 | 4 | 3 | 3 | | | | |
| ①成果や②指標を踏まえた評価 | | まちづくりカフェは市民創発を促すために、資金獲得や団体PRの手法など、内容のバリエーションを広げた講座2回、交流会1回を開催しました。SDC相談窓口では区民や地域団体からのまちづくりに関する相談約50件に対応し、うち一部は小学校の寺子屋や地域のイベント等への出展や参加機会を作る等、「まちのひろば」づくりに資するコーディネートができました。親子運動会は、近年は感染症や悪天候による中止が続いていましたが5年ぶり開催でき、町内会自治会など地域における顔の見える関係づくりに寄与しました。 | | | | | | | | | |

| 番号 | 主要な取組 | 今年度の主要な取組内容 | 主要な取組内容の実績等 | 事業費(千円) | | 達成度 | | |
|-------------------------|---|---|--|--|-------|------|------|----|
| | | | | 予算額 | 決算額 | | | |
| | | | | R4年度 | | | | |
| | | | | R5年度 | | | | |
| | | R6年度(決算額は見込) | | R7年度 | | | | |
| 3 | 総合的な子ども・子育て支援の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ●初めて赤ちゃんを育てる母親を対象とした連続講座の開催(年4回) ●子ども・子育てフェスタの実施(年1回) ●子ども・子育てネットワーク会議を通じた情報共有・意見交換の実施(年3回) ●子育てグループの活動支援を図る交流会、研修会等の実施(年1回) ●子育て情報ガイドブック「ホットこそだて・たかつ」の更新・発行(年1回、7,000部) | <ul style="list-style-type: none"> ●初めて赤ちゃんを育てる母親を対象とした連続講座の開催(年4回) ●子ども・子育てフェスタの実施(年1回) ●子ども・子育てネットワーク会議を通じた情報共有・意見交換の実施(年3回) ●子育てグループの活動支援を図る研修会等の実施(年1回) ●子育て情報ガイドブック「ホットこそだて・たかつ」の更新・発行(年1回、7,000部) | 3,370 | 2,653 | 3 | | |
| | | | | 3,431 | 2,948 | 3 | | |
| | | | | 3,610 | 2,944 | 3 | | |
| | | | | 3,975 | | | | |
| | その他の取組の実績等 | ・保育園の利用を検討する市民への情報提供のため保育園案内映像の更新・公開(17園)、入所説明動画の公開 ・子育て施設マップ(4,000部)及びリーフレット「始めよう保育所探し」(1,500部)の作成・配布 ・「子ども・子育てフェスタ」の開催(約2,000名) | | | | | | |
| | ①成果 | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| | 子育てで不安に対する相談支援や、地域での仲間づくりをコーディネートするとともに、子育てへの不安感・孤立感軽減に向けて様々な情報提供を行うことができました。 | 親育ち支援事業「赤ちゃんがきた！」の開催回数 | 目標 | 4 | 4 | 4 | 4 | 回 |
| | | 指標の説明 | 初めて赤ちゃんを育てる母親を対象に子育て力をアップする講座の開催回数 | 実績 | 4 | 4 | 4 | |
| | ①成果や②指標を踏まえた評価 | イベントの企画実施や子育て情報ガイドブックの作成を地域の子育て関係者や団体との協働で進めることで、より区民の視点に立った内容とすることができました。地域の子育て関係機関が連携したネットワークを通じて、子育てに関する情報共有や連携による機能補完の関係性が整い、子育てしやすい環境づくりが進みました。 | | | | | | |
| 4 | すこやか・支え合いのまちづくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ●「たかつ区健康福祉まつり」の実施(年1回) ●公園体操体験会とフォローアップ研修の実施、新規立ち上げ支援とリーダー向け交流会の実施、新たなリーフレットの作成の検討と活用 ●区民の在宅医療の啓発のためのシンポジウムの開催(年1回) ●健康づくりや人生100年時代に向けた普及啓発 | <ul style="list-style-type: none"> ●「たかつ区健康福祉まつり」の実施(年1回) ●公園体操体験会(年1回)とリーダー向けフォローアップ研修(年1回)、新規立ち上げ支援を実施、庁舎広告事業と連携した公園体操マップ作成(10,000部) ●区民の在宅医療の啓発のためのシンポジウムの開催(年1回、133人参加) ●健康づくりや人生100年時代に向けた普及啓発 | 2,626 | 1,316 | 3 | | |
| | | | | 2,690 | 1,730 | 2 | | |
| | | | | 2,295 | 1,667 | 2 | | |
| | | | | 2,843 | | | | |
| | その他の取組の実績等 | ・団塊ジュニア世代を対象とした健康づくりの取組の実施 ・マンションにおけるつながりづくり講演会・交流会の開催 ・地域包括ケアシステム交流会「子どもの居場所づくり」開催 | | | | | | |
| | ①成果 | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| | 普及啓発・フォロー研修を実施し、公園体操の参加者増加や活動の活性化を図ると共に、引き続き既存の公園体操グループの支援や新たな立ち上げ支援を行うことができました。 | 高津公園体操体験会、継続参加者フォローアップ研修の実施回数 | 目標 | 1 | 1 | 1 | 1 | 回 |
| | | 指標の説明 | 高津公園体操の普及促進を図る研修実施回数 | 実績 | 1 | 2 | 2 | |
| | ①成果や②指標を踏まえた評価 | たかつ区健康福祉まつりは、例年の健康福祉関連団体出展に加えて緑化フェアPRブースやSDC出張相談も設け、より幅広い対象への健康意識の啓発に寄りました。高津公園体操では、健康づくり、介護予防、コミュニティづくりの推進を図ることができました。地域包括ケアシステム交流会では、地域で居場所づくりを実践している団体を講師に招き、団体同士の交流と情報を共有しました。在宅医療シンポジウムは本庁所管局と連携して実施したことにより、来場者数が前年比3割増となりました。マンションにおけるつながりづくりの取組では、緑化フェアにちなんで「みどり」をテーマに講演・交流会を行い、参加しやすい気軽なテーマから始まるマンション居住者同士や周辺地域との良好な関係づくりに寄りました。また、本庁所管局との連携により情報誌「るぶ」と連携した介護予防広報紙を新たに作成(5,000部)し、幅広い対象に介護予防に係る情報を周知しました。 | | | | | | |
| 5 | 安全・安心で住みよいまちづくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ●マイ減災マップワークショップ、区内小中高等学校・関係機関等へのほうさい出前講座などの実施 ●自助・共助を主眼とした訓練や各種マニュアル等の作成による運営支援の実施 ●区民や関係機関との連携による地域特性に応じた実践的な訓練の実施(年2回、高津地区・橋地区) ●防災や環境をテーマとした区主催イベントの機会を活用した気候変動適応策等の普及啓発の実施 ●「たかつ自然の賑わいづくり事業」の実施 ●脱炭素アクションみそぐちプロジェクト創出部会の開催、脱炭素アクションみそぐちに関するプロジェクトの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ●区内小中高等学校・関係機関等へのほうさい出前講座(47回)実施 ●地域の实情に応じた避難所運営会議・訓練を実施(全21か所) ●区民や関係機関との連携による地域特性に応じた実践的な訓練の実施(年2回、高津地区・橋地区) ●防災や環境をテーマとした区主催イベントの機会を活用した気候変動適応策等の普及啓発の実施(年1回) ●「たかつ自然の賑わいづくり事業」の実施 ●脱炭素アクションみそぐち推進会議プロジェクト創出部会の会議・イベント実施(新規含む4回) | 14,075 | 9,873 | 2 | | |
| | | | | 14,815 | 9,155 | 2 | | |
| | | | | 14,507 | 9,698 | 2 | | |
| | | | | 15,858 | | | | |
| | その他の取組の実績等 | ・土のうステーションの維持管理及び土のう補充(計480袋) ・中学生等を対象とした交通安全啓発(スクエアドストレート)の開催(1校) ・地域住民や関係団体と一体での防犯パトロールの実施、新入生への啓発品の配布 ・ペットの飼い主を対象とした防災の備え等に関する講習会の開催(35人)、啓発品の展示、来庁者への啓発冊子やリーフレットの配布。 | | | | | | |
| | ①成果 | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| | ほうさい出前講座や地域での訓練の実施、自主防災組織・避難所運営会議への運営支援等により区民の防災意識の向上が図られたほか、区災害対策本部設置・運営訓練や風水害対応研修等により区職員のスキル向上も図ることができました。 | ほうさい出前講座の実施回数 | 目標 | 15 | 15 | 15 | 15 | 回 |
| | | 指標の説明 | 防災に対する理解と関心を深め、防災意識の高揚と地域の防災力向上を図る出前講座実施回数 | 実績 | 22 | 23 | 47 | |
| | ①成果や②指標を踏まえた評価 | ほうさい出前講座による区民の防災意識向上の取組や、自主防災組織や避難所運営会議への支援を通じた地域防災活動の活性化の促進等により、地域防災力向上に一定の成果がありました。また、区職員を対象とした実践的な訓練・研修を実施するとともに、備蓄倉庫の整備、各種物品の配備等を総合的に向上することができました。脱炭素アクションみそぐち推進会議プロジェクト創出部会の取組については、例年の内容に加え会員事業者と連携した情報交換会を新規に実施し、取組周知及び参加者の環境意識向上に寄りました(会場・オンライン計86名参加)。 | | | | | | |
| 6 | 区役所サービス向上事業 | <ul style="list-style-type: none"> ●区役所職員を対象とした接客研修の実施 ●区役所及び関連施設の利便性向上に向けた取組の推進 ●来庁者の意見を聞くためのアンケートボックスの運用 | <ul style="list-style-type: none"> ●「接客研修」、「電話応対・メール作成研修」、「区役所サービス向上研修」(傷病者等対応研修)の実施(計4回) ●構内張所及び道路公園センターの環境改善 ●来庁者アンケート「たかつ一言ポスト」の実施(意見63件) | 2,139 | 2,599 | 3 | | |
| | | | | 1,259 | 809 | 3 | | |
| | | | | 2,735 | 2,289 | 3 | | |
| | | | | 1,777 | | | | |
| | その他の取組の実績等 | ・「おくやみコーナー」の開設に向けた調整及び円滑な運営の実施 ・庁内報や職員交流会による区役所内の連携強化 | | | | | | |
| | ①成果 | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| | 「たかつ一言ポスト」に寄せられた意見・要望等を関係各課に伝え区役所サービスの改善につなげました。接客研修等の実施により職員の接客能力等のスキルアップを図りました。庁内報の発行により、区役所内職員間での情報共有を図りました。 | 職員の接客能力向上等研修の開催回数 | 目標 | 4 | 4 | 4 | 4 | 回 |
| | | 指標の説明 | 職員の接客能力向上等区役所サービス向上に資するための研修の開催回数 | 実績 | 4 | 5 | 4 | |
| | ①成果や②指標を踏まえた評価 | 「たかつ一言ポスト」に寄せられた意見・要望等63件のうち、対応が必要な55件について、関係各課へ依頼・情報共有し、着実に対応したことで、区役所サービスの向上に寄りました。接客能力向上の研修ほか区役所サービス向上に資する研修を当初の予定通り4回開催(延べ84名参加)し、職員の接客能力ほか業務の遂行に必要な能力が向上し、質の高い応接を実施することができました。庁内報等により、区役所内において各課の事業やイベント等についての情報共有が図られ、連携強化につながりました。 | | | | | | |
| 7 | その他の取組 | 取組内容の実績等 | | 成果 | | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●市制100周年を記念し、鉄道事業者や地元音楽大学と連携して武蔵溝ノ口駅にオリジナル発車メロディを導入しました。 ●町内会が公園内に設置していた物件の老朽化に伴い、行政が設置していた物件も撤去しました。 ●地域要望を受け、久地円筒分水の周辺回遊性向上のための整備を行いました。 ●市民提案型協働事業について、継続2事業(「Scratch&Soccer」「やかん寄席」)を含む計5事業を実施しました。 | | <ul style="list-style-type: none"> ●オリジナル発車メロディ導入やお披露目イベントを通じて市制100周年について広く区民に周知できました。 ●老朽化した公園内物件が撤去され、安全に遊べる公園となりました。 ●整備により久地円筒分水の周辺回遊性が向上し、より地域に親しまれる空間となりました。 ●フロンターレ選手とコラボしたサッカーゲームを通じて小学生がプログラミングを体験できる「Scratch&Soccer」(5校)、落語を通じて地域包括ケアシステムを広げる「やかん寄席」の実施等、区民の発案を活かして地域課題の解決に取り組むことができました。 | | | | |
| 上記の取組内容に対する事務事業の総合的な達成度 | | 3 | 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり | 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った | | | | |

3 地域課題の解決に向けた今後の方向性

| 区分 | 主要な取組の評価や総合的な達成度を踏まえた今後の方向性 |
|---|---|
| <p>地域課題の解決に向けて……</p> <p>I 現在の取組をそのまま継続する II 取組を多少改善する必要がある III 取組を改善する必要がある IV 取組を抜本的に見直す必要がある</p> | <p style="text-align: center;">II</p> <ul style="list-style-type: none"> ●主要な取組1「地域資源を活かした魅力あるまちづくりの推進」については、地域資源を活用した各種イベント等の開催や、区がもつ媒体（HP、YouTube等）を通じた情報発信を引き続き行うとともに、民間主体の様々な事業等との連携や発信力ある区民や団体の活用により幅広い世代に届く情報発信に取り組みます。 ●主要な取組2「多様な主体との連携による地域コミュニティ活性化の推進」については、「高津区SDC相談窓口」を通じて、相談対応や情報発信による支援、団体間のコーディネートを行っていきます。また、区主催等によるスポーツ・ダンスイベント、多文化交流事業、その他の取組については、参加機会の創出と関係者の連携を大切にしながら時流を踏まえた内容の見直し等も行い、区民同士の地域交流の機会を確保してまいります。 ●主要な取組3「総合的な子ども・子育て支援の推進」については、地域の子育て関係機関によるネットワークを最大限活用しながら、子育て情報ガイドブック「ホットこそだてたかつ」や、区のYouTubeチャンネルなどを通じた情報発信を強化をしていきます。また、子育てに関する講座や交流会については、内容を見直しながら開催を継続します。 ●主要な取組4「すこやか・支え合いのまちづくりの推進」については、地域包括ケアシステム構築に向け、地区カルテの活用やワークショップ等を通じ地域住民と課題等の情報共有を図るとともに、働き盛り世代に対する健康づくり意識向上の働きかけを積極的に行い、自助・共助・互助の意識醸成、支え合いの地域づくりを促進していきます。 ●主要な取組5「安全・安心なまちづくりの推進」における防災事業については、高津区の地域特性を踏まえ、区民一人ひとりが地域のリスクを把握して適切な避難行動が取れるよう、ワークショップや出前講座を通じたマイタイムラインの普及啓発や、土のうステーションの周知などにより防災意識を向上させる取組をさらに進めていきます。「エコシティたかつ」推進事業や「脱炭素アクションみぞのくち」の周知広報については、各課の取組と連携させることにより事業効果を高めます。 |

| 1 事業の概要 | | |
|------------|----------|-------------------------|
| 政策体系上の位置づけ | 基本政策(1層) | 誰もが生きがいを持てる市民自治の地域づくり |
| | 政策(2層) | 参加と協働により市民自治を推進する |
| | 施策(3層) | 共に支え合う地域づくりに向けた区役所機能の強化 |
| | 直接目標 | 市民満足度の高い区役所サービスを提供する |
| 事務事業(4層) | 事務事業コード | 事務事業名 |
| | 50103080 | 地域課題対応事業(宮前区) |
| 担当 | 組織コード | 所属名 |
| | 691650 | 宮前区役所まちづくり推進部企画課 |

総合計画と連携する計画等 かわさき強靱化計画,住宅基本計画,緑の基本計画,デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進プラン,スポーツ推進計画,文化芸術振興計画,子どもの権利に関する行動計画

| | | |
|---------------------------|----------|---|
| SDGsのゴール・ターゲットを意識した取組の方向性 | 17 17.17 | 区民の参加と協働により、地域の抱える課題解決や地域の特性を生かした事業を実施することで、さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。 |
|---------------------------|----------|---|

| | |
|--------------|---|
| 事業の概要(主要な取組) | <ul style="list-style-type: none"> ●区役所が主体となって、区民の参加と協働により、地域の抱える課題解決や地域の特性を生かした事業を実施します。 ●多彩な地域資源を活かしたまちづくりの推進 ●地域コミュニティ活性化に向けた地域活動の担い手・ネットワーク・場づくりの推進 ●心がつながり、互いに支え合う地域の輪づくりの推進 ●地域における、切れ目のない子ども・子育て支援の推進 ●区民との協働による安全・安心で、快適なまちづくりの推進 ●区役所サービス向上事業 |
|--------------|---|

| | | |
|-----------------------|----------------|----------------------|
| 行財政改革第3期プログラムに関連する課題名 | 改革項目 | 課題名 |
| | 取組3(2)区役所機能の強化 | 7・市民目線に立った区役所サービスの推進 |

| 予決算(単位:千円) | 年度 | R4年度 | | R5年度 | | R6年度 | | | R7年度 | | |
|------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|
| | | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額(見込) | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 |
| | | 事業費 A | 59,715 | 47,984 | 58,120 | 59,302 | 47,201 | 57,344 | 67,986 | 53,827 | 57,344 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 |
| | 市債 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 |
| | その他特財 | 829 | - | 769 | 846 | - | 829 | 859 | - | 829 | 710 |
| | 一般財源 | 58,886 | - | 57,351 | 58,456 | - | 56,515 | 67,127 | - | 56,515 | 61,252 |
| 人件費 B | 79,944 | 79,944 | 87,722 | 87,722 | 87,722 | 89,120 | 89,120 | 89,120 | 0 | 0 | |
| 総コスト(A+B) | 139,659 | 127,928 | 145,842 | 147,024 | 134,923 | 146,464 | 157,106 | 142,947 | 57,344 | 61,962 | |
| 人工(単位:人) | 9.49 | | 10.29 | | | 10.37 | | | | | |

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

2 主要な取組の実施結果

| 番号 | 主要な取組 | 今年度の主要な取組内容 | 主要な取組内容の実績等 | 事業費(千円) | | 達成度 |
|----|----------------------|---|---|---------|-------|-----|
| | | | | 予算額 | 決算額 | |
| 1 | 多彩な地域資源を活かしたまちづくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ●和太鼓演奏や民謡芸能の発表などによる「響け!みやまえ太鼓ミーティング」の開催(参加団体数:和太鼓12団体、民謡芸能1団体) ●市民活動団体との協働によるウォーキングイベントの開催(歴史ガイドでまち歩き:春1回、秋1回開催、農家巡りウォーキング:春1回、秋1回開催) ●ボールウォーキング&ストレッチ教室等の開催(教室等開催回数:40回以上) | <ul style="list-style-type: none"> ●和太鼓演奏や民謡芸能の発表などによる「響け!みやまえ太鼓ミーティング」の開催(8月24日。参加団体数:和太鼓12団体、民謡芸能1団体) ●市民活動団体との協働によるウォーキングイベントの開催(歴史ガイドでまち歩き:5月13日、11月18日開催、農家巡りウォーキング:6月11日、11月26日開催) ●ボールウォーキング&ストレッチ教室等の開催(教室等開催回数:42回) | 10,586 | 9,391 | 3 |
| | | | | 8,802 | 7,788 | 3 |
| | | | | 9,967 | 9,285 | 3 |
| | | | | 9,822 | | |
| | その他の取組の実績等 | <ul style="list-style-type: none"> ●地域の魅力を発信する各種刊行物の作成・配布 ●宮前区PRキャラクターの活用による区の魅力発信 ●市民活動団体等との協働による取組の推進 | | | | |

| ①成果 | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
|--|--------------------------------|-------|------|-------|-------|-------|----|
| 和太鼓演奏や民謡芸能の発表や歴史・農に関する刊行物の作成・配布、市民活動団体等との協働による取組の実施など、宮前区の様々な地域資源を活用し、区民に向けてその魅力を発信することができました。 | 「響け!みやまえ太鼓ミーティング」の来場者数 | 目標 | 900 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | 人 |
| | 指標の説明 「響け!みやまえ太鼓ミーティング」に来場した人数 | 実績 | 900 | 1,500 | 1,500 | | |

①成果や②指標を踏まえた評価 「響け!みやまえ太鼓ミーティング」、「宮前歴史ガイド」等を活用した歴史ウォーキングイベント、「宮前区農産物直売所Guide&Map」を活用した農家巡りウォーキングなどを実施し、いずれも多くの参加者・来場者がありました。また、「宮前区市民提案型総合情報発信事業」の実施により、竹害の解消に向けた竹林整備や伐採した竹を有効活用した竹灯籠作りや、区内の魅力スポットを巡る「ご当地ミッションラリー」の取組を通じた情報発信など、区内の団体等と協働しながら多彩な地域資源を活用した魅力発信の取組を進めることができ、一定の効果があったと考えます。

| 2 | 地域コミュニティ活性化に向けた地域活動の担い手・ネットワーク・場づくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ●宮前区ご近所情報サイト「みやまえご近所さん」の運営 ●公園等を活用した花壇づくりを行う緑化活動団体に対する花苗の提供(提供回数:1回) ●工作や昔遊びなどで楽しめる夏休み子どもあそびランドの開催(開催回数:1回) ●向丘地区の地域情報紙「向丘スクエア」の発行(発行回数:3回) | <ul style="list-style-type: none"> ●宮前区ご近所情報サイト「みやまえご近所さん」の運営・リニューアル ●公園等を活用した花壇づくりのための緑化活動団体に対する花苗の提供(35団体あて、9,811株) ●工作や昔遊びを楽しめる夏休み子どもあそびランドの開催(8月18日) ●向丘地区の地域情報紙「向丘スクエア」の発行(発行回数:6月、10月、2月発行) | 13,586 | 12,248 | 3 |
|---|--|--|---|--------|--------|---|
| | | | | | | |
| | | | | 14,853 | 11,016 | 3 |
| | | | | 12,905 | | |
| | その他の取組の実績等 | <ul style="list-style-type: none"> ●世代間交流や地域コミュニティの活性化を図ることを目的とした区民の手作りによる宮前区民祭の開催 ●区内の魅力ある場所や景観、まちづくり活動の様子などを紹介するフォトコンテストの開催 ●区民との協働による樹名板の設置 | | | | |

| ①成果 | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
|---|-----------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|----|
| 緑化活動団体に対する花苗の提供や、遊びを通じて多様な市民の交流を図る「夏休み子どもあそびランド」の開催により、住みよいまちづくりや市民の交流促進に向けた取組の推進を図ることができました。 | 「夏休み子どもあそびランド」の来場者数 | 目標 | 1,000 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | 人 |
| | 指標の説明 「夏休み子どもあそびランド」に来場した人数 | 実績 | 980 | 3,000 | 3,800 | | |

①成果や②指標を踏まえた評価 35団体に対して9,811株の花苗の提供を実施した他、ご近所情報サイト「みやまえご近所さん」の運営・リニューアルや「みやまえご近所ビュッケット」での町内会・自治会の活動を周知するブースの設置等により、地域活動への関心や参加を促すことができました。また、多くの参加者があった「夏休み子どもあそびランド」の開催を通じて、住みよいまちづくりや市民の交流促進に向けた取組の推進を図ることができ、一定の効果があったと考えます。

| 番号 | 主要な取組 | 今年度の主要な取組内容 | 主要な取組内容の実績等 | 事業費(千円) | | 達成度 | | |
|-------------------------|---|--|---|---------|-------|------|------|----|
| | | | | 予算額 | 決算額 | | | |
| | | | | R4年度 | | | | |
| | | | | R5年度 | | | | |
| | | R6年度(決算額は見込) | | R7年度 | | | | |
| 3 | 心がつながり、互いに支え合う地域の輪づくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ●地域包括ケアシステム推進に関する講演会等の開催(開催回数:1回) ●しあわせを呼ぶコンサートの開催 ●公園体操や認知症カフェ等のマップの配布 ●宮前区オリジナル「だいきろコス体操」などによる健康づくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ●地域包括ケアシステム推進イベントにおける講演会等の開催(1月25日) ●しあわせを呼ぶコンサートの開催(9月11日) ●公園体操(2,000部)や認知症カフェ(200部)等のマップの配布 ●宮前区オリジナル「だいきろコス体操」などによる健康づくりの推進 | 5,698 | 2,102 | 3 | | |
| | | | | 3,454 | 2,589 | 3 | | |
| | | | | 5,816 | 4,083 | 3 | | |
| | | | | 5,795 | | | | |
| | その他の取組の実績等 | 子ども、子育て世代や高齢者等に向けた広報・啓発 | | | | | | |
| | ①成果 | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| | 地域包括ケアシステム推進イベント「『わかる』からひろがる安心な暮らし」及び「しあわせを呼ぶコンサート」による交流と相互理解を深める取組の推進、「だいきろコス体操」により、健康づくりに関連した情報やその大切さを伝えていく取組の推進を図ることができました。 | 地域包括ケアシステム推進に関する講演会等の開催 | 目標 | 1 | 1 | 1 | 1 | 回 |
| | | 指標の説明 | 実績 | 1 | 1 | 1 | | |
| | ①成果や②指標を踏まえた評価 | 地域包括ケアシステムに関するイベント「『わかる』からひろがる安心な暮らし」と「早いうちから始める終活セミナー」を同日開催し、ゆるやかにつながりすべての区民が安心して暮らせる地域づくりの推進を図ることができました。また、「だいきろコス体操」の実施等を通じて、健康づくりに関連した情報やその大切さを伝えていく取組の推進を図ることができ、一定の効果があつたと考えます。 | | | | | | |
| 4 | 地域における、切れ目のない子ども・子育て支援の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ●子育てガイド「とことこ」の改訂および配布 ●子ども・子育てネットワーク会議の開催(開催回数:2回) ●冒険遊び場ネットワーク会議の開催(開催回数:12回) | <ul style="list-style-type: none"> ●子育てガイド「とことこ」の改訂および配布(発行部数約6,000部) ●子ども・子育てネットワーク会議の開催(4月24日、3月13日) ●冒険遊び場ネットワーク会議の開催(開催回数:11回) | 7,735 | 7,281 | 3 | | |
| | | | | 8,622 | 7,671 | 3 | | |
| | | | | 7,837 | 7,219 | 3 | | |
| | | | | 8,013 | | | | |
| | その他の取組の実績等 | 子ども・子育てに関する相談・情報提供 | | | | | | |
| | ①成果 | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| | 子育てガイド「とことこ」の改訂および配布、子ども・子育てネットワーク会議の開催や冒険遊び場ネットワーク会議の開催等により、地域における切れ目のない子ども・子育て支援の推進を図ることができました。 | 冒険遊び場ネットワーク会議の開催回数 | 目標 | 12 | 12 | 12 | 12 | 回 |
| | | 指標の説明 | 実績 | 13 | 12 | 11 | | |
| | ①成果や②指標を踏まえた評価 | 猛暑により冒険遊び場活動が中止となり、それに伴い冒険遊び場ネットワーク会議も中止したため会議開催回数の目標は未達となりましたが、会議や出張冒険遊び場の開催を契機として、子どもたちのすこやかな成長と地域コミュニティの活性化を進めることができました。また、子ども・子育てネットワーク会議の開催や、子育て情報の普及に向けた広報誌「とことこ」の改訂を行うなど、地域における切れ目のない子ども・子育て支援の推進を図ることができ、一定の効果があつたと考えます。 | | | | | | |
| 5 | 区民との協働による安全・安心で、快適なまちづくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ●「みやまご近郊ピクニック」と連携した防災フェアの開催(開催回数:1回) ●防災推進員養成研修の開催(開催回数:1回) ●区内中学校・高校におけるスクエアドストレート方式の交通安全教室の実施(開催回数:3回) ●資器材の配置等による避難所の環境整備 | <ul style="list-style-type: none"> ●「みやまご近郊ピクニック」と連携した防災フェアの開催(9月23日) ●防災推進員養成研修の開催(7月6日) ●区内中学校・高校におけるスクエアドストレート方式の交通安全教室の実施(10月23日、11月19日、12月13日) ●資器材の配置等による避難所の環境整備 | 5,655 | 5,111 | 3 | | |
| | | | | 7,151 | 6,388 | 3 | | |
| | | | | 8,339 | 7,804 | 3 | | |
| | | | | 10,380 | | | | |
| | その他の取組の実績等 | <ul style="list-style-type: none"> ●防災推進員フォロー研修の開催 ●地域防犯団体の落書き消し活動への支援 | | | | | | |
| | ①成果 | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| | 防災推進員養成研修やスクエアドストレート方式の交通安全教室の実施等を通じて、防災に係る地域の人材育成や安心して暮らせるまちづくりの推進を図ることができました。 | 防災推進員研修等の開催回数 | 目標 | 3 | 3 | 3 | 3 | 回 |
| | | 指標の説明 | 実績 | 3 | 3 | 3 | | |
| | ①成果や②指標を踏まえた評価 | 防災推進員養成研修、防災推進員フォロー研修の開催等を通じて、防災に係る地域の人材育成を進めるとともに、「みやまご近郊ピクニック」と連携した防災フェアやスクエアドストレート方式の交通安全教室の実施、資器材の配置等による避難所の環境整備等により、区民が安全で安心して暮らせるまちづくりの推進を図ることができ、一定の効果があつたと考えます。 | | | | | | |
| 6 | 区役所サービス向上事業 | <ul style="list-style-type: none"> ●照明設備LED化の実施 ●区役所2階ロビー等における「みやまろビーコンサート」の開催 | <ul style="list-style-type: none"> ●照明設備LED化の実施(約140か所) ●区役所2階ロビーにおける「みやまろビーコンサート」の開催(10回) | 8,148 | 6,790 | 3 | | |
| | | | | 9,097 | 7,691 | 3 | | |
| | | | | 10,003 | 4,868 | 3 | | |
| | | | | 8,608 | | | | |
| | その他の取組の実績等 | | | | | | | |
| | ①成果 | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| | 照明設備のLED化を通じて、快適性・安全性の向上に努めるとともに、「みやまろビーコンサート」を通じて、区のイメージアップや区民に対する行政サービス等の向上に向けた取組を進めることができました。 | 「みやまろビーコンサート」開催回数 | 目標 | 10 | 10 | 10 | 10 | 回 |
| | | 指標の説明 | 実績 | 10 | 10 | 10 | | |
| | ①成果や②指標を踏まえた評価 | 宮前市民館の照明設備のLED化(約140か所)により、来庁される方が快適・安全に利用できるための環境整備を進めたほか、区役所2階ロビーで「みやまろビーコンサート」を実施するなど、区のイメージアップや区民に対する行政サービス等の向上に向けた取組を進めることができ、一定の効果があつたと考えます。 | | | | | | |
| その他の取組 | 取組内容の実績等 | | 成果 | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 【区の新たな課題即応事業】 ・区役所及び市民館における介助用大型ベッドの整備、区役所2階ロビーにおける木製ベンチの設置、宮前市民館大ホール観客シートの補修、宮前市民館管生分館のプロジェクター購入、向丘出張所防犯カメラの設置 【地域課題対応事業その他事業】 ・市制100周年記念市民広場ベンチリニューアル事業、みどりのお散歩コース事業 | | 区の新たな課題即応事業について、区役所、宮前市民館、向丘出張所等において必要な備品を購入・設置することで、施設利用者の利便性や満足度、安全性の向上に寄与しました。また、市制100周年記念事業として区役所市民広場のベンチについて地域の子どもたちとリニューアルするとともに、区内のお散歩コースを再編することで、地域の方々に愛着を持つ取組を推進し、一定の効果があつたと考えます。 | | | | | |
| 上記の取組内容に対する事務事業の総合的な達成度 | | 3 | 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った | | | | | |

| 3 地域課題の解決に向けた今後の方向性 | |
|--|--|
| 区分 | 主要な取組の評価や総合的な達成度を踏まえた今後の方向性 |
| 地域課題の解決に向けて…… I 現在の取組をそのまま継続する II 取組を多少改善する必要がある III 取組を改善する必要がある IV 取組を抜本的に見直す必要がある | II <ul style="list-style-type: none"> ●地域課題対応事業については、地域の抱える課題解決や地域の特性を活かした事業を実施するものであることから、区を取り巻く状況の変化に的確に対応し、取り組んでいく必要があります。そのため、区民、地域団体等と日頃から連携し、毎年度の進捗管理を行い、より地域課題の解決や地域特性を活かした取組となるよう、必要な改善を図りながら着実に進めていきます。 |

1 事業の概要

| | | | | |
|------------|----------|-------------------------|------------------|-------|
| 政策体系上の位置づけ | 基本政策(1層) | 誰もが生きがいを持てる市民自治の地域づくり | | |
| | 政策(2層) | 参加と協働により市民自治を推進する | | |
| | 施策(3層) | 共に支え合う地域づくりに向けた区役所機能の強化 | | |
| | 直接目標 | 市民満足度の高い区役所サービスを提供する | | |
| 事務事業(4層) | 事務事業コード | 50103090 | 地域課題対応事業(多摩区) | 事務事業名 |
| 担当 | 組織コード | 711650 | 多摩区役所まちづくり推進部企画課 | 所属名 |

総合計画と連携する計画等 かわさき強靱化計画,住宅基本計画,緑の基本計画,デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進プラン,スポーツ推進計画,文化芸術振興計画,子どもの権利に関する行動計画

| | | |
|---------------------------|---------------|--|
| SDGsのゴール・ターゲットを意識した取組の方向性 | 17 持続可能な地域づくり | 17.17 区民の参加と協働により、地域の身近な課題解決や地域特性を活かした魅力あるまちづくりに向けた事業を実施します。 |
|---------------------------|---------------|--|

| | |
|--------------|--|
| 事業の概要(主要な取組) | <ul style="list-style-type: none"> ●区役所が主体となって、区民の参加と協働により、身近な地域の課題解決や魅力ある地域資源を活かした取組を推進します。 ●地域資源を活用した賑わいと魅力あるまちづくりの推進 ●災害に強く安全で安心できるまちづくりの推進 ●たまっ子を区民みんなで育てるまちづくりの推進 ●すこやかに安心して暮らせる地域福祉・健康のまちづくりの推進 ●市民自治を一層進める地域人材によるまちづくりの推進 ●区役所サービス向上事業 |
|--------------|--|

| 行財政改革第3期プログラムに関連する課題名 | 改革項目 | 課題名 |
|-------------------------------|--|-----|
| 取組3(1)多様な主体との協働・連携によるまちづくりの推進 | 25・多様な主体の参加と協働によるコミュニティ施策の推進 | |
| 取組3(1)多様な主体との協働・連携によるまちづくりの推進 | 26・多様な主体の参加と協働による地域包括ケアシステムの推進 | |
| 取組3(2)区役所機能の強化 | 8・区役所サービスの向上に向けた取組の推進 | |
| 取組3(3)地域防災力の向上に向けた連携 | 7・地域防災力の向上に向けた取組の推進 | |
| 取組3(4)積極的な情報共有の推進 | 10・デジタル技術の活用等による広報の推進 | |
| 取組4(2)行財政運営上の課題解決に必要な人材の育成 | 13・多様な主体の参加と協働によるまちづくりの推進等区役所に求められる人材育成の推進 | |
| 取組4(2)行財政運営上の課題解決に必要な人材の育成 | 14・災害対応力の向上に向けた職員の人材育成の推進 | |

| 予決算(単位:千円) | 年度 | R4年度 | | R5年度 | | R6年度 | | | R7年度 | | | |
|------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|--------|-----|
| | | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額(見込) | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 |
| | 事業費 A | 61,867 | 56,564 | 59,946 | 62,261 | 52,232 | 61,750 | 66,264 | 57,231 | 59,946 | 57,923 | |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - |
| | 市債 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - |
| | その他特財 | 1 | - | 1 | 1 | - | 1 | 1 | - | 1 | 1 | - |
| | 一般財源 | 61,866 | - | 59,945 | 62,260 | - | 61,749 | 66,263 | - | 59,945 | 57,922 | - |
| 人件費 B | 55,430 | 55,430 | 67,689 | 67,689 | 67,689 | 66,002 | 66,002 | 66,002 | 0 | 0 | 0 | |
| 総コスト(A+B) | 117,297 | 111,994 | 127,635 | 129,950 | 119,921 | 127,752 | 132,266 | 123,233 | 59,946 | 57,923 | 0 | |
| 人工(単位:人) | | 6.58 | | 7.94 | | | 7.68 | | | | | |

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

2 主要な取組の実施結果

| 番号 | 主要な取組 | 今年度の主要な取組内容 | 主要な取組内容の実績等 | 事業費(千円) | | 達成度 | | |
|----|--|--|--|---------|--------|------|------|----|
| | | | | 予算額 | 決算額 | | | |
| 1 | 地域資源を活用した賑わいと魅力あるまちづくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ●多様な地域主体と協働・連携した地域資源の魅力発信 ●地域資源を活用した「ピクニックタウン多摩区」のPR・イメージ醸成につながるイベントの開催 ●ARを活用したまちの回遊性向上・活性化の取組「たま de AR!」等の推進 ●子どもからシニアまで気軽にスポーツを楽しむ機会を提供する「多摩区スポーツフェスタ」の開催(開催回数:1回) ●「フロンタウン生田」や地域と連携したスポーツ事業の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ●緑化フェアと連携した取組として、生田緑地会場や向ヶ丘遊園駅南口のおもてなしブースにおいて、多摩区観光協会の観光ボランティアガイドによる観光案内を実施 ●市制100周年記念事業として区ゆかりの武将稲毛三郎重成をテーマにしたまち歩きイベント「緑のまちと重成の謎」を10月25日～11月24日に開催(参加者数1,107人) ●登戸・向ヶ丘遊園周辺地区における回遊性向上の取組「たま de AR!」～登戸・向ヶ丘遊園周辺地区を巡ろう～を実施 ●多摩区スポーツフェスタを10月14日に開催(参加者数4,026人) ●「Anker フロンタウン生田」と連携し、「ボールウォーキング&ストレッチ教室」など全4種類のスポーツ事業を実施 | 22,771 | 21,464 | 3 | | |
| | | | | 22,146 | 21,135 | 3 | | |
| | | | | 24,783 | 22,749 | 3 | | |
| | | | | 22,345 | | | | |
| | その他の取組の実績等 | <ul style="list-style-type: none"> ●区民との協働による音楽イベント「第14回たま音楽祭」を1月18日に開催(参加者数1,350人) ●多摩区ガイドマップ、観光ガイドブックを3月に発行(27,000部) | | | | | | |
| | ①成果 | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| | 地域の多様な主体と連携した区の魅力発信や、音楽・スポーツを活用したまちづくりを推進することができました。また、川崎市制100周年記念事業により、まちづくりの取組を一層推進することができました。 | 区民によるガイドツアーの開催回数 | 目標 | 8 | 8 | 8 | 8 | 回 |
| | | 指標の説明 区民の観光ボランティアガイドによるツアーの開催回数 | 実績 | 7 | 10 | 9 | | |
| | ①成果や②指標を踏まえた評価 | 市制100周年記念イベント等各種事業の実施を通じて、区内外の参加者に多摩区の魅力を知っていただくことができ、魅力ある地域資源を活かした活力ある地域づくりを推進することができました。また、観光ボランティアガイドによるガイドツアーや全国都市緑化かわさきフェア生田緑地会場や向ヶ丘遊園南口おもてなしブースでの観光案内をはじめとする取組により、区内の多様な主体との連携のもと、区の魅力を内外に発信することができ、地域資源を活用した賑わいと魅力あるまちづくりに一定の成果が出たと考えます。 | | | | | | |

| 番号 | 主要な取組 | 今年度の主要な取組内容 | 主要な取組内容の実績等 | 事業費(千円) | | 達成度 | |
|--|---|---|---|---------|-------|------|----|
| | | | | 予算額 | 決算額 | | |
| | | | | R4年度 | | | |
| | | | | R5年度 | | | |
| R6年度(決算額は見込) | | R7年度 | | | | | |
| 2 | 災害に強く安全で安心できるまちづくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ●自主防災組織、避難所運営会議が主催する各種会議・訓練への支援の実施 ●地域人材の防災力向上に向けた支援 ●地域団体、関係機関と連携した防災フェアの開催(開催回数:1回) ●区民や関係機関との連携による地域特性に応じた多摩区総合防災訓練の実施(開催回数:2回) ●防犯・交通安全をテーマにしたセミナーの開催(実施回数:1回) ●幼稚園、保育園、小学校を中心とした交通安全教室の実施(実施回数:80回) | <ul style="list-style-type: none"> ●自主防災組織の訓練(開催回数:65回)、避難所運営会議及び訓練の開催(開催回数:70回) ●地域人材の防災力向上に向けた防災キャンプの実施(実施回数:1回) ●防災フェアの開催(開催回数:1回) ●多摩区総合防災訓練の実施(開催回数:1回、参加人数:約200人)【訓練会場が衆議院選挙の投票場所となったため、1回を中止。】 ●安全・安心まちづくり講演会に替えて、防犯、防火、交通安全及び放置自転車に関する啓発イベントの多摩区安全・安心フェスタを開催(開催回数:1回) ●交通ルールやマナーの啓発のための交通安全教室を実施(開催回数:100回、参加人数:合計8,128人) | 4,430 | 4,445 | 3 | |
| | | | | 5,304 | 3,629 | 3 | |
| | | | | 4,768 | 3,553 | 3 | |
| | | | | 4,618 | | | |
| | その他の取組の実績等 | <ul style="list-style-type: none"> ●ぼうさい出前講座の開催(開催回数:41回) ●交通安全標語表彰の実施(応募作品数:1,939作品) | | | | | |
| ①成果 | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| 区総合防災訓練(1回)の他、自主防災組織、避難所運営会議の訓練、防災フェア・キャンプ等の開催、多摩区安全・安心フェスタや交通安全教室の開催等により、災害に強く安全で安心できるまちづくりの推進を図りました。 | 交通安全教室の実施回数 | 目標 | 80 | 80 | 80 | 80 | 回 |
| | 指標の説明 | 実績 | 93 | 95 | 100 | | |
| ①成果や②指標を踏まえた評価 | 地域の実情に合った防災訓練や出前講座等の実施により、災害に対する準備や意識の醸成を高めることができました。交通安全教室については、保育園・幼稚園、小学校においては児童及び保護者に対して、中学校、高等学校、自治会等の団体においては生徒及び高齢者等に対して、交通安全に関するルールやマナー教育を実施することができました。 | | | | | | |
| 3 | たまご子を区民みんなで育てるまちづくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ●地域全体で子ども子育て支援の取組の推進 ●子育てについて理解を深めるための情報提供や人材育成の推進 ●住民主体の外遊びイベントを通じた多世代交流の促進(実施回数:3回) ●多摩区子育て支援/バスポート事業の実施 ●子育て家庭のニーズに応じた情報発信 ●育児不安軽減を目的とした「地域子育てサロン」「育児支援グループ」の開催 ●安心して受けられる乳幼児健康診断・育児相談の開催 | <ul style="list-style-type: none"> ●多摩区子ども総合支援連携会議の開催(1回) ●「子育て支援者養成講座」の開催(連続講座1回) ●多摩区子どもの外遊び交流事業の実施(4回) ●区商店街連合会と協働で「子育て支援/バスポート事業」を実施(発行数2,261枚、協賛店74店) ●地域の子ども・子育て情報をまとめた多摩区地域子育て情報BOOKの作成(発行数5,000部) ●「地域子育てサロン」(2地区)を16回、「育児支援グループ」(2グループ)を20回実施(8月は台風接近のため中止) ●「乳幼児健康診断」を72回、「育児相談」を12回実施 | 6,493 | 5,522 | 3 | |
| | | | | 6,090 | 5,418 | 3 | |
| | | | | 5,931 | 4,531 | 3 | |
| | | | | 4,129 | | | |
| | その他の取組の実績等 | | | | | | |
| ①成果 | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| 多摩区子ども総合支援連携会議や子育て支援者養成講座の開催により子ども、子育てに関わる関係機関や団体間の連携強化と人材育成を図ることができました。子育て中の親子に向けて、地域子育てサロン、遊び場など交流できる場の提供と、子育てに必要な情報の提供をすることで、個々の育児不安の軽減と子育て力の向上を促すことができました。 | 住民主体の外遊びイベントの開催回数 | 目標 | 3 | 3 | 3 | 3 | 回 |
| | 指標の説明 | 実績 | 4 | 4 | 4 | | |
| ①成果や②指標を踏まえた評価 | 子育て中の親子に向けた地域子育てサロンや外遊びイベントなどを実施するとともに、子育てに必要な情報の提供を行うことで、育児不安の軽減や子育て力の向上を図ることができました。また、多摩区子ども総合支援連携会議の開催を通じて、関係機関・団体間の連携強化と人材育成を図るなど、地域が一体となった子育て支援の環境づくりを推進しました。 | | | | | | |
| 4 | すこやかに安心して暮らせる地域福祉・健康のまちづくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ●地域特性に応じた多世代で支え合う地域づくりの推進 ●小学生に対する認知症サポーター養成講座及び中学生に対する認知症講演会の開催(開催回数:21回) ●区内の障害者の団体、生活・就労支援を行っている障害者施設等の活動紹介や作品展示などを行う「バサージュ・たま」の定期的な開催(開催回数22回) | <ul style="list-style-type: none"> ●5地区での地域づくりを推進。中野島地区では、「中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会」を開催(2回)、菅地区では、「地ケアつながりプロジェクト〜TeamSUG〜」を開催(2回)、登戸地区では、「のぼりとミーティング」を開催(1回) ●小学生に対する認知症サポーター養成講座は13校実施。中学生に対する認知症講演会や認知症サポーター養成講座は6校実施。【各学校に対して積極的に働きかけを行ったが、カリキュラムの都合上、授業に組み込むことが難しく、開催を希望しない学校もあったため、19回の開催となった。】 ●「バサージュ・たま」を区役所アトリウムで開催(21回)。JR南武線登戸駅南北自由通路にて開催(2回) | 5,074 | 5,003 | 3 | |
| | | | | 5,078 | 4,307 | 3 | |
| | | | | 5,775 | 4,123 | 3 | |
| | | | | 4,896 | | | |
| | その他の取組の実績等 | <ul style="list-style-type: none"> ●子どもを通じた子育て世代へ地域包括ケアシステムの認知度向上のため、区内の小中学生を対象として「子どもタウンニュース多摩版」を作成(年1回、10,000部発行) ●障害者団体等の支援や障害に関する理解促進のため、多摩区ソーシャルデザインセンターと連携して同センター事務所において区内作業所等の作品の常設展示・販売を実施 ●障害に関する普及啓発の取組として、バサージュ・たま出展団体の活動内容をまとめた映像(1団体)の作成 | | | | | |
| ①成果 | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| 地域の実情を把握するための基礎調査の継続や地区の特性に応じた取組を実施し住民自らが地域課題を解決するための支援を地域の実情に応じて進めることができました。 | 「バサージュ・たま」の開催回数 | 目標 | 22 | 22 | 22 | 22 | 回 |
| | 指標の説明 | 実績 | 22 | 18 | 23 | | |
| ①成果や②指標を踏まえた評価 | 地域包括ケアシステムの推進に向けて、地域の実情を把握するための基礎調査を継続して実施するとともに、幅広い世代へ地域福祉や地域の身近な地域情報を発信するための広報誌の作成等を行うなど、住民自らが地域課題を解決していくための取組を進めることができました。また、小学校・中学校を対象とした認知症講座・講演会については、希望制ではあるが、積極的に受講してもらえよう各校に働きかけを行いました。区内の障害者団体、生活・就労支援を行っている障害者施設等の活動紹介や作品展示などを行う「バサージュ・たま」については区役所アトリウムでの開催とともに、区民が多く利用するJR南武線登戸駅南北自由通路においても開催し、区内の障害者団体の活動等について発信を行うことができました。 | | | | | | |

| 番号 | 主要な取組 | 今年度の主要な取組内容 | 主要な取組内容の実績等 | 事業費(千円) | | 達成度 | | | |
|---|---|---|--|--|--------|------|------|------|----|
| | | | | 予算額 | 決算額 | | | | |
| | | | | R4年度 | | | | | |
| | | | | R5年度 | | | | | |
| | | R6年度(決算額は見込) | | R7年度 | | | | | |
| 5 | 市民自治を一層進める地域人材によるまちづくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ●大学との連携による地域課題解決に向けた「大学・地域連携事業」の実施 ●大学と地域の連携を促進する「たまなびプログラム」による地域づくりの推進 ●区にゆかりのある3大学の学生を中心とした「多摩区3大学コンサート」の開催(開催回数:1回) ●町内会・自治会への加入に向けた啓発活動など支援の実施 ●地域住民を対象とした地域活性化に向けた講演会等の開催 ●評価・検証を踏まえた多摩区における区域レベルの取組の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ●区にゆかりのある3大学と地域社会の連携による「大学・地域連携事業」(デジタル技術を活用した防災まちづくり手法の開発)、「子どもたちと再発見する多摩区の生物多様性」、「令和の里山の使い方～生田緑地を対象に～」を実施(各大学1事業、計3事業) ●「たまなびプログラム」として、区にゆかりのある3大学の学生が「多摩区の食」をテーマに地元農家の訪問や地域の食材を使用したレシピの考案、地域住民に振舞イベントを開催するなどの地域活動を実施(9～12月) ●「多摩区3大学コンサート～水と緑と学びのまち～」を11月9日に開催(参加者数約350人) ●町内会自治会加入促進リーフレットを10,000部発行 ●町内会自治会の課題に対応した講演会を2月22日に開催 ●多摩区ソーシャルデザインセンターの運営支援を行い、市民創発による地域課題解決に向けた取組を推進 | 16,178 | 11,691 | 3 | | | |
| | | | | 16,352 | 12,432 | 3 | | | |
| | | | | 17,712 | 15,902 | 3 | | | |
| | | | | 15,327 | | | | | |
| | | その他の取組の実績等 | ●令和6年度に地域利用を開始した生田出張所新広場において、地域との協働により市制100周年を記念した植樹を10月5日に実施(参加者数約150人) | | | | | | |
| ①成果 | | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| 町内会・自治会や大学など地域の多様な主体と連携しながら、課題解決に向けた取組を推進することができました。「たまなびプログラム」では3大学の学生が地域の方々に多摩区の魅力を学び、自主的に地域活動を実践する取組を実施しました。 | | 町内会・自治会への加入に向けて作成する広報物の発行回数 | | 目標 | 2 | 2 | 2 | 2 | 回 |
| | | 指標の説明 | | 実績 | 2 | 2 | 2 | | |
| ①成果や②指標を踏まえた評価 | | 地域コミュニティ活性化に向けた支援として、町内会・自治会への加入促進に向けた広報物を作成しました。また、「たまなびプログラム」や「多摩区3大学コンサート」など、大学と地域の交流・連携を図る取組の推進により、若い世代の地域への愛着の醸成や、地域社会への参加の契機とすることができました。更に、「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」における区域レベルの取組として、多摩区ソーシャルデザインセンターへの運営支援を行い、市民創発による地域課題解決に向けた取組を推進しました。 | | | | | | | |
| 6 | 区役所サービス向上事業 | <ul style="list-style-type: none"> ●窓口アンケート・外部評価実施結果に基づく改善策の検討・実施 ●窓口対応時のスキルアップのための職員研修の実施 ●ワーキンググループによる課題解決策の検討・実施 | <ul style="list-style-type: none"> ●「区役所サービス基準」の活用状況に係る外部評価の結果に基づき、係長・新規採用職員指導者向けの区役所サービス向上研修を実施 ●窓口対応時のスキルアップのため、新規採用職員を主たる対象者とする「接遇研修」や「くやしい日本語」研修を庁内講師により実施 ●関係各課職員で構成したワーキンググループでの活動を通じ、「おくやみコーナー」開設に向けた検討、「書かない窓口」検討ワーキンググループでは今後の窓口業務のあり方検討を実施 | 263 | 227 | 3 | | | |
| | | | | 250 | 98 | 3 | | | |
| | | | | 260 | 135 | 3 | | | |
| | | | | 257 | | | | | |
| | | その他の取組の実績等 | | | | | | | |
| ①成果 | | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| 新規採用職員やその係長・指導者を対象とした各種研修を実施することで、窓口対応スキルを維持・向上できました。ワーキンググループでの検討・実施を通じ、おくやみコーナーや書かない窓口など新たな行政課題への対応に取り組みました。 | | 区役所利用者のサービス満足度 | | 目標 | - | 99以上 | - | 99以上 | % |
| | | 指標の説明 | | 実績 | - | 100 | - | | |
| ①成果や②指標を踏まえた評価 | | 区役所サービス向上事業の目的である、窓口職場をはじめとする区役所全体のサービスの維持・向上に向けた取組ができたとともに、ワーキンググループの活動を通じ、おくやみコーナーや書かない窓口など新たな行政課題への対応や改善を実施しました。 | | | | | | | |
| その他の取組 | 取組内容の実績等 | | | 成果 | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●生田緑地エントランススポット修繕工事 ●区役所1階待合スペース環境整備事業 | | | <ul style="list-style-type: none"> ●生田緑地エントランススポットを市民が安全に利用できるような修繕するとともに、緑化フェア開催にあわせた玄関口にふさわしい設えとなるよう整備しました。 ●窓口体験調査に伴う対応及び「おくやみコーナー」や「マイナンバー相談窓口」などの新たな業務への対応を行い、区民サービスの向上に取り組むため、区役所1階待合スペースのソファを色調の明るいものに交換、追加するなど環境整備を実施しました。 | | | | | |
| 上記の取組内容に対する事務事業の総合的な達成度 | | 3 | 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った | | | | | | |

| 3 地域課題の解決に向けた今後の方向性 | |
|--|--|
| 区分 | 主要な取組の評価や総合的な達成度を踏まえた今後の方向性 |
| 地域課題の解決に向けて…… I 現在の取組をそのまま継続する II 取組を多少改善する必要がある III 取組を改善する必要がある IV 取組を抜本的に見直す必要がある | I <ul style="list-style-type: none"> ●各取組については、一定の成果があったものであり、引き続き、地域で活動する多様な主体との協働や、自然や区内の大学といった地域資源を活用した取組等の推進、状況に応じた取組の改善により、区の抱える多様な地域課題に対応していきます。 ●川崎市市制100周年及び全国都市緑化かわさきフェアを契機とした取組について、引き続き、スポーツを通じた居場所の創出や健康づくり、豊富な地域資源を活用した区内外への積極的な区の魅力発信、記念植樹をきっかけとした生田出張所の地域コミュニティの更なる拠点化等、地域の一体感の醸成を図るとともに、地域活性化に向けた取り組みを一層推進していきます。 ●主要な取組2の多摩区総合防災訓練について、実施に向けた調整を進めていたものの訓練会場が衆議院選挙の投票所となったため、1回は中止となったが、来年度以降も実施に向けて円滑な調整を行います。主要な取組4の小学校・中学校を対象とした認知症サポーター養成講座や講演会について、希望制ではあるが、積極的に受講してもらえるよう、来年度以降も各校に働きかけを行います。 |

令和6年度 事務事業評価シート(地域課題対応事業用)

麻生区

| 1 事業の概要 | | | | | | | | | | | | |
|--|---|---|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|
| 政策体系上の位置づけ | 基本政策(1層) | 誰もが生きがいを持てる市民自治の地域づくり | | | | | | | | | | |
| | 政策(2層) | 参加と協働により市民自治を推進する | | | | | | | | | | |
| | 施策(3層) | 共に支え合う地域づくりに向けた区役所機能の強化 | | | | | | | | | | |
| | 直接目標 | 市民満足度の高い区役所サービスを提供する | | | | | | | | | | |
| 事務事業(4層) | 事務事業コード | 事務事業名 | | | | | | | | | | |
| | 50103100 | 地域課題対応事業(麻生区) | | | | | | | | | | |
| 担当 | 組織コード | 所属名 | | | | | | | | | | |
| | 731650 | 麻生区役所まちづくり推進部企画課 | | | | | | | | | | |
| 総合計画と連携する計画等 かわさき強靱化計画,国際地産推進プラン,住宅基本計画,緑の基本計画,農業振興計画,デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進プラン,スポーツ推進計画,文化芸術振興計画,新・かわさき観光振興プラン,子どもの権利に関する行動計画 | | | | | | | | | | | | |
| SDGsのゴール・ターゲットを意識した取組の方向性 | 17.17 | 音楽、芸術、文化、農などの区内の資源を活用し、様々な主体と協働・連携したまちづくりを推進することにより、子どもから高齢者まで安全・安心で、誰もが住み続けたいと思えるまちを目指す。 | | | | | | | | | | |
| 事業の概要(主要な取組) | 「豊かな自然と芸術が溶け合う活力のあるまち」を目指し、区民の参加と協働により、地域の身近な課題解決や魅力ある地域資源を活かした事業・取組を進めます。 ・芸術・文化のまちづくりの推進 ・高齢化への対応とすこやか・支え合いのまちづくりの推進 ・総合的な子ども・子育て支援の推進 ・区役所サービス向上事業 ・農と環境を活かしたまちづくりの推進 ・安全・安心まちづくりの推進 ・地域資源を活用したコミュニティづくりの推進 | | | | | | | | | | | |
| 行財政改革第3期プログラムに関連する課題名 | 改革項目 | 課題名 | | | | | | | | | | |
| | 取組3(1)多様な主体との協働・連携によるまちづくりの推進 | 27・多様な主体の参加と協働によるコミュニティ施策の推進 | | | | | | | | | | |
| | 取組3(1)多様な主体との協働・連携によるまちづくりの推進 | 28・多様な主体の参加と協働による地域包括ケアシステムの推進 | | | | | | | | | | |
| | 取組3(2)区役所機能の強化 | 9・区役所サービスの向上に向けた取組の推進 | | | | | | | | | | |
| | 取組4(2)行財政運営上の課題解決に必要な人材の育成 | 15・ワーキンググループを活用した課題解決の取組と更なる区役所サービス向上等に向けた人材育成の推進 | | | | | | | | | | |
| 取組4(2)行財政運営上の課題解決に必要な人材の育成 | 16・災害対応力強化のための職員の人材育成 | | | | | | | | | | | |
| 予決算(単位:千円) | 年度 | R4年度 | | R5年度 | | R6年度 | | R7年度 | | | | |
| | | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額(見込) | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 |
| | 事業費 A | 65,359 | 58,996 | 64,433 | 67,624 | 57,812 | 64,349 | 81,710 | 75,293 | 64,734 | 67,165 | |
| | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 |
| | | 市債 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 |
| | | その他特財 | 6,723 | - | 6,961 | 6,932 | - | 6,723 | 6,944 | - | 6,961 | 6,944 |
| | | 一般財源 | 58,636 | - | 57,472 | 60,692 | - | 57,626 | 74,766 | - | 57,773 | 60,221 |
| | 人件費 B | 84,408 | 84,408 | 84,568 | 84,568 | 84,568 | 88,862 | 88,862 | 88,862 | 0 | 0 | |
| | 総コスト(A+B) | 149,767 | 143,404 | 149,001 | 152,192 | 142,380 | 153,211 | 170,572 | 164,155 | 64,734 | 67,165 | |
| | 人工(単位:人) | 10.02 | | 9.92 | | 10.34 | | | | | | |

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

| 2 主要な取組の実施結果 | | | | | | | | | | |
|--|----------------|--|---|---------|--------|--------|--------|--------|--------------|------|
| 番号 | 主要な取組 | 今年度の主要な取組内容 | 主要な取組内容の実績等 | 事業費(千円) | | 達成度 | | | | |
| | | | | 予算額 | 決算額 | | R4年度 | R5年度 | R6年度(決算額は見込) | R7年度 |
| 1 | 芸術・文化のまちづくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ●芸術・文化等の情報発信 ●芸術・文化団体の情報交換・交流の場づくり、区民の芸術文化を通じたつながりづくりの推進 ●新百合ヶ丘駅周辺の更なる魅力向上に向けた取組の推進 ●地域の音楽団体や学校との協働による麻生音楽祭の開催 ●あさお芸術のまちコンサートの開催 ●区の観光資源の魅力発信 ●「禅寺丸柿の日」イベントの開催 | <ul style="list-style-type: none"> ●「しんゆり・芸術のまち」ホームページの改良や他団体のイベントやメディアを活用した情報発信、SNSやPRボード(区内33か所)の活用など芸術・文化関連情報の収集・発信機能を拡充 ●「あさお芸術・文化交流カフェ」の開催(2回)、区民が区の芸術・文化活動に参加するきっかけとなる「カフェ・グランデ あさお」の開催(入場者数:約300人)、及び読売日本交響楽団との地域交流の実施(小学校での出張演奏1回、コンサートへの楽団員出演2回) ●「アルテリカしんゆり」,「Kirara@アートしんゆり」,「しんゆりストリートピアノ」等芸術関連イベントの支援 ●麻生音楽祭の開催(6部門、参加者・入場者数:7,317人) ●あさお芸術のまちコンサートの開催(開催回数:4回、入場者数:約1,000人) ●麻生区観光写真コンクールの実施(作品応募数:252点) ●禅寺丸柿の柿もぎ・芋掘り体験の開催(応募者数:143人・雨天のため中止)及び禅寺丸柿に関するパネルと市内小学校児童の絵画展示(1回) | 17,065 | 16,477 | 3 | | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●区内小学校体育館を会場とした映画上映会の開催(入場者数:約400人) ●「第21回あさお古風七草粥の会」の開催(750食提供) ●新百合ヶ丘駅南口バスターミナルの柱を利用したイベント広報の実施(4件) ●市制100周年を記念し、あさお区民まつりイベントとして、麻生区の「推し!」の絵画展(応募133作品)、「あさお誕生ものがたり」の上映会(開催回数:2回、入場者数:約600人、しんゆり野外シネマ(約300人)、あさおバルブオーク(33店舗参加)を実施 ●区内で活動する団体が一体となり、市制100周年記念事業「あさおの川崎100周年祭」として、「カフェ・グランデ あさお」、「1000人でオーケストラと歌おう!」、「思い出上映会」、「かわさきワインサミット」、「しんゆり21×21祭」、「まちのひろば祭り」、「ゴジラコンサート・特別上映会・トークショー・特別展示(来場者数:2日間合計約20,000人)を実施 | 17,653 | 16,790 | 3 | | | | | |
| | その他の取組の実績等 | | | 30,670 | 29,855 | 3 | | | | |
| | | | | 18,673 | | | | | | |
| ①成果 | | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 | |
| 市民ボランティアや関係団体等と協働して多様なイベントや広報活動を実施し、多くの市民に芸術・文化に触れる機会を提供することができました。「カフェ・グランデ あさお」では、参加団体間のコラボレーションによるステージや展示を行い、区内の芸術・文化活動の魅力を発信するとともに、団体間の交流と連携を促進することができました。 | | 「しんゆり・芸術のまち」ホームページアクセス数 | | 目標 | 18,000 | 19,000 | 20,000 | 21,000 | 回 | |
| | | 指標の説明 | | 実績 | 32,631 | 47,724 | 58,644 | | | |
| ①成果や②指標を踏まえた評価 | | HP、SNSや地域メディア等を活用した情報発信を行い、麻生音楽祭やあさお芸術のまちコンサート等を開催することで、継続的に「芸術・文化のまち」を発信することができました。市制100周年記念事業として麻生音楽祭は「1000人でオーケストラと歌おう!」を実施、あさお芸術のまちコンサートからは、芸術のまち合奏団・合唱団がゴジラコンサートに出演するなど、例年以上に多くの区民に芸術・文化に触れる機会を提供しました。「カフェ・グランデ あさお」は、「あさお芸術・文化交流カフェ」での意見交換をもとに企画し、「みんなで伸ばそう!アートの芽」をテーマに主に子どもをターゲットにしたワークショップを充実させたり、「100人100色アートの芽」と題した共同ワークショップを通して、音楽、演劇、美術など多様なジャンルの芸術・文化団体がコラボレーションして参加団体間の交流と連携を促進しました。さらに、かわさきバラムーヴメントの理念を生かしたイベント「ユニヴァーサル〜For You〜」を実施するなど、誰もが身近に芸術・文化を感じるまちづくりの取組の推進に寄与することができ、一定の成果があったと考えます。 | | | | | | | | |

| 番号 | 主要な取組 | 今年度の主要な取組内容 | 主要な取組内容の実績等 | 事業費(千円) | | 達成度 | | | |
|--|----------------------------|--|---|---------|-------|------|------|------|----|
| | | | | 予算額 | 決算額 | | | | |
| | | | | R4年度 | | | | | |
| | | | | R5年度 | | | | | |
| | | R6年度(決算額は見込) | | R7年度 | | | | | |
| 2 | 農と環境を活かしたまちづくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ●黒川地区における実施計画等に基づく取組の推進 ●岡上地区、早野地区における地域活性化に向けた取組の推進 ●SDGs推進に向けた取組の実施 ●地球環境保全に関する普及啓発の推進 ●里地・里山保全に関するイベント、人材育成交流事業等の開催 ●里地・里山の魅力の発信 | <ul style="list-style-type: none"> ●「黒川地域農と環境を活かしたまちづくり実施計画」等に基づき、黒川地域連携協議会の2つの専門部会において、収穫体験(2回)、美術展(1回)を実施 ●岡上地区において、農業者、大学、小学校及び町内会等の地域関係者の意見交換会を開催(2回)するとともに、初めての試みとして、岡上地域の魅力をまるごと楽しめるグリーンツーリズム(1回)を実施 ●SDGs推進に向け、関係局と連携し、行政施設、大学等で「緑(ゴーヤ)のカーテン」の普及啓発を実施するとともに、サステナブルをテーマに企業・大学・団体が集まる「サステナブルマルシェ」を開催 ●自然エネルギーの普及啓発に関する講演会・出前授業等の実施(7回) ●里地・里山カフェ塾や里山フォーラムといった里地・里山保全に関するイベントや人材育成交流事業等の開催(9回) ●風景写真展の開催(1回)、風景写真記録集の発行(150部) | 5,970 | 5,757 | 3 | | | |
| | その他の取組の実績等 | <ul style="list-style-type: none"> ●岡上営農団地において、JAセシサ川崎と市制100周年を記念して、「田んぼアート」親子稲刈り体験(参加者数:約100人)を実施 ●麻生区の食材を活かした親子料理教室「麻生区トモシクキッチン」(1回)を実施 ●早野産野菜の直売会、早野産やまももを活用したクラフトビールの制作における地域イベントと連携した取組(1回)を実施 ●全国都市緑化かわさきフェアの秋開催に合わせて、区内各地の公園や緑地で行われているイベントをつなぐ「あさお公園スタンプラリー」(参加者数:延べ460人)を実施 | 6,836 | 5,718 | 3 | | | | |
| | | | | 6,632 | 6,319 | 3 | | | |
| | | | | 7,285 | | | | | |
| ①成果 | | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| 黒川地域における農業資源や環境資源を活用し、各種イベントを実施したことや、団体の情報交換の場や次世代育成の場としての里山フォーラムの開催、身近なエコ活動や自然エネルギーについての普及・啓発活動等により、麻生区の貴重な農業資源や環境資源への理解を深めることができました。 | | 農と環境を活かした多様な主体と連携したイベントの実施回数 | | 目標 | 3 | 3 | 3 | 3 | 回 |
| | | 指標の説明 地域活性化に向けた農産物収穫体験イベント等の開催回数 | | 実績 | 3 | 3 | 6 | | |
| ①成果や②指標を踏まえた評価 | | 令和6年度は市制100周年記念事業として、黒川・岡上で当初目標を上回るイベント回数を実施しました。黒川地域連携協議会を通じて、地元農業者や大学等と連携した収穫体験などの取組を実施したことや、魅力の発信において一定の成果があったと考えます。 | | | | | | | |
| 3 | 高齢化への対応とすこやか・支え合いのまちづくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ●ちいきのちからシートを活用した住民主体の地域づくりに向けた取組の支援 ●関係機関、団体に対するヒアリングの実施、結果等を反映した地区カルテの充実 ●新たなボランティアの養成 ●健康づくり・介護予防活動の普及啓発 ●健康づくり・介護予防ボランティアグループへの支援 ●地域包括ケアシステムや保健福祉に関する講演会、講座の開催等 ●あさお福祉まつりの開催による地域福祉の推進 ●高齢者見守りネットワーク事業の充実による支え合いの地域づくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ●町会、自治会や関連機関に対するツール紹介及び、3/23の健康フェスn白山において、来場した参加者向けに紙のシートを使用して実施 ●地区カルテの更新作業を実施 ●健康づくりボランティア・食生活改善推進養成教室にて新たなボランティアを養成(12名) ●健康づくりボランティア・食生活改善推進員養成教室を最大7日間コースとして実施 ●健康づくり・介護予防ボランティア支援として、スキルアップ講座を実施(1回) ●地域包括ケアシステムや保健福祉に関する講演会を実施(3回) ●あさお福祉まつりを開催(参加者数:約5,600人) ●麻生区高齢者見守りネットワーク事業情報交換会を実施(2回)。また、麻生区高齢者見守りネットワーク事業の協力事業者が2社新規加入 | 3,781 | 2,249 | 3 | | | |
| | その他の取組の実績等 | <ul style="list-style-type: none"> ●麻生区「長寿日本一〜その先へ〜」と題し、区民への健康チェックに加え、こころの豊かさやゆとりに着目した取組として区民の幸せを募集し、区民まつりや福祉まつり等で発表 ●支え合いのまちづくりを推進するために小地域で地域情報交換会を開催し、町会や民生委員とともに地域課題の共有を行い顔の見える関係づくりの場を創出 ●認知症についての理解を深めるために「そなえる認知症Ⅰ・Ⅱ」を開催し、摂食・嚥下機能維持の向上や、認知症とともに地域で生きていくことをテーマに講演会を実施 | 3,456 | 2,892 | 3 | | | | |
| | | | | 3,325 | 2,825 | 3 | | | |
| | | | | 3,354 | | | | | |
| ①成果 | | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| 区域単位での事業(あさお福祉まつり、高齢者見守りネットワーク事業、各種講演会等)にとどまらず、小地域や各団体単位での支援事業(ちいきのちからシート、地域情報交換会等)を進めたことにより、地域の実情に合わせた支援を行うことができました。 | | 高齢者見守りネットワーク事業の協力事業者数 | | 目標 | 25 | 27 | 29 | 31 | 社 |
| | | 指標の説明 高齢者見守りネットワーク事業の協力事業者数 | | 実績 | 24 | 26 | 28 | | |
| ①成果や②指標を踏まえた評価 | | 高齢者見守りネットワーク事業の協力事業者数については、他課との連携による事業者への呼びかけを行い、昨年度より協力事業者数の加入数を増やしましたが、目標値を達成することができませんでした。しかしながら、区域全体や小地域単位ごとの地域特性に合わせた様々なアプローチを展開したことにより、地域住民や地域団体が主体となって支え合いの地域づくりに向けた取組を推進できたと考えます。 | | | | | | | |
| 4 | 安全・安心まちづくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ●個人に向けた適正避難行動及び家庭内備蓄の啓発 ●多様な主体の連携による総合防災訓練、区民防災塾の開催 ●防災のつどいの開催や、自主防災組織による訓練への支援 ●災害時に自助と共助(互助)による避難所の開設・運営ができるよう、避難所運営会議を支援 ●関係団体等との連携した街頭啓発活動の実施 ●小学生や幼稚園、保育園児を対象とした交通安全教育の実施 ●中高生を対象としたスクエアストリート方式の交通安全教育の実施 ●高齢者を対象とした交通安全教育の実施 ●安全パトロール実施組織へのパトロール物品貸与等による活動支援の実施 ●関係団体等と連携した防犯啓発 | <ul style="list-style-type: none"> ●地域住民や地域団体からの依頼に基づき適正避難行動や家庭内備蓄について啓発する「ぼうさい出前講座」の実施(40回) ●市総合防災訓練や備えるフェスタと合同開催となった麻生区総合防災訓練の実施(2回)のうち1回は台風のため中止、区民防災塾の実施(1回) ●防災のつどいの実施(1回)、自主防災組織による自主的な訓練のための指導・助言(53回) ●避難所運営会議の開催支援(25ヶ所) ●麻生区交通安全対策協議会等と連携した街頭啓発活動の実施(30回) ●区内小学校、幼稚・保育園を対象とした交通安全教室の実施(76回) ●中高生等を対象としたスクエアストリート方式の交通安全教室(スタントマンの実演による交通事故再現を行うことで危険性を理解してもらった交通安全教室)の実施(3回) ●高齢者を対象としたシルバードライビング教室の開催(1回) ●地域パトロール団体へのパトロール物品貸与による活動支援(延21団体)、わんわんパトロール事業を通じた個人の防犯見守り活動支援(総登録者221名) ●麻生区メール配信システムによる防犯情報の送信(配信件数:63件)、防犯関連研修会の実施(2回)及び小学生を対象としたスポーツ防犯教室の実施(2回) | 6,734 | 5,819 | 3 | | | |
| | その他の取組の実績等 | <ul style="list-style-type: none"> ●「小学校区危険箇所案内マップ」について、従前よりも地図上の情報量を増やし、危険箇所の視認性を向上させるとともに、紙媒体からデータに変更し、小学校のGIGA端末での閲覧を可能とすることにより、閲覧対象者を全学年へ拡大 | 6,472 | 5,443 | 3 | | | | |
| | | | | 6,745 | 5,864 | 3 | | | |
| | | | | 6,933 | | | | | |
| ①成果 | | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| 新たな視点や工夫を加え、防災・防犯の取組を継続して進めてきた結果、概ね目標は達成し、地域における防災力の向上及び安全・安心のまちづくりに貢献しました。 | | 避難所運営会議の開催箇所数 | | 目標 | 25 | 25 | 25 | 25 | 箇所 |
| | | 指標の説明 自主防災組織、施設管理者や区本部被災者支援班、本庁の避難所運営委員等で構成する避難所運営会議の開催回数(全25ヶ所中) | | 実績 | 25 | 25 | 25 | | |
| ①成果や②指標を踏まえた評価 | | 地域での自主的な防災訓練への支援や全ての避難所運営会議の開催、総合防災訓練や防災のつどいの実施等により、自主防災組織等地域住民の防災意識・技能の向上につながりました。その他、区民防災塾やぼうさい出前講座の実施等、多角的な啓発を行い、幅広い層への防災知識の周知を行いました。防犯及び交通安全については、これまでの実施内容の見直しを図りながら交通安全の啓発事業や地域の防犯組織と連携した取組を行うとともに、区民への防犯情報等を継続的かつ効果的に実施したことにより、安全・安心なまちづくりの推進の一助となったものと考えます。 | | | | | | | |

| 番号 | 主要な取組 | 今年度の主要な取組内容 | 主要な取組内容の実績等 | 事業費(千円) | | 達成度 | | | |
|--|--|--|---|--|--------|------|------|------|----|
| | | | | 予算額 | 決算額 | | | | |
| | | | | R4年度 | | | | | |
| | | | | R5年度 | | | | | |
| | | R6年度(決算額は見込) | | R7年度 | | | | | |
| 5 | 総合的な子ども・子育て支援の推進 | <ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育て関連団体等との連携会議を通じた情報共有の促進 地域ぐるみで子ども・子育て支援に取り組むための研修・講座等の実施 子育て人材バンク事業による区内子育てサークル等への活動支援の推進 子育て関係機関や民間企業等と連携した子育て支援事業の実施 関係団体等との連携によるあさお子育てフェスタの開催 子ども・子育て情報の発信 大学との連携・協力による体験学習等の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 麻生区子ども関連ネットワーク会議の開催(全体会2回※うち委員向け研修1回) 子ども・子育て支援に関する研修・講座等の実施(1回) 子育て人材バンク事業の実施(ボランティア派遣51件、51人) 企業と連携し、幼児作品展(26回)、緑化展示(7回)を実施 あさお子育てフェスタを区役所前広場・市民館で実施(参加者数:約1,000人) 子育て情報誌「きゅっとハグあさお」(5,000部)、「ちびっこおでかけMAP」(11,000部)を発行、HP等にて、子育て関係施設の情報を発信(毎月更新) 昭和音楽大学連携により「吹奏楽団ファミリー定期演奏会」、「交流コンサート」、和光大学連携により「ファミリー体験学習in鶴見川」、田園調布学園大学連携により「キッズアート田園」、「けろろ田園チャイルド」、日本映画大学連携により「こども映画大学」、玉川大学連携により「親子で体験アドベンチャー 玉川大学TAPセンター」、「赤ちゃん講座」を実施。 | 5,528 | 3,560 | 3 | | | |
| | | | | 4,900 | 3,956 | 3 | | | |
| | その他の取組の実績等 | ●事業周知を図るために、子育てフェスタの会場を利用し、大学連携事業で作成した作品上映を実施 | | | | | | | |
| ①成果 | | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| 事業の内容や手法の工夫・見直しを行うことで、子育て支援の推進に寄りました。また、大学連携事業では市制100周年記念事業として位置付け、市全域に事業の魅力を発信することができました。 | | 大学との連携・協力による実施事業数 | | 目標 | 9 | 8 | 8 | 8 | 事業 |
| | | 指標の説明 大学との連携・協力により実施した事業の数 | | 実績 | 7 | 8 | 8 | | |
| ①成果や②指標を踏まえた評価 | | 台風などの天候による影響等で開催期間や内容の見直しがあったものの、すべての大学連携事業を実施することができました。区内の子育て関係機関や団体との情報共有、冊子やHP等を活用した子育て支援情報の発信など、身近な子育て支援を推奨することなどにより、総合的な子ども・子育て支援の推進に一定の成果があったと考えます。 | | | | | | | |
| 6 | 地域資源を活用したコミュニティづくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> 町内会・自治会加入促進カドブック等を活用した町内会・自治会への加入促進 市民活動団体交流イベント、市民活動参加を促す人材育成講座等の実施 さまざまな媒体を活用した情報発信・提供 「麻生市民交流館やまゆり」による提案型事業の推進 市民創発によるまちづくりに向けた取組の推進 地域のスポーツ資源を活用した活動支援、教室開催、イベント実施 総合型地域スポーツクラブの活動支援と他団体との連携促進 バラスポーツの普及・促進に向けた取組の推進 | <ul style="list-style-type: none"> 転入者等への「町内会・自治会カドブック」の配布、「麻生区町連だより」の発行(3回)、及び町内会・自治会への加入促進に向けて自治会コミュニケーションツール「いちのいち」を周知 市民活動団体の活動発表会(1回)、アクティブシニア講座(5回)、「ピバ!あさおの子どもたち」(1回)等の実施 市民活動に関する情報を掲載した広報誌の発行(6回)、地域ソーシャル・ネットワーク・キープ・サイトを活用した情報発信・提供 麻生市民交流館やまゆりによる「地域コミュニティ活動支援事業」において、6事業を選定し、助成を実施 麻生区ソーシャルデザインセンター4月開設、まちのひろば祭り開催(2回)、100人カイギ開催(12回)、12月NPO法人化 あさおスポーツフェスティバルにおける、区内のスポーツ団体が主催するスポーツ大会への支援(13回)、スポーツ・健康ロード等の地域資源を活用したイベントの開催(10回)、及び川崎フロンターレ麻生アシストクラブとの連携事業(ホームゲーム応援ツアー1回、青まつり1回) 区内総合型地域スポーツクラブを後援、また合同イベントの広報支援の実施 無料貸出用バラスポーツ用具の充実(貸出回数15回)、総合型スポーツクラブによるポッチャ体験会の実施(年2回)、スポーツ推進委員会によるバラスポーツポッチャ体験(毎月1回)、麻生区ポッチャ大会の開催(17チーム参加) | 18,327 | 18,771 | 3 | | | |
| | | | | 19,738 | 17,522 | 3 | | | |
| | その他の取組の実績等 | ●市民提案型協働事業において、4事業を選定・実施 ●「第42回あさお区民まつり」を区内43団体と協働で実施し、パレード31団体、舞台49団体、出店80団体、展示14団体が参加 | | | | | | | |
| ①成果 | | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| 「麻生市民交流館やまゆり」の運営や市民活動の広報等への支援、町内会・自治会に対する支援、協働事業の実施の他、地域資源を活用した総合型地域スポーツクラブへの支援やスポーツ推進事業との連携を通じて、コミュニティづくりに向けた地域活動を推進することができました。 | | 「麻生市民交流館やまゆり」会議室の稼働率 | | 目標 | 78 | 78 | 78 | 78 | % |
| | | 指標の説明 麻生区市民活動支援施設「麻生市民交流館やまゆり」会議室の平日昼間の稼働率 | | 実績 | 79 | 84 | 85 | | |
| ①成果や②指標を踏まえた評価 | | 「麻生市民交流館やまゆり」の会議室の稼働率については、ほぼ昨年と同様ですが、利用登録数は34団体増で、要因の一つに令和6年4月にカラーコピー機を導入した影響が考えられます。市民活動グループの発表会やアクティブシニア講座などを実施し、グループ間の相互理解や、シニア世代の市民活動への参加を促進するとともに、「ピバ!あさおの子どもたち」を開催する等、多世代の施設活用を推進しました。また、地域コミュニティ活動支援事業や町内会事業提案制度、市民提案型協働事業の実施により、市民活動と地域活動を推進しました。町内会・自治会に関しては、各会の活動内容を広報・普及啓発することにより活動を活性化し、未加入世帯の加入を促進しました。さらに、麻生区ソーシャルデザインセンターとしての活動が本格実施に入り、地域活動の活性化に貢献しました。 | | | | | | | |
| 7 | 区役所サービス向上事業 | <ul style="list-style-type: none"> サービスの向上のための環境整備や研修の実施 新百合ヶ丘駅周辺案内サインの全面更新や広報研修の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 応対能力の向上による窓口サービスの充実に向け、接客研修(2回)・認知症サポーター養成講座に加え、多様な人材をマネジメントするためのスキル向上を目指し、併せて事務ミス未然防止を図り、区民サービスの向上につなげるために、多様な部下マネジメント研修を実施(計4回) 新百合ヶ丘駅周辺案内サイン全面更新(1基)するとともに、広報に対する意識の醸成と技術の向上のため、X(旧Twitter)を活用した広報に関する研修を実施(1回) | 1,806 | 1,635 | 3 | | | |
| | | | | 2,212 | 1,835 | 3 | | | |
| | その他の取組の実績等 | ●区役所サービス向上のために作業部会を設置し、麻生区としての市制100周年記念事業や「全国都市緑化かわさきフェア」関連事業に若手職員等が参画 ●10月から「おくやみコーナー」を開設 ●麻生区区民アンケート(有効回収数:1,138件、有効回収率:56.9%)の実施 | | | | | | | |
| ①成果 | | ②数値として把握できる主な指標(指標の説明) | | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| 混雑時に窓口案内を増員し、スムーズで適切な案内を行うことで待ち時間の最適化及び混雑の緩和を図りました。 | | 区役所利用者のサービス満足度(隔年実施) | | 目標 | - | 99 | - | 99 | % |
| | | 指標の説明 区役所来庁者へのヒアリング調査における満足度の割合 | | 実績 | - | 98 | - | | |
| ①成果や②指標を踏まえた評価 | | 番号表示システムの広報モニターでの行政情報の配信、繁忙期等の混雑時における窓口案内職員の配置や課内応援体制の構築、局内での接客研修の実施等、区役所を快適に利用していただくための様々な取組によって、適切な窓口の案内や待ち時間の短縮等、市民サービスの向上に一定程度の成果をあげることができました。 | | | | | | | |
| その他の取組 | 取組内容の実績等 | | | 成果 | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 熱中症指数計の導入 麻生川における樹勢の衰えが見られる桜の更新による桜並木の再生 防災用消耗品の購入 公園の古くなった園名板の更新 | | | <ul style="list-style-type: none"> 熱中症指数計の導入により、夏季の屋外イベント等での参加者及び運営者の安全を確保しました。 麻生川の桜並木の再生することで、景観の改善、掲示板を通じた桜の課題のPR、環境意識の向上を推進しました。 防災用消耗品の購入により、各避難所の開設・運営において求められる物品を確保しました。 公園の古くなった園名板を更新することで、避難場所案内の視認性向上による安全確保や、緑化フェアの機運醸成につながりました。 | | | | | |
| 上記の取組内容に対する事務事業の総合的な達成度 | | 3 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った | | | | | | |

3 地域課題の解決に向けた今後の方向性

| 区分 | 主要な取組の評価や総合的な達成度を踏まえた今後の方向性 |
|---|--|
| <p>地域課題の解決に向けて……</p> <p>I 現在の取組をそのまま継続する II 取組を多少改善する必要がある III 取組を改善する必要がある IV 取組を抜本的に見直す必要がある</p> | <p style="text-align: center;">II</p> <p>次のとおり、麻生区区民アンケートの実施結果を踏まえながら、区民の意識やニーズに即した地域課題の解決に向けて取組を進めます。</p> <p>主要な取組1「芸術・文化のまちづくりの推進」については、区取組を周知するなどにより、区民の認知度を向上させるとともに、市制100周年記念事業により生まれた新たなつながりを生かした取組を進める必要があります。</p> <p>主要な取組2「農と環境を活かしたまちづくりの推進」については、多様な主体と連携し、区内の貴重な農業資源や環境資源を生かした取組をさらに進める必要があります。</p> <p>主要な取組3「高齢化への対応とすこやか・支え合いのまちづくりの推進」については、少子高齢化の更なる進行が見込まれることから、地域のつながりづくりを進め、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる麻生区らしい地域包括ケアシステムの構築を推進する必要があります。</p> <p>主要な取組4「安全・安心まちづくりの推進」については、自助、共助、公助それぞれの分野における防災の取組をより効果的かつ実践的に進めるとともに、区民が災害への備えを自分事とするよう周知・啓発を行う必要があります。</p> <p>主要な取組5「総合的な子ども・子育て支援の推進」については、関係機関や団体、大学、民間企業等との連携を深めながら、総合的な子ども・子育て支援を推進していく必要があります。</p> <p>主要な取組6「地域資源を活用したコミュニティづくりの推進」については、多様な主体との連携をさらに深めるとともに、新たな参加を促すことにより地域活動への参加を増加させるなど地域のコミュニティづくりを推進する必要があります。</p> <p>主要な取組7「区役所サービス向上事業」については、区役所環境の整備を適切に行うほか、研修を実施するなど職員の意識やスキルの向上を図ることで、区役所サービスを向上させる必要があります。</p> |

令和6年度 事務事業評価シート

事業の概要

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|--|--------------------|--------------------------------------|-----------------------------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|---------|---------|---------|
| 事務事業 | 事務事業コード | 事務事業名 | | | | 政策体系別計画の記載 | | | | | | |
| | 50103190 | 区役所等庁舎整備推進事業 | | | | 有 | | | | | | |
| 担当 | 組織コード | 所属名 | | | | | | | | | | |
| | 254530 | 市民文化局コミュニティ推進部政推進課 | | | | | | | | | | |
| 実施期間 | 事業開始年度 | 事業終了年度 | 事務・サービスの分類 | 分類1(市民サービス等) | 分類2(内部事務) | | | | | | | |
| | — | — | | 施設の管理・運営 | — | | | | | | | |
| 実施形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他 | | | | | | | | | | | |
| 実施根拠 | <input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度 (法令・要綱等) | | | | | | | | | | | |
| 総合計画と連携する計画等 | | | | | | | | | | | | |
| SDGsのゴール・ターゲットを意識した取組の方向性 |  | 11.7 | 区役所等庁舎整備により、安全で誰もが使いやすい公共スペースを提供します。 | | | | | | | | | |
| 行財政改革第3期プログラムに関連する課題名 | 改革項目 | | | 課題名 | | | | | | | | |
| | 取組3(2)区役所機能の強化 | | | 2・区役所と支所・出張所等の機能再編に向けた取組の推進 | | | | | | | | |
| 予決算 (単位:千円) | 年度 | R4年度 | | R5年度 | | R6年度 | | R7年度 | | | | |
| | | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 | 計画事業費 | 予算額 | 決算額(見込) | 計画事業費 | 予算額 | 決算額 |
| | 事業費 A | 374,784 | 195,947 | 1,481,471 | 1,237,275 | 834,739 | 1,039,966 | 1,578,325 | 1,195,574 | 391,882 | 696,199 | |
| | 財源内訳 | 国庫支出金 | 843 | — | 0 | 859 | — | 0 | 12,776 | — | 0 | 0 |
| | | 市債 | 186,000 | — | 724,000 | 734,000 | — | 521,000 | 991,000 | — | 109,000 | 457,000 |
| | | その他特財 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 | — | 0 | 0 |
| | | 一般財源 | 187,941 | — | 757,471 | 502,416 | — | 518,966 | 574,549 | — | 282,882 | 239,199 |
| | 人件費 [※] B | 31,590 | 31,590 | 31,543 | 31,543 | 31,543 | 29,048 | 29,048 | 29,048 | 0 | 0 | |
| | 総コスト(A+B) | 406,374 | 227,537 | 1,513,014 | 1,268,818 | 866,282 | 1,069,014 | 1,607,373 | 1,224,622 | 391,882 | 696,199 | |
| | 人工(単位:人) | 3.75 | | 3.7 | | 3.38 | | | | | | |

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

計画 (Plan)

| | | |
|---|---|-------------------------|
| 政策体系 | 政策 | 参加と協働により市民自治を推進する |
| | 施策 | 共に支え合う地域づくりに向けた区役所機能の強化 |
| | 直接目標 | 市民満足度の高い区役所サービスを提供する |
| 事業の対象 (事業の対象となる人、物) | ・市民、職員、区役所等庁舎 | |
| 事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか) | ・区役所等庁舎整備を行うことにより、災害時に防災拠点としての機能を確保するとともに、社会状況の変化や施設の機能面を調整の上、市民が快適にサービスを受けられるようにします。 | |
| 事業の内容 (どういった業務内容で、どのような手段で実施しているか) | ・建物を目録活用年数の60年以上活用することとし、経過年数や建物の状態を踏まえて、改修、改善、補修、建替えを行います。 ・社会状況の変化や周辺のまちづくり・施設整備の動き等の状況変化に応じた建物整備を行います。 | |
| 第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容 | ①機能維持(災害対策を含む)やサービス向上に向けた、区役所等庁舎の適切な改修・補修の実施 ③「大師地区複合施設・田島地区複合施設 整備・運営基本計画」に基づく取組の推進 ④新宮前区役所新庁舎基本設計・実施設計及び基本計画の策定等、移転・整備に向けた取組の推進 ⑤「宮前区役所向丘出張所の今後の活用に関する方針」に基づく取組の推進 | |
| 当初計画からの変更箇所 (第3期実施計画に記載されている取組内容から変更となる取組) | ②川崎区役所レイアウト変更【変更(令和5年度完了目標としていた取組)】 ④新宮前区役所に関する基本的な考え方の検討・策定【変更(令和4年度完了目標としていた取組)】 | |

実施結果 (Do)

| | | | | | | | |
|---|--|--|------|------|------|------|----|
| 上記「第3期実施計画に記載されている当該年度の取組内容」に対する達成度 | 3 | 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った | | | | | |
| 取組内容の実績等 (上記に掲げた取組内容に対し、「数値等」でより具体的に実績を示すことができる取組、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載) | ほぼ目標どおり達成できました。 ①機能維持(災害対策を含む)やサービス向上については、高津区役所橋出張所の耐震補強、多摩区総合庁舎のトイレの快適化など適切な改修・補修を実施しました。 ②川崎区役所において、改修工事及び什物の整備等によるレイアウト変更を実施しました。 ③「大師地区複合施設・田島地区複合施設 整備・運営基本計画」に基づき、大師地区複合施設整備事業については、総合評価一般競争入札により事業者を決定し、当該事業者と基本協定を締結しました。また、田島地区複合施設整備事業については、事業者の選定に向け公募資料を決定し、総合評価一般競争入札の公告を行いました。大師コミュニティセンターの指定管理者の公募資料を決定し、公告を行いました。 ④新宮前区役所は再開発準備組合から「資材費・労務費の高騰など、昨今の社会経済情勢の変化への対応も図るなどし、深度化した設計、事業計画の内容、事業費やスケジュールなどを取りまとめた、再開発事業の進捗状況に関する報告」を受け、スケジュール等の見直しを行い、令和7年度以降に基本的な考え方の検討・策定を実施することになりました。 ⑤「宮前区役所向丘出張所の今後の活用に関する方針」に基づく取組については、次年度の庁舎へのアプローチ改善に向けた設計、調整を行いました。 | | | | | | |
| 指標分類 | 数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明) | 目標・実績 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
| 1 | 説明 | 目標 | | | | | |
| | | 実績 | | | | | |

| 評価 (Check) | | | |
|---|--|---|--|
| 事業を取り巻く社会環境の変化 (国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など) | | ・庁舎の高経年化が進む中、財政状況や人口減少社会を見据えた効果的・効率的な整備が求められています。 ・共に支え合う地域づくりを推進する身近な地域の拠点の1つとして、これまで以上に「身近な活動の場」や「地域の居場所」として庁舎を活用していけるよう、地域の実情に即した建物づくり・空間づくりを行う必要があります。 | |
| 事業の見直し・改善内容 | | <input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) H 29 年度 <input type="checkbox"/> 未実施 | |
| 具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載 | | ・H29年度:麻生区役所の空調設備等改修工事をESCO事業により実施しました。 ・H29年度:出張所を身近な地域の拠点としていくために、地域の方々との意見交換会を実施の上、「多摩区役所生田出張所建替基本計画」を策定しました。 | |
| 評価項目 | | 評価 | |
| 必要性 | 【市民のニーズ】 事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか？ | a. 薄れていない b. 薄れている | a |
| | 【市が実施する必要性】 他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか？ | a. 事例はない b. 事例がある | b |
| 評価の理由 | | ・市民サービスの提供の場である庁舎を、安全で快適に利用できるようにすることはもちろん、市民の身近な地域の拠点の1つとして、地域の実情に即した建物づくり・空間づくりを行っていく必要性は薄れていません。 ・本市においては民間事業者のノウハウを生かした庁舎整備の事例(生田出張所)があります。 | |
| 有効性 | 【成果】 活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか？ | a. 上がっている b. 徐々に上がっている c. 上がっていない | b |
| | 評価の理由 | 高経年化の庁舎が増える中、多くの補修等を行う必要があり、快適な建物・空間づくりを十分には実施できていない庁舎もありますが、年度ごとの取組内容を確実に実施することにより、適切な庁舎整備・保全がなされるなど成果は徐々に上がっています。 | |
| 効率性 | 【民間の活用】 委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか？ | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | b |
| | 【事業手法等の見直し】 事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか？ | a. 可能性はない b. 可能性はある | b |
| | 【質の向上】 事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか？ | a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み | b |
| 評価の理由 | | ・民間を活用した事業手法による庁舎整備を行っていますが、今後も事業特性に合った手法の適用により、コスト削減や地域の実情に即した空間づくり等について、効率化を図る余地があります。 | |
| 施策への貢献度 | 貢献度区分 | 上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由 | |
| | A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い | A | 高津区役所橋出張所耐震補強工事や多摩区総合庁舎トイレ改修工事を実施するなど、状況に応じた必要な施設改修・補修工事の実施や、庁舎整備に関する検討を機能面を調整しながら進めることができたことから、区役所機能の強化に貢献しました。 |

| 改善 (Action) | | | |
|-----------------------------|--|---|--|
| 今後の事業の方向性 | 方向性区分 | 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 | |
| | I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了 | II | 限られた予算の中で更なる事業の効率化を図り、市民が快適にサービスを受けられるように、また、庁舎を身近な地域の拠点として活用していけるように、効果的な庁舎整備を進めていきます。 新宮前区役所については、スケジュール変更による完成時期を見据えた検討を進めていきます。 |
| 第3期実施計画に記載されている次年度の取組内容 | | ①機能維持(災害対策を含む)やサービス向上に向けた、区役所等庁舎の適切な改修・補修の実施 ②「大師地区複合施設・田島地区複合施設 整備・運営基本計画」に基づく取組の推進 ③新宮前区役所新庁舎基本設計・実施設計及び基本計画の策定等、移転・整備に向けた取組の推進 ④「宮前区役所向丘出張所の今後の活用に関する方針」に基づく取組の推進 | |
| 今後の事業の方向性を踏まえた次年度の取組内容の変更箇所 | 変更箇所 (上記計画上の記載に対する変更箇所) | ③新宮前区役所に関する基本的な考え方の検討・策定【変更(令和4年度完了目標としていた取組)】 | |
| | 変更の理由 | ③事業全体のスケジュールを変更したため。 | |